

国文学研究資料館蔵古活字版悉皆調査目録稿

―附、国立国語研究所・研医会図書館蔵本

高木浩明

*キーワード

古活字版・悉皆調査・学問学芸・出版・川瀬一馬

はじめに

稿者はこれまで、中世末から近世初期の学問・学芸・出版の実態と背景をより明確なものにするため、主に古活字版の総合的かつ網羅的な調査、研究を行ってきた。古活字版として刊行された作品のテキストは、一体どのような環境のもとで生み出されたのか、底本の入手、本文校訂、刊行を可能にした人的環境について、史資料を駆使して考察してきた。

古活字版の研究をする上で必読の文献が川瀬一馬氏の『増補古活字版之研究』(A B A J、一九六七年、初版、安田文庫、一九三七年)であるが、同書が刊行されて既に半世紀になる。調査を進める過程で、川瀬氏の研究の不備や遺漏を少なからず見出す(川瀬氏の研究に未載の古活字版は、すでに90種を超えた)と共に、古活字版全体の調査をやり直す作業がぜひとも必要であると実感し、近年は古活字版を所蔵する機関ごと

の悉皆調査という壮大な事業に単身取り組んでいる。六四機関において調査を終えた一〇八〇点の詳細な書誌データについては、「古活字版悉皆調査目録稿(一)」(九)としてまとめ、鈴木俊幸氏編集の『書籍文化史』(第一集から第九集(二〇一〇年一月〜二〇一八年一月)に連載し、研究者間での情報共有を図ってきた。本稿はこれに続くもので、国文学研究資料館における国際共同研究「江戸時代初期出版と学問の総合的研究」(研究代表者:ピーター・コーニツキー・ケンブリッジ大学アジア中東研究学部名誉教授、二〇一五年〜二〇一八年)に参加して、国文学研究資料館所蔵の古活字版の悉皆調査(現在整理中の川瀬一馬文庫は除く)をさせていただくことができた。その成果の一部である。附録として、隣接の研究機関である国立国語研究所が所蔵する古活字版四点と、研医会図書館所蔵の古活字版二二点の書誌データも掲載することにした。なお、研医会図書館所蔵の古活字版の調査は、現在継続中の共同研究で

ある、広領域連携型基幹研究プロジェクト・アジアにおける「エコヘル
ス」研究の新展開「アジアの中の日本古典籍―医学・理学・農学書の中
心として」(国文学研究資料館、研究代表者:入口敦志教授)の一環とし
て行ったものである。

調査項目は、「請求番号」「体裁」「表紙」「題簽」「内題」「尾題」「本文」
「匡郭」「版心」「丁数」「刊記」「印記」「備考」の二三項目で、「備考」
には、川瀬一馬氏の『増補古活字版之研究』の見解を示した。なお、書
目の頭に※が付いているものは、『増補古活字版之研究』未載の古活字版
である。

【あ】

1 吾妻鏡 五二巻

「請求番号」ヤ2―147―1519

「体裁」大本一九冊。

「表紙」後補香色空押水流文様表紙。二七・五×二一・〇糎。四針袋綴。

「題簽」左肩に後補の書題簽(二六・八×四・二糎)、「吾妻鏡」(第四〇

第五)―(第五十一/第五十二)」。第一冊題簽剥落。

「内題」「新刊吾妻鏡卷第二(一五十二)」。

「尾題」「新刊吾妻鏡卷第二(一五十一)」、「新刊吾妻鏡卷第五十二終」。

「本文」每半葉一二行×二〇字。文書等に稚拙な平仮名活字を用いる他、

片仮名活字も適宜用いる。

「匡郭」四周双辺(二三・八×一七・四糎)、有界。

「版心」黒口双花口魚尾、中縫、「東鑑二(一五十二・跋) 丁附」。

「丁数」第一冊、八五丁(巻第二・四〇丁、一〇・一二丁補写/巻第三・

四五丁)、第二冊、七五丁(巻第四・四七丁/巻第五・二八丁)、

第三冊、一〇六丁(巻第六・六五丁/巻第七・四一丁)、第四冊、

九八丁(巻第八・三六丁/巻第九・六二丁)、第五冊、九八丁(巻

第十・六四丁/巻第十一・三四丁)、第六冊、一〇八丁(巻第十

二・二五丁/巻第十三・二七丁/巻第十四・二四丁/巻第十五・

三二丁)、第七冊、一一〇丁(巻第十六・三五丁/巻第十七・三

三丁/巻第十八・四二丁)、第八冊、一〇七丁(巻第十九・三四

丁/巻第二十・一二丁/巻第二十一・三八丁/巻第二十二・二

三丁)、第九冊、九三丁(卷第二十三・二〇丁/卷第二十四・一五丁/卷第二十五・三五丁/卷第二十六・二三丁)、第一〇冊、九〇丁(卷第二十七・二八丁/卷第二十八・一九丁/卷第二十九・一七丁/卷第三十・二六丁)、第一一冊、九三丁(卷第三十一・三四丁/卷第三十二・三三丁/卷第三十三・二六丁)、第一二冊、九一丁(卷第三十四・二六丁/卷第三十五・三三丁/卷第三十六・三三丁)、第一三冊、六七丁(卷第三十七・一七丁/卷第三十八・三三丁/卷第三十九・一七丁)、第一四冊、七〇丁(卷第四十・三六丁/卷第四十一・三四丁)、第一五冊、六九丁(卷第四十二・四八丁/卷第四十三・二二丁)、第一六冊、五四丁(卷第四十四・二二丁/卷第四十六・三三丁、一四丁欠)、第一七冊、七三丁(卷第四十七・三四丁/卷第四十八・三九丁)、第一八冊、八四丁(卷第四十九・四〇丁、三九丁欠/卷第五十・四四丁)、第一九冊、六九丁(卷第五十一・四二丁/卷第五十二・二五丁/跋・二丁)。

〔刊記〕「夫人之處世也言行之善不善不可/不記焉得一善記之則百世善其人/得一惡記之則百世惡其人言行寔/君子樞機也可不慎乎左氏記春秋/而作万代龜鑑得良史名者難矣哉/東鑑一書者自治承四年至文永三/年八十七載之間傍羅曲探以大抵/記之不知記者名為遺憾久歷年代/其名湮滅耶深隱山林其名埋没耶/抑又謙退以不著其名耶見此書則/言行之美惡如指掌也吾/大將軍源家康公治世之暇翫弄此/書見善思齊焉見不善內自省也凡/人主所趨

向天下隨之如風草形影/也以東鑑名之者非無所由殷以夏/為鑑周以殷為鑑詩曰殷鑑不遠在/夏后世今也刻梓以壽其傳後世能/見此書辨別溜澗則非啻東州明鑑/豈不作四方鑑戒乎書之以為跋/慶長十稔星集乙巳春三月 日/前龍山見鹿苑承兌叟(西/笑)。

〔印記〕「国文学研/究資料館」(朱長方印、小)の他、卷末に未勘の墨丸印一印。

〔備考〕墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。伏見版、其の(一)。

2 ※阿弥陀胸割

〔請求番号〕99-91(貴重書)

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕茶色表紙(押八双は有するが、後補か)。二七・二×一九・〇糎。

四針袋綴。

〔題簽〕左肩剥落(一六・二×三・五糎)。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×一九字。漢字平仮名交。挿絵一一図。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・〇糎。

〔版心〕無。

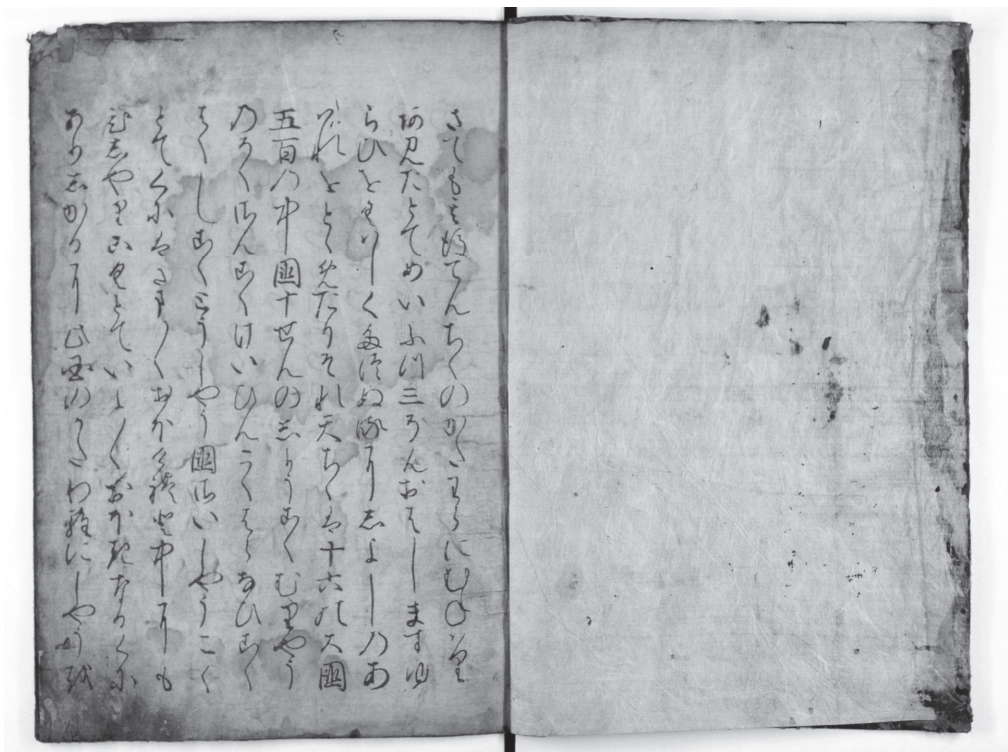
〔丁数〕三四丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕五丁裏と六丁裏、七丁表、八丁表に濁点等が施されているが、無書入に等しい。「本書は、本作品の諸伝本の内、最古の刊本資料である。また、その内容については、浄瑠璃と説経の未分化の様相を伝えるものと判定されている(『新日本古典文学大系 古浄瑠璃・説経集』参照)。また、使用されている活字は、東京大学総合図書館所蔵『浄瑠璃十二段草子』(A000-5800)、国立国会図書館所蔵『花鳥風月』(WA7-56)等と同一である。よって、本書の刊行は、それらとほぼ同時期、すなわち慶長末年から元和に至る慶長元和中刊本と認定することができる。上記の二本は、慶長年間における嵯峨本の国書刊行に触発されて登場した一連の書物であり、古活字刊本『阿弥陀胸割』もまた、その使用活字の一致から、嵯峨本に触発されて登場した一連の国書古活字本の内の一つとして出版史の中に位置づけを行うことができる」(国文学研究資料館ホームページ)。川瀬、未載。

図版 1



3 鴉鷺合戦物語 四卷

〔請求番号〕96-786 (鶉飼)

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補縹色空押卍繫ぎ牡丹唐草文様表紙。二七・六×一九・〇糎。

五針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の双边刷梓書題簽(一五・四×四・〇糎)、「ある物

語 四」。

〔内題〕「(二格低) 鴉鷺合戦物語目録卷一(一四)」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×一八字内外。漢字平仮名交、附訓(片仮名・平

仮名)活字使用。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・四糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一二六丁半(卷一・三六丁半/卷二・三二丁/卷三・三四丁/

卷四・二五丁)。

〔刊記〕「(一格低)慶安二年正月吉日(二格空)荒木利兵衛開板」。

〔印記〕「不忍文庫」(屋代弘賢、朱長方印)、「阿波國文庫」(徳島藩蜂須

賀家、朱長方印)、「白/蓮社/文庫」(朱方印)。

〔備考〕朱引が若干施される程度。川瀬、五九四・九三一・九五六頁。

4 伊勢物語 二卷

〔請求番号〕98-406-1-2 (鉄心斎)

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補丹空押雷文繫ぎ蓮華唐草文様表紙。二六・〇×一八・六糎。

四針袋綴。

〔題簽〕左肩に金銀箔散らしの後補書題簽(一八・五×四・五糎)、「嵯

峨本 伊勢物語 上(下)」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵(整版)、上卷に二五

図、下卷に二四図。

〔匡郭〕無辺、無界。字高二二・四糎(下卷)。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、五一丁(上卷)、第二冊、六四丁(下卷)。他、各冊と

も前後に遊紙各一丁。

〔刊記〕「伊勢物語新刊就余需勘校抑京極黄/門一本之奥書云此物語之

根源古人之説々/不同云々如今以天福年所被与孫女本正之/然

而猶恐有訂校之遺欠也更圖画卷中之趣分以為上下是雖不足動

好女人情/聊為令悅稚童眼目而已/慶長戊申夏上浣/也足叟

(花押)。(整版、花押は墨自署)。

〔印記〕「鐸木/三郎」(上卷一才のみ、朱長方印)、「鉄心斎文庫」(朱長

方印)。

〔備考〕上卷、補配覆慶長十三年再刊甲種本整版。水色・藤色・山吹色

の色替り料紙を交え、具引きを施す。下卷、嵯峨本、慶長十三

年初刊本（川瀬、第一種本。以下、○内は川瀬氏の分類）。料紙は楮紙、色替り料紙を交え、具引きを施す。墨筆で振仮名を施す。上下巻とも間紙を入れて綴じ直す。

5 伊勢物語 二卷

【請求番号】98—403—1—2（鉄心齋）

【体裁】大本二冊。

【表紙】後補山吹色（香色）雲母刷文様（麻の葉）表紙。二六・七×一九・二糎。四針袋綴。

【題簽】左肩に金箔金泥地の後補書題簽（一四・五×三・〇糎）、「伊勢物語」。

【内題】無。

【尾題】無。

【本文】每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵（整版）、上巻に二五図、下巻に二四図。

【匡郭】無辺、無界。字高二二・一糎。

【版心】無。

【丁数】第一冊、五二丁（上巻）、第二冊、六四丁（下巻）。他、上巻に後遊紙一丁、下巻に前遊紙（薄緑色）一丁。

【刊記】「伊勢物語新刊就余需勘校抑京極黄／門一本之奥書云此物語之根源古人之説々／不同云々如今以天福年所被与孫女本正之／然而猶恐有訂校之遺欠也更圖画卷中／之趣分以為上下是雖不足動好

女人情／聊為令悅稚童眼目而已／慶長戊申夏上浣／也足叟（花押）」（整版、花押は墨自署）。

【印記】「畫禪盒」（朱長方印）、「鍊齋／居士」（朱方印）、「鐵齋」（丸印）、「富岡／百鍊」（朱方印、以上、富岡鉄齋）、「寶玲文庫」（朱長方印、フランク・ホーレー）、「鍊心齋文庫」（朱長方印）。

【備考】朱筆で夥しく書き入れが施されている。嵯峨本、慶長十三年再刊本（第二種本）。上巻、甲種（イ版）、下巻、乙種（ハ版）の巻の取り合わせ本。川瀬、補訂篇ではイ版とする。料紙は楮紙、具引き、色替り料紙交える。第一冊前表紙見返しに「蘿摩艸堂」と墨書。第二冊後表紙見返しに富岡鉄齋の識語、「業平朝臣口像〈大和南都在／今其本西大寺領〉不退寺藏／朝口及伊勢物語画考一冊〈真淵／著〉。桐箱（蓋）「光悦本／伊勢物語〈慶長十三年刊／富岡鉄齋旧藏〉、蓋裏「光悦本鍊齋旧藏貴重、墨書」。

6 伊勢物語 二卷

【請求番号】98—561—1—2（鉄心齋）

【体裁】大本二冊。

【表紙】後補薄茶色墨絵（信夫草）地表紙。見返し、銀箔押に雷文繫ぎ空押。二六・九×一九・三糎。四針袋綴。

【題簽】中央部、剥落。

【内題】無。

【尾題】無。

【本文】 每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵（整版）、上巻に二五
図、下巻に二四図。

【匡郭】 無辺、無界。字高二二・一糎。

【版心】 無。

【丁数】 第一冊、五二丁（上巻）、第二冊、六四丁（下巻）。他、各冊と
も前後に遊紙各一丁。

【刊記】 「伊勢物語新刊就余需勘校抑京極黃／門一本之奥書云此物語之
根源古人之説々／不同云々如今以天福年所被与孫女本正之／然
而猶恐有訂校之遺欠也更圖画卷中／之趣分以為上下是雖不足動
好女人情／聊為令悅稚童眼目而已／慶長戊申仲夏上浣／也足叟
（花押）」（整版、花押は墨自署）。

【印記】 「鍊心齋文庫」（朱長方印）。

【備考】 嵯峨本、慶長十三年再刊本（第二種本）甲種（イ版）。料紙は楮
紙、具引き、色替り料紙交える。『古典籍展観大入札会目録』（昭
和四五年、東京古典会、目録番号一七五）に記載の本。落札価
格、七四六、九八〇円。秋草金泥蒔絵のある箱入り。

7 伊勢物語 二巻

【請求番号】 98—405—1—2（鉄心齋）

【体裁】 大本二冊。

【表紙】 後補丹空押雷文襷に雨竜文様表紙。二五・九×一八・一糎。四

針袋綴。

【題簽】 無。左肩に「嵯峨本伊勢物語 上（下）」と打付書。

【内題】 無。

【尾題】 無。

【本文】 每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵（整版）、上巻に二五
図、下巻に二四図。

【匡郭】 無辺、無界。字高二二・〇糎。

【版心】 無。

【丁数】 上巻五二丁、下巻六三丁（四四丁、「むかしつれなき人を」の丁
欠）。

【刊記】 「伊勢物語新刊就余需勘校抑京極黃／門一本之奥書云此物語之
根源古人之説々／不同云々如今以天福年所被与孫女本正之／然
而猶恐有訂校之遺欠也更圖画卷中／之趣分以為上下是雖不足動
好女人情／聊為令悅稚童眼目而已／慶長戊申仲夏上浣／也足
叟」（整版）。

【印記】 「鍊心齋文庫」（朱長方印）、他、巻末に黒方印（墨抹消）。

【備考】 朱墨による書き入れあり。上巻、慶長十四年刊本（第三種本）、
料紙は楮紙、具引きあり。下巻、補配覆慶長十三年再刊甲種本
整版。上下巻とも間紙を入れて綴じ直す。「角倉本／伊勢物語」
（蓋）、「角倉本」（下側面）と箱書のある桐箱入り。

8 伊勢物語 二巻

【請求番号】 98—562—1—2（鉄心齋）

【体裁】 大本二冊。

【表紙】 薄茶色（見返し折り部に薄藤色が残る。もとは薄藤色であったか）雲母刷文様（信夫草）表紙。二六・九×一九・二糎。四針袋綴。龍門文庫蔵本と同一の表紙であるところをみると原装か。

【題簽】 中央部やや上以後補雲形文様地の刷題簽（一六・八×三・一糎）、
「伊勢物語 上（下）」。

【内題】 無。

【尾題】 無。

【本文】 每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵（整版）、上巻に二五
図、下巻に二四図。

【匡郭】 無辺、無界。字高二二・〇糎。

【版心】 無。

【丁数】 上巻、五一丁。下巻、六四丁。他、前遊紙一丁。

【刊記】 「伊勢物語新刊世酷多矣然京極黃門一本ノ之奥書云此物語之根源古人之説々不同云々ノ而今以天福年所被与孫女本正之猶恐有ノ字畫之差互聊加訂校又圖卷中之趣而ノ分為上下蓋為令好事童蒙悦目也於ノ戲予老懶衰惰而不堪辨烏焉豈無紕繆ノ博洽君子改匡焉幸甚ノ慶長己酉仲春上澣日」。

【印記】 「三井家鑒藏」（朱長方印）、「双籠鑒藏」（朱長方印、三井高堅）、
「大正ノ十五年ノ□□」（朱方印・小）。

【備考】 慶長十四年刊本（第三種本）、料紙は楮紙、具引きあり。『古典
籍展観大入札会目録』（昭和四五年、東京古典会、目録番号一七

四）に記載の本。落札価格、五八九、八六〇円。版本文庫1『伊勢物語』（片桐洋一解題・翻刻、昭和四九年五月、国書刊行会刊）の底本は本書。

9 伊勢物語 二卷

【請求番号】 98—569—1、2（鉄心齋）

【体裁】 大本二冊。

【表紙】 原装（押八双有）香色雲母刷文様（秋草）表紙。二六・七×一
八・九糎。四針袋綴。

【題簽】 無。

【内題】 無。

【尾題】 無。

【本文】 每半葉九行×一八字。漢字平仮名交。挿絵（整版）、上巻に二五
図、下巻に二四図。

【匡郭】 無辺、無界。字高二二・一糎。

【版心】 無。

【丁数】 上巻、五一丁、下巻、六四丁。

【刊記】 「抑京極黃門一本之奥書云此物語ノ之根源古人之説々不同云々
故去慶ノ長戊申仲夏之比中院也足軒素然ノ以天福年所被与孫女
本正之并加畫ノ圖卷中之趣分以為上下行于世矣ノ今亦以其印本
正之再令流布世而已ノ慶長庚戌孟夏日」。

【印記】 「我善坊圖書」（朱長方印）、「鹽澤ノ丹宮ノ之章」（朱方印）、「天

眞／居士（朱方印）、「□□亭圖書」（朱方印）、「高木家蔵」（朱長方印、高木利太）、「月明莊」（朱長方印、反町茂雄）、「鍊心齋文庫」（朱長方印）。

【備考】慶長十五年刊乙種本（第四種本ハ版）。料紙は楮紙、具引き、色替わり料紙交える。桐箱（蓋ハ嵯峨本第四種ハ版／伊勢物語鉄心齋文庫蔵、下側面ハ嵯峨本第四種と墨書）入り。

10 ※伊勢物語 二卷

【請求番号】98—572（鉄心齋）

【体裁】大本一冊

【表紙】後補牡丹花染文絹地表紙。二六・三×二〇・五糎。四針袋綴。

【題簽】中央やや上に後補の書題簽（二七・一×三・八糎）、「清／濁伊勢物語 并よみくせ全」。右肩に西莊文庫の蔵書票「花百八十七全一」（墨書）を貼付。

【内題】無。

【尾題】無。

【本文】每半葉一行×一八字。漢字平仮名交。上欄に章段を刻す。

【匡郭】無辺、無界。字高二一・二糎。

【版心】無。

【丁数】七三丁（本文一ウ〜七十二ウ、七十三ウに業平の年譜、「業平朝臣ハ三品彈正尹阿保親王五男 平城天皇之子 從三位叡女ノ母 伊登内親王桓武第八皇女 母藤南子」ノ年月日 任左近將監ノ

承和十四年正月補藏人嘉祥二年正ノ月七日從五位下貞觀四年正月七日從ノ五位上五年二月十日左兵衛權佐六年三ノ月八日右近少將七年三月九日右馬權頭ノ十一年正月七日正五位下十五年正月ノ七日從四位下元慶元年正月十五日左ノ近權中將十一月廿一日從四位上二年正ノ月十一日相模權守三年十月藏人頭四ノ年正月十一日美濃權守同廿八日卒）。他、前遊紙一丁。

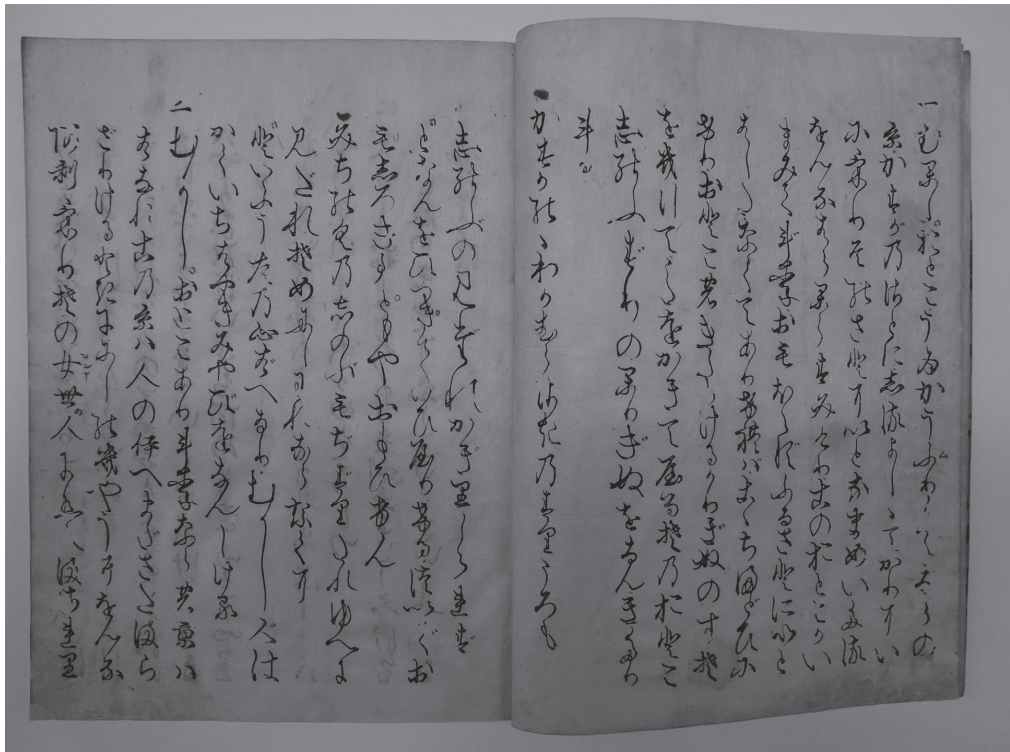
【刊記】無。

【印記】「西莊文庫」（朱長方印、小津桂窓）、「鍊心齋文庫」（朱長方印）、

「月明莊」（朱小印、反町茂雄）。

【備考】朱筆で句読点と濁点が施されている。西莊文庫、安田文庫旧蔵。

使用する活字は、嵯峨本のような流麗さを欠く特徴的な字体である。無刊記の『伊勢物語首聞抄』（慶長十四年刊の嵯峨本とは別、13参照）と同種の活字を使用しているようであるが、同じ活字の「むかし」で比較を見ると、『伊勢物語首聞抄』の方に欠損がなく、『伊勢物語』の方に欠損があることから、『伊勢物語』の方が後に刊行されたものかと思われる。川瀬氏は、慶長十二年の識語がある『本朝古今銘尽』（安田文庫蔵）の活字を襲用していることを理由に、「慶長中期の印行と認む可き一本」とする。無刊記無挿絵乙種本と仮称する。



11 ※伊勢物語 存上巻

【請求番号】98-573 (鉄心斎)

【体裁】大本一冊。

【表紙】原装(押八双有) 栗皮表紙。二八・三糰×二〇・二糰。四針袋綴。

【題簽】無。

【内題】無。

【尾題】無。

【本文】每半葉一二行×二二字内外。漢字平仮名交。挿絵、二五図。三才と一六ウの挿絵丁に本文を一行植版。

【匡郭】無辺、無界。字高二・六糰。

【版心】無。ノドに「上 丁附」を刻するのみ。

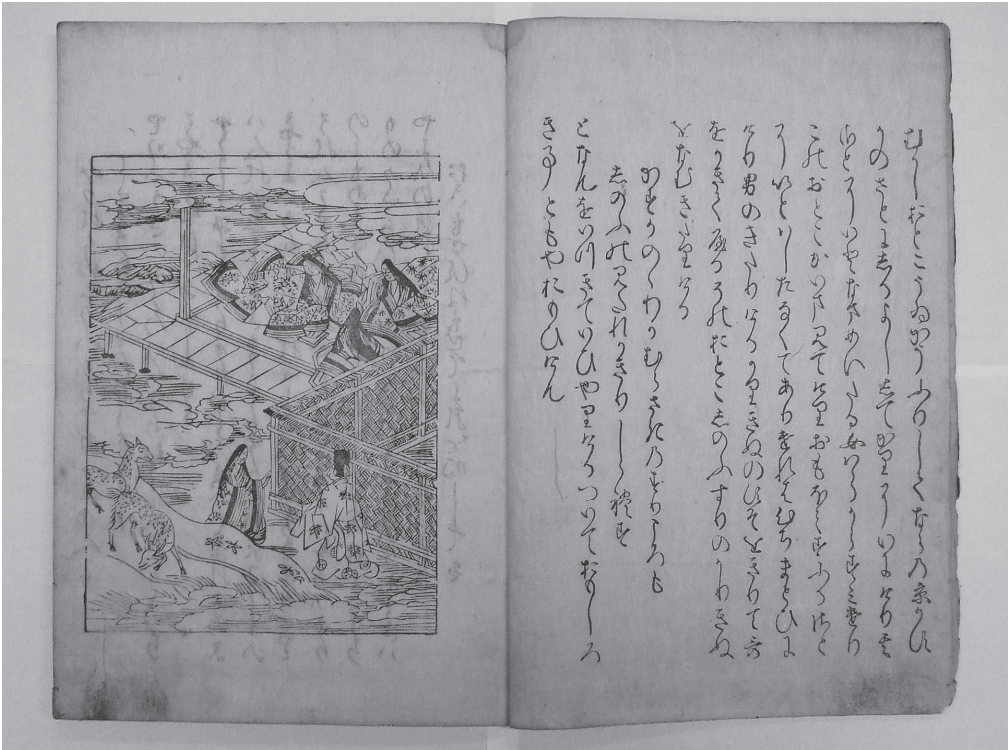
【丁数】三九丁。

【刊記】無。

【印記】「月明莊」(朱小印、反町茂雄)。

【備考】川瀬未載。無刊記挿絵入り甲種本と仮称する。無書入。帙題簽に「伊勢物語 卷上(元和寛永中刊古活字版/極稀本)」と書す。

(1972、1、6、弘文荘、五、五〇〇〇円)。カードに芦澤新二氏の覚え書き、「さし絵は嵯峨本第四種八版(これは、小生発見八版とする)を襲用。さし絵、嵯峨本第四種八版↓本書↓整版寛永己巳版と襲用か。挿絵を慶長十五年刊本と比較すると、本書の挿絵の方が1/2ミリ縮小。



ひらびらとこころのわづらひのうらなひをなまじり
 のさとしをもちよふてしるすゝのりよなりそ
 りとすゝのりよをなまじりしるすゝのりよをなまじり
 これおとしをかりてておとしをなまじりしるすゝ
 のりよをなまじりしるすゝのりよをなまじりしるすゝ
 たり男のさしりたりしるすゝのりよをなまじりしるすゝ
 をりしるすゝのりよをなまじりしるすゝのりよをなまじり
 とかひきよむとぞ
 のりよのりよのりよのりよのりよのりよのりよのりよ
 ちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのちのち
 とかんをのりよのりよのりよのりよのりよのりよのりよ
 さしりよともやれりしるすゝ

12 伊勢物語肖像抄 三卷 宗祇講・牡丹花肖像聞書

〔請求番号〕 98-918-1-3 (鉄心齋)

〔体裁〕 大本三冊。

〔表紙〕 原裝薄藤色雲母刷文様 (信夫草) 表紙 (嵯峨本『伊勢物語』慶

長十三年刊本と同一)。二五・九×一九・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕 中央やや上に薄茶色原刷題簽 (二五・六×二・八糎)、「肖像抄

上 (中・下)」。

〔内題〕 「(三格低) 伊勢物語聞書」。

〔尾題〕 無。

〔本文〕 每半葉九行×一七字 (不等)。漢字平仮名交。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高二・五糎。

〔版心〕 無。

〔丁数〕 第一冊、六七丁 (上)、第二冊、四〇丁 (中)、一昔あかたへゆ

く人に、第三冊、四八丁 (下)、一昔左のおと、刊語一

丁)。他、各冊とも前遊紙一丁。

〔刊記〕 「此一冊可書進之由蒙 勅定之時子／細看之談宗祇法師所々令

添削畢／夢菴子／(二行空)／右抄者肖像老人所傳之作也仍号

之／肖像抄依 後土御門院仰手自書／進之云々爾降世皆弄之猶

元凱注左／氏也彼翁者予祖之餘流庶弟也今為／校讎亦有故者乎

新刊之時作三策了／慶長己酉季春上浣／也足叟 (素然) 墨自

署 (墨印) 自 / 得 (慶長己酉) 慶長十四年)。

〔印記〕 「英 王堂藏書」 (朱長方印、バジル・ホール・チェンバレン)。

「辛界／巳歳／以後／所得」（朱方印）、「双籠鑿蔵」（朱長方印）、以上二印、三井高堅）、「鍊心齋文庫」（朱長方印）。

〔備考〕嵯峨本。料紙は楮紙、具引き、色替わり料紙（水色・薄藤色・薄紅色・黄色・よもぎ色・山吹色）を交える。川瀬、四四二頁では、和田維四郎氏の分類（上巻の四六丁「けさうして」で始まる丁のみで二版に分類する）を踏襲して、第一種本と第二種本に分類するが、伝本ごとに全丁を比較すれば、嵯峨本の伊勢物語同様、部分的に活字を差し替えた部分異植字が見受けられる丁（他、伝本共通の切貼訂正や上書訂正も施されている）があるものの、いずれの伝本も同一の版であることがわかる。違いは中院通勝の刊語の末尾に、通勝が「素然」（中院通勝の号）の二字を自書し、「自得」の黒印が捺されているか否かだけである。川瀬、八五五頁に著録する三井文庫〈原題簽附原装・英王堂旧蔵〉本が本書。「光悦本肖聞抄」と題せる旧蔵者苜澤新二氏の識語添付。桐箱（「三井家」等の朱印が捺される）、「肖聞抄 光悦本」と刻す塗箱入り。『古典籍展観大入札会目録』（昭和四五年、東京古典会、目録番号一〇九）に記載の本。落札価格、三、〇〇九、九九九円。

13 伊勢物語肖聞抄 二卷 宗祇講・牡丹花肖柏聞書

〔請求番号〕98-924-1-2（鉄心斎）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補茶色表紙。二六・八×二〇・七糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。第一冊の表紙見返しに、「肖聞抄」と墨書のある書題簽が貼付されている。

〔内題〕「（二格低）伊勢物語聞書卷之上（下）」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉二行×一七字（不等）。漢字平仮名交。濁点附活字使用。

〔匡郭〕無辺、無界。字高二・五糎。

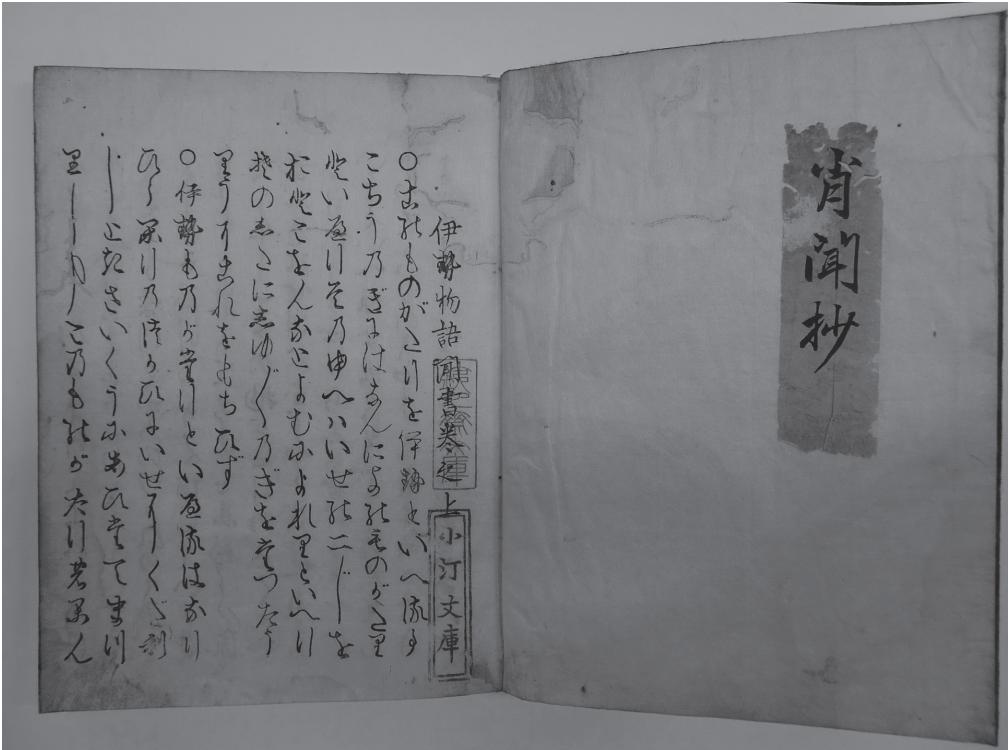
〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、七五丁（卷之上）、第二冊、七三丁（卷之下）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「小汀文庫」（朱長方形）、「を／ば／ま」（朱印、以上二印、小汀利得）、「月明／莊」（朱方印、反町茂雄）、「鍊心齋文庫」（朱長方印）、「苜澤／新式」（朱丸印）。

〔備考〕無書入。特徴的な大型活字で、烏丸本『徒然草』の字形に近似。帙に旧蔵者の鉄心斎文庫主、苜澤新二氏の識語（本文も抄も同活字にて／珍稀なり楽し々々 鉄心斎／一九七七、三、二〇／伊勢物語肖聞抄／古活字本伊勢物語／西莊文庫旧蔵本と／同活字本）が墨書されている。『古典籍展観大入札会目録』（昭和四七年、東京古典会、目録番号二六五）に記載の本。落札価格、六四五、八九〇円。



14 伊勢物語闕疑抄 存卷三―五 細川幽齋著

〔請求番号〕 98―844―13 (鉄心齋)

〔体裁〕 大本三冊。

〔表紙〕 栗皮表紙(押八双有、原装か)。二八・三×二〇〇。四針袋綴。

〔題簽〕 表紙中央に後補の書題簽(一六・二×三・八。一冊)、〔闕疑抄卷第三(四・五)〕。

〔内題〕 「闕疑抄卷第三(四・五)」。

〔尾題〕 無。

〔本文〕 每半葉一二行×二二文字内外。漢字平仮名交。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高二・〇。一冊。

〔版心〕 無。

〔丁数〕 第一冊、四二丁(卷第三)、第二冊、三五丁(卷第四)、四丁表「あまたこひわたるかもと有」(五丁裏「一夜の契りにて懐妊有し」もさる宿縁にや業)(七十四段・七十五段)欠、第三冊、四四丁(巻第五・三七丁/天福本之奥書・四丁/系図・二丁/跋、本奥書・一丁)。

〔刊記〕 卷末に文禄五年自跋、慶長二年中院通勝による本奥書を刻するのみ。

〔印記〕 「知野藏書」(朱長方印)、「三井家鑒藏」(朱長方印)、「聴水壬戌以後/所集旧/槩古鈔」(朱方印)、「双籠鑒藏」(朱長方印)、「鍊心齋文庫」(朱長方印)、「芦澤/新式」(朱丸印)。

〔備考〕無書入。川瀬、五〇八・八八五頁、寛永中刊（無刊記）本（イ）種。

15 伊勢物語闕疑抄 五卷 細川幽齋著

〔請求番号〕98—920—1—5（鉄心齋）

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二七・八×一九・三糎。五針袋綴。

〔題簽〕表紙中央に後補の布目地書題簽（一七・七×三・八糎）、〔闕疑抄一（一五）〕（巻第四、題簽剥落）。

〔内題〕〔闕疑抄巻第一上（一五）〕。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高二二・五糎。

〔版心〕ノ下に巻数と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕第一冊、五二丁（巻第一）、第二冊、五二丁（巻第二、六丁補写）、第三冊、五四丁（巻第三）、第四冊、四九丁（巻第四）、第五冊、五八丁（巻第五・四九丁／天福本之奥書、系図・七丁／跋、本奥書、刊記・二丁）。

〔刊記〕巻末に文禄五年自跋、慶長二年中院通勝による本奥書の後に、

「（七格低）御幸町通二条／（十二格低）仁右衛門 活板之。

〔印記〕「越後国／羽ヶ榎／國井氏」（朱方印）、「□□／堂／所藏」（朱方印）、「羽／邨」（朱方印）、「寶玲文庫」（黒長方印、フランク・

ホーレー）、「月明莊」（朱・小印、反町茂雄）。

〔備考〕朱墨書き入れあり。川瀬、五〇八頁、慶長元和中、仁右衛門刊本。『弘文莊古活字版目録』、二〇六頁掲載本。

16 伊勢物語闕疑抄 五卷 細川幽齋著

〔請求番号〕98—927—1—5（鉄心齋）

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕原装（押八双有）丹空押雷文繫ぎ牡丹唐草文様表紙。二八・二×二〇・一糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に双辺枠原刷題簽（一六・〇×三・七糎）、〔闕疑抄一（一五）〕。

〔内題〕〔闕疑抄巻第一（一五）〕。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一二行×二二字内外。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高二〇・九糎。

〔版心〕ノ下に巻数と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕第一冊、四〇丁（巻第一）、第二冊、三九丁（巻第二）、第三冊、四一丁（巻第三）、第四冊、三七丁（巻第四）、第五冊、四四丁（巻第五・三七丁／天福本之奥書、系図・六丁／跋、本奥書・一丁）。

〔刊記〕巻末に文禄五年自跋、慶長二年中院通勝による本奥書を刻するのみ。

〔印記〕「古口山房圖書記」(朱長方印)、「五島ノ之印」(朱方印、陰刻)、

「福原ノ文庫」(朱方印、陰刻)、「小汀文庫」(朱長方形)、「鏡心齋文庫」(朱長方印)、「熊」(「日」に丸)本ノ上通二丁目ノ書舖ノ川口屋又次郎」(朱長方印、第五冊の巻末のみ)。

〔備考〕朱引、朱丸、墨筆による返点、振仮名、送仮名、その他朱墨による書き入れが多数施されている。川瀬、五〇八・八八五―八八六頁、寛永中刊(無刊記)本(ロ)種。八八六頁に著録する小汀文庫蔵本が本書。ただし、(イ)種とするのは(ロ)種の誤記。

17 伊勢物語闕疑抄 五卷 細川幽齋著

〔請求番号〕98―928―115 (鉄心齋)

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕後補薄桃色表紙。二七・八×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。表紙中央に「伊勢もの語 一」、「い勢□□の語 二」、「為せものかたり三」、「以勢ものか多裡五」と打付書。

〔内題〕「闕疑抄卷第一(一五)」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一二行×二二字内外。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高二一・〇糎。

〔版心〕ノドに巻数と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕第一冊、四〇丁(巻第一)、第二冊、三九丁(巻第二)、第三冊、

四一丁(巻第三)、第四冊(巻第四)、整版補配、第五冊、四四

丁(巻第五・三七丁ノ天福本之奥書、系図・六丁ノ跋、本奥書・一丁)。他、各冊とも前後に遊紙(後補)各一丁。

〔刊記〕巻末に文禄五年自跋、慶長二年中院通勝による本奥書を刻するのみ。

〔印記〕「鏡心齋文庫」(朱長方印)。

〔備考〕巻第四のみ整版補配。その巻末に旧蔵者の鉄心齋文庫主、苜澤新二氏の識語、「本冊一九八二年十二月大分県ハレルヤ書店ヨリノ金五千円にて求む田中宗作氏伊勢物語研究史ノの研究による「無刊記版本」に当るも端本なれば一九七三年中尾松泉堂より求めたる十二行古活字本ノの第四巻を欠くにつきこれに合わせ蔵すこととせりノ苜澤鉄心齋」。川瀬、五〇八・八八五頁、寛永中刊(無刊記)本(ハ)種。無書入。

18 伊勢物語闕疑抄 五卷 細川幽齋著

〔請求番号〕98―931―115 (鉄心齋)

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕原裝(押八双有)栗皮表紙。二八・三×二〇・一糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に双边梓原刷題簽(一六・二×三・六糎)、「闕疑抄 一(一五)」。

〔内題〕「闕疑抄卷第一(一五)」。

〔尾題〕無。

【本文】 每半葉二行×二一字内外。漢字平仮名交。

【匡郭】 無辺、無界。字高二〇・八糎。

【版心】 ノ下に巻数と丁附を刻するのみ。

【丁数】 第一冊、四〇丁（巻第二）、第二冊、三九丁（巻第二）、第三冊、

四一丁（巻第三）、第四冊、三七丁（巻第四）、第五冊、四四丁

（巻第五・三七丁／天福本之奥書、系図・六丁／跋、本奥書・

一丁）。

【刊記】 巻末に文祿五年自跋、慶長二年中院通勝による本奥書を刻する

のみ。

【印記】 「鉄心齋文庫」（朱長方印）。

【備考】 巻第一の二〇丁裏、二二丁表、二三丁表、二五丁表に朱筆で句

読点が施されている程度で、無書人に等しい。川瀬、五〇八・

八八五頁、寛永中刊（無刊記）本（イ）種。「844・註版5（鉄

心齋）」本と同版。一九七六年六月二九日、一誠堂書店より購入

（二六〇、〇〇〇円）。

【附記】 以前、鉄心齋文庫で左記の本の調査したが、今回の調査では所蔵の確認ができなかった。参考までに以前の調査メモを挙げておく。

19 伊勢物語 存下巻

【請求番号】 番号なし

【体裁】 大本一冊（存下巻）。袋綴。

【表紙】 原装藤色雲母刷り信夫草文様表紙（二七・〇糎×一九・二糎）。

【題簽】 剥落、中央部に形跡をとどめるのみ。

【内題】 無。

【尾題】 無。

【本文】 每半葉九行（巻首丁のみ七行）、十八字。漢字平仮名交。挿絵（整

版）、二四図。

【匡郭】 無辺無界。字高二二・三糎。

【版心】 無。

【丁数】 六五丁（六二丁目重複）。他、前遊紙一丁。

【料紙】 楮紙。具引き、色替わり料紙交える。

【刊記】 「伊勢物語新刊就余需勘校抑京極黄／門一本之奥書云此物語之

根源古人之説々／不同云々如今以天福年所被与孫女本正之／然

而猶恐有訂校之遺欠也更圖画卷中／之趣分以為上下是雖不足動

好女人情／聊為令悅稚童眼目而已／慶長戊申夏上浣／也足叟

（花押）」（整版、花押は墨自署）。

【印記】 「心山／享藏」（前表紙見返し、朱方印）、「心□□／堂／藏書」

（前遊紙、朱方印）。

【備考】 慶長十三年再刊乙種本（第二種本）。料紙は楮紙、具引き、色替

わり料紙交える。六二丁目が六一丁目と六三丁目に重複して入る。

20 伊曾保物語 三卷

〔請求番号〕99-191-1-3 (貴重書)

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕原裝(押八双有) 縹色空押雷文繫ぎ蓮華唐草文様表紙。二七・

四×一七・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩剥落(二六・五×三・一糎)。その痕に「伊曾保物語 上(中・

下)」と打付書。

〔内題〕「伊曾保物語上(中・下) 目録」、「伊曾保物語上(中・下)」。

〔尾題〕「伊曾保物語上(中・下) 終」。

〔本文〕每半葉二行×二二字。漢字平仮名交。小型活字。附訓、濁点

活字も交える。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・九糎。

〔版心〕卷、丁附(目録、本文通し丁附)を刻するのみ。

〔丁数〕第一冊、二五丁(上)、目録・一丁/本文・二四丁)、第二冊、三

五丁(中)、目録・二丁/本文・三三丁)、第三冊、三六丁(下、

目録・二丁/本文・三四丁)。

〔刊記〕無。

〔印記〕目録題(下巻は本文内題)の下に判読不明の極小丸印が捺されるのみ。

〔備考〕無書入。各冊とも後表紙の見返しに「中田全氏/三冊之内」と

墨書。川瀬、六〇四頁、(五) 寛永中刊本(川瀬、十二行を「十

一行」と誤る)。

21 宇津保物語 二卷

〔請求番号〕サ4-71-1-2

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕栗皮表紙(上巻の表紙に押八双があるが、後補か)。二七・九×

一八・五糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補双辺刷梓書題簽(一八・三×三・七糎)、「宇津保物

語上(下)」。

〔内題〕「(二格低) うつほものかたり上」、「(二格低) うつほ物語下」。

〔尾題〕「(五格低) 上巻終」、「(二格低) うつほ物語巻下終」。

〔本文〕每半葉一行×二〇字内外。漢字平仮名交。稍小型の活字を用

いる。附訓活字も交える。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・六糎。

〔版心〕「うつ上(下)」と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕第一冊、四六丁(上)、第二冊、三四丁(下)。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕無書入。川瀬、五一頁、第二種本、「元和寛永中の印行」。

22 栄花物語 四十卷

〔請求番号〕96-21-1-20 (鶴飼)

〔体裁〕大本二〇冊。

〔表紙〕後補薄縹色表紙。二八・二×二〇・六糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「榮花物語二二（一冊九十四）」と打付書。

〔内題〕「榮花物語」（目録）。

〔尾題〕無。

〔本文〕毎半葉一行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・九糎。

〔版心〕無。ノ下に巻数と丁附を刻す。

〔丁数〕第一冊、八八丁（目録・一丁／月宴・五〇丁／花山・三七丁）、

第二冊、六六丁（目録・一丁／さま／のよろこひ・二八丁／

見はてぬゆめ・三七丁）、第三冊、六二丁（目録・一丁／うら／

のわかれ・四五丁／かゝやくふちつほ（目録、かゝやく藤つほ）。

一五丁）、第四冊、一〇四丁（目録・一丁／とりへ野・二九丁／

はつ花・七四丁）、第五冊、四七丁（目録・一丁／石蔭・二〇丁

／日かけのかつら・二六丁）、第六冊、五三丁（目録・一丁／つ

ほみ花・一九丁／玉村菊・三三丁）、第七冊、五一丁（目録・一

丁／木綿四手・二七丁／朝緑（目録、あさみとり）・二三丁）、

第八冊、六七丁（目録・一丁／弟子大日本国左大臣……・三丁

／疑・二三丁／本のしつく・四〇丁）、第九冊、四二丁（目録・

一丁／をんかく（目録、音楽）・二三丁／玉臺・一八丁）、第一

〇冊、二九丁（目録・一丁／御着裳・一九丁／御賀・九丁）第

一一冊、二六丁（目録・一丁／後悔大将・一六丁／とりのまひ

（目録、鳥舞）・九丁）、第十二冊、三三丁（目録・一丁／こま

くらへ・一五丁／わか枝・一七丁）、第十三冊、五六丁（目録・

一丁／みねの月（目録、嶺月）・二三丁／楚王の夢・三三丁）、

第十四冊、六二丁（目録・一丁／衣珠・四四丁／わかみつ（目

録、若水）・一七丁）、第十五冊、五四丁（目録・一丁／玉のか

さり・二八丁／つるのはやし（目録、霧林）・二五丁）、第十六

冊、五二丁（目録・一丁／殿上花見・二六丁／哥合・二四丁）、

第十七冊、三九丁（目録・一丁／きるはわひしと敷女房・一六

丁／晩待星・二三丁）、第十八冊、五四丁（目録・一丁／蜘蛛のふ

るまひ・五丁／ねあはせ（目録、根あはせ）・四八丁）、第十九

冊、四三丁（目録・一丁／煙後・一五丁／松のしつえ・二七丁）、

第二〇冊、四四丁（目録・一丁／布ひきのたき（ぬのひき瀧）。

三〇丁／むらさき野・一三丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印、小）が押されるのみ。

〔備考〕朱墨による異本との校合が若干施されている。各冊とも巻末に

朱識語、「此二帖以法興院関白殿家之自筆本一校了」（第一冊）、

「此一帖以法興院関白殿家之自筆本一校了」（第二冊、さま／

のよろこひ）、「元禄十六九十以中御門大納言宗綱卿自筆本一校

了」（第二冊、見はてぬゆめ）、「右二帖（うら／のわかれ／かゝ

やく藤つほ）以中御門大納言宗綱卿筆本一校了」（第三冊）、「右

一帖以相国寺万松院永崇筆本一校了／元禄十六九十七（第四冊、

とりへ野）、「右一帖以等貴自筆本一校了／元禄十六九十九（花

押）」（第四冊、はつ花）、「以中御門大納言宣秀卿自筆本一校了

/元禄十六九十(第五册、石蔭)、「元禄十六九十九/以中御門大納言宣秀卿自筆一校畢」(第五册、日かけのかつら)、「元禄十六九十九以中御門大納言宣秀卿真跡一校畢」(第六册、つほみ花)、「元禄十六九十一右一帖以滋野井中納言教國卿真筆借或人手一校了」(第六册、玉村菊)、「右一帖以滋野井中納言教國卿筆校合了/元禄十六九十六」(第七册、木綿四手)、「右一帖以姉小路宰相濟繼卿筆一校了/元禄十六九十六特進源(花押)」(第七册、朝緑)、「右一帖以姉小路宰相濟繼卿自筆本一校了」(第八册、疑)、「右以中御門大納言宣秀卿自筆本一校了」(第八册、本のしつく)、「此一帖以中御門大納言宣秀卿自筆本一校了」(第九册、をんかく)、「此一帖以姉小路大納言基綱卿自筆本一校了」(第九册、玉臺)、「此二帖以姉小路大納言基綱卿自筆本一校了」(第一〇册)、「右二帖以中御門一位宣胤卿自筆本一校了」(第一一册)、「右二帖以中御門一位宣胤卿自筆本一校了」(第二二册)、「右二帖(望月/楚王夢)以法音院関白兼輔公筆本一校了/元禄十六年九月廿三日(花押)」(第一三册)、「右以中御門大納言宗綱卿筆本一校了」(第一四册、衣珠)、「右一帖以葉室大納言光忠卿自筆本一校了」(第一四册、わかみつ)、「右二帖葉室大納言光忠卿自筆本一校了」(第一五册)、「右中御門一位大納言宣秀卿自筆本一校了」(第一六册、殿上花見)、「右一帖以中御門一位大納言宣秀卿自筆本一校了」(第一六册、哥合)、「右四帖二卷以中御門大納言宣秀卿筆本一校了/元禄十六廿廿(花押)」(第一七册)、「右二帖

以中御門大納言宣秀筆本令久世三位通清校合了/元禄十六廿廿(花押)」(第一八册)、「右両卷(煙後/松のしつえ)以世尊寺行季筆一校了/元禄十六初七(花押)」(第一九册)、「右二帖以世尊寺行季卿自筆本命黄門令一校了/元禄十六仲冬下浣(花押)」(第二〇册)。川瀬、五二九・八九四頁、「元和寛永中の開版と認められる」。

23 栄花物語 四十卷

〔請求番号〕サ4-43-1520

〔体裁〕大本二〇册。

〔表紙〕後補茶色渋引き表紙。二六・七×一九・六糎。四針袋綴。

〔題簽〕第一册無題。以下の册、左肩に「栄花(栄華)物語」(三さま

くのよろこひ/四みはてぬ夢)―(卅九ぬのひきの瀧/四十むらさき野)と打付書。

〔内題〕「栄花物語」(目録)。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・九糎。

〔版心〕無。ノドに卷数と丁附を刻す。

〔丁数〕第一册、八八丁(目録・一丁/月宴・五〇丁/花山・三七丁)、第二册、六六丁(目録・一丁/さまくのよろこひ・二八丁/見はてぬゆめ・三七丁)、第三册、六一丁(目録・一丁/うらく

のわかれ・四五丁／かゝやくふちつほ（目録、かゝやく藤つほ）
 一五丁）、第四冊、一〇四丁（目録・一丁／とりへ野・二九丁／
 はつ花・七四丁）、第五冊、四七丁（目録・一丁／石蔭・二〇丁
 ／日かけのかつら・二六丁）、第六冊、五三丁（目録・一丁／つ
 ほみ花・一九丁／玉村菊・三三丁）、第七冊、五一丁（目録・一
 丁／木綿四手・二七丁／朝緑（目録、あさみとり）・二三丁）、
 第八冊、六七丁（目録・一丁／疑・二三丁／弟子大日本国左大
 臣……・三丁／本のしつく・四〇丁）、第九冊、四二丁（目録・
 一丁／をんかく（目録、音楽）・二三丁／玉臺・一八丁）、第一
 〇冊、二九丁（目録・一丁／御着裳・一九丁／御賀・九丁）第
 一一冊、二六丁（目録・一丁／後悔大将・一六丁／とりのまひ
 （目録、鳥舞）・九丁）、第十二冊、三三丁（目録・一丁／こま
 くらへ・一四丁／わか枝・一六丁）、第十三冊、五六丁（目録・
 一丁／みねの月（目録、嶺月）・二三丁／楚王の夢・三三丁）、
 第十四冊、六二丁（目録・一丁／衣珠・四四丁／わかみつ（目
 録、若水）・一七丁）、第十五冊、五四丁（目録・一丁／玉のか
 さり・二八丁／つるのはやし（目録、鶴林）・二四丁）、第十六
 冊、五一丁（目録・一丁／殿上花見・二六丁／哥合・二四丁）、
 第十七冊、三九丁（目録・一丁／きるはわひしと歎女房・一六
 丁／晩待星・二二丁）、第十八冊、五四丁（目録・一丁／蛛のふ
 るまひ・五丁／ねあはせ（目録、根あはせ）・四八丁）、第十九
 冊、四三丁（目録・一丁／煙後・一五丁／松のしつえ・二七丁）、

第二〇冊、四四丁（目録・一丁／布ひきのたき（ぬのひき瀧）
 二九丁／むらさき野・一三丁）。他、各冊とも前遊紙一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「岡田眞ノ之藏書」（朱長方印）。

〔備考〕全丁裏打修補。川瀬、五二九・八九四頁、「元和寛永中の開版と
 認められる」。

24 往生要集鈔 二卷

〔請求番号〕ヤ4―32―154

〔体裁〕大本四冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二八・二×二〇・〇糎。五針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「往生要集鈔 一（一四）」と打付書。

〔内題〕「往生要集卷上（一丁）抄（鈔）第一（一四・一・二）／（十三
 格低）釋 良忠 述」。

〔尾題〕「（一格低）往生要集卷上（一丁）鈔第一（一四・一・二）」。

〔本文〕每半葉一行×二〇字。附訓植版。

〔匡郭〕四周单边（二三・二×一六・一糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「要集科文上（中・下） 丁附」（目録）、
 「要集抄上一（上二・上三・上四・中一・中二・下二）
 丁附」。

〔丁数〕第一冊、七六丁（目録・一丁／卷上第一・四二丁／卷上第二・

三四丁)、第二冊、七二丁(目録・一丁/卷上第三・四二丁/卷

〔印記〕無。

上第四・二八丁)、第三冊、六四丁(目録・一丁/卷中第一・三

〔備考〕墨書による訓点の他、朱墨による書き入れが施されている。川

〇丁/卷中第二・三三三丁)、第四冊、六〇丁(目録・一丁/卷下

瀬、三四九頁に、杉浦三郎兵衛氏蔵の「無辺、無界。七行、十

第一・三二丁/卷下第二・二八丁)。

七字。両面摺」本と「異植字版」を著録するが、これらとは別

〔刊記〕「于時寛永三(丙/寅)曆閏四月吉日刊摺之畢」。

種の本。

〔印記〕「岡田眞之藏書」(朱長方印)。

〔備考〕朱引、朱句読点、朱墨による書き入れごくわずか。川瀬、三〇

四・三〇九頁、叡山版。

25 ※大原談義聞書抄 源空説聖覚記?

〔請求番号〕ヤ4―207

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補小豆色表紙。二五・六×一七・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「大原問答」と打付書。

〔内題〕「大原談義聞書抄」。

〔尾題〕「大原談義聞書抄」。

〔本文〕每半葉七行×一七字。稚拙な大型活字を用いる。

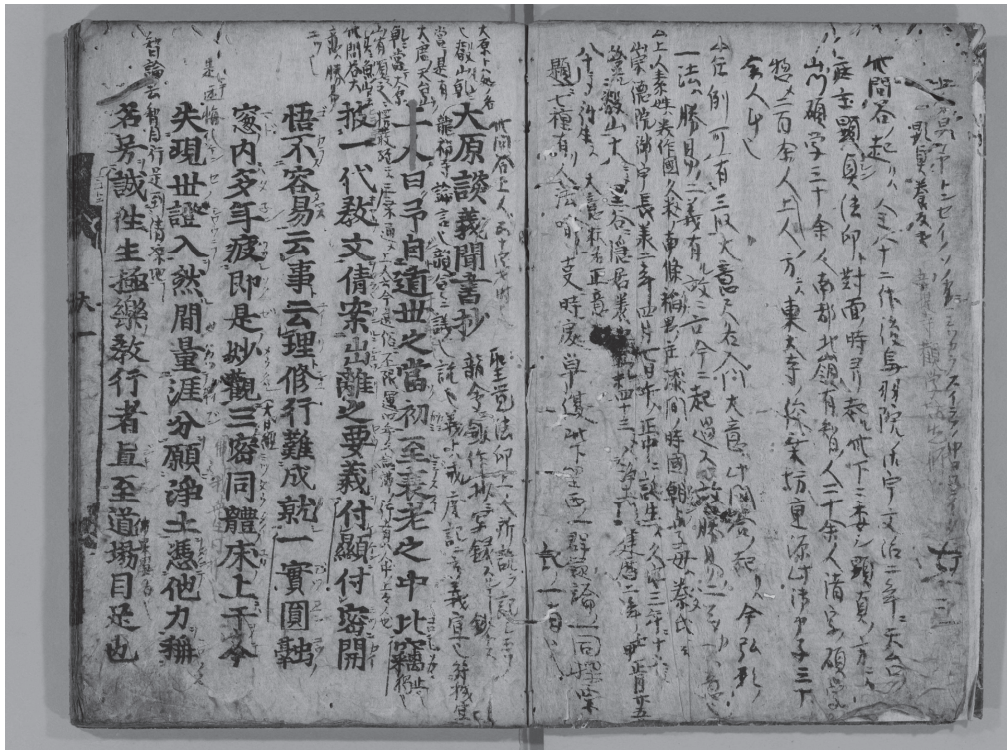
〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・五糎。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「大 丁附」。

〔丁数〕三二丁。卷末に「六字名号口傳」、「大原問答起御書」(いずれも

整版)を附す。

〔刊記〕無。



〔請求番号〕サ4-90-156

〔体裁〕大本六冊。

〔表紙〕縹色表紙（押八双はあるが、後補か）。二八・一×二〇・五糎。

四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（一八・五×三・七糎）、「大かゝみ 一（一

六）」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一二行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二三・〇糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、五〇丁（目録・一丁／序・六丁／王代記、冬嗣大臣、

時平大臣・四三丁）、第二冊、五七丁（目録・一丁／枇杷左大臣

（仲平）／九條殿（師輔）・五三丁／関白次第・一丁／世継名・

二丁）、第三冊、五二丁（目録・一丁／謙徳公（伊尹）／大入道

殿（兼家）・五二丁）、第四冊、二六丁（目録・一丁／内大臣道

隆、右大臣道兼・二五丁）、第五冊、四九丁（道長・四九丁）、

第六冊、三九丁（いと／あさましくめつらかにつきせずた

り……）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「田藩文庫」（黒長方印）、「田安／府芸／臺印」（朱方印、以上

二印、田安德川家)、「秋／葉」(朱方印)。

〔備考〕無書入。川瀬、五二九・八九四頁。「増鏡水鏡の両書と同種活字で、慶元(慶長元和)中共時に刊行せられたものと認められる」。

【か】

27 寛永行幸記 三卷 伝鳥丸光広著

〔請求番号〕ヨ2―61―1―3

〔体裁〕卷子本、三軸。

〔表紙〕茶色地金緞子表紙。見返し、金銀箔散らし。

〔題簽〕無。

〔内題〕「御行幸の次第目録」。

〔尾題〕無。

〔本文〕絵入り、本文、漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。第一軸第一紙、二五・六×四〇・二糎。字高、二

二・〇糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一軸、三〇紙(御行幸の次第目録／一御車の先へ女中方長えにて御供之事／一御車九両の次第之事／寛永三年九月六日／御行幸(二格空)二条亭への事)、第二軸、一八紙(御行幸の次第目録／一楽の事／一御こんたての事)、第三軸、二二紙(御行幸の次第目録／一將軍様御むかひに御参内なされ則御ほうれんのさきへ御供の事／一関白殿御供事)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「寶玲文庫」(黒長方印、フランク・ホーレー)、「アカキ」(朱長方小印、横山重)。

〔備考〕川瀬、六二三・九四五頁。「寛永三年九月六日後水尾天皇が二條

城へ行幸の次第を画いた行列絵巻で、撰述後間もなく印行したものである。川瀬は、第一種本(鳥丸光広の稿本に拠つて最初に現れたもの)、第二種本(イロ二種)に分類、その他、第一種本と第二種本(イ)の中間に位置する別種の異植字版(栗田文庫蔵)があることを記す。これを受け、間島由美子による詳細な研究(『寛永行幸記』絵巻について―4種類の古活字版とその覆刻整版と写本―)、『参考書誌研究』第五五号、国立国会図書館、二〇〇一年)がある。本書は、間島の分類による第二種口本。「第二種口本は第二種イ本と構成は全く同一である。文字活字の全ては一致しないが、使用している絵活字は全て一致しており、版式もほぼ同じである。すなわち、第二種口本は第二種イ本と同一の絵活字を使用して組み替えた異植字版である」(間島、一八頁)。

28 寛永行幸記 存上・下巻 伝鳥丸光広著

〔請求番号〕ヨ2―57―1―2

〔体裁〕卷子本、二軸。

〔表紙〕栗皮表紙。

〔題簽〕無。

〔内題〕「御行幸の次第目録」。

〔尾題〕無。

〔本文〕絵入り、本文、漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。第一軸第一紙、二五・七×四二・六糎。字高、二

二・〇糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一軸、二八紙（御行幸の次第目録／一御車の先へ女中方長え

にて御供之事／一御車九両の次第之事／寛永三年九月六日／御

行幸（二格空）二条亭への事）、第二軸、二二紙（御行幸の次第

目録／一將軍様御むかひに御参内なされ則御ほうれんのさきへ

御供の事／一関白殿御供事）。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕間島由美子、国文研A本。第二種口本。第二軸、上巻第二紙と

下巻全二一紙を合わせる。

29 源氏物語 存わかな上・あけまき 紫式部著

〔請求番号〕12—472—1—2（初雁）

〔体裁〕大本二冊（存わかな上・あけまき）。

〔表紙〕縹色空押雷文襷に雨竜文様表紙（押八双は有するが後補）。二

七・〇×一九・五糎。四針袋綴。

〔題簽〕中央に後補の書題簽、「（破損）かな（破損）上」、「あけまきへ四

十七（墨）／四十六（朱）」（一四・八×三・五糎）。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二一字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二二・〇糎。

〔版心〕無。ノドに「わか上（あけ） 丁附」と刻す。

〔丁数〕第一冊、一〇〇丁（わか上）、第二冊、八六丁（あけまき、三

六丁補写）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「林田／支雄」（朱方印）、「林田蔵／書之印」（朱長方印）、「西下

／蔵書」（西下経一、朱方印）。

〔備考〕ごくわずかに朱句読点、墨筆による書入が施されている。川瀬、

五二二頁、寛永中刊。版種については要調査。

30 源氏小鏡

〔請求番号〕99—179—1—3（貴重書）

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕原装（押八双有）縹色表紙。二七・三×一九・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕中央やや上に後補の薄縹色書題簽（一五・二×三・二糎）、「源

氏こかゝみ 上（中・下）」。

〔内題〕「（四格低）源氏目録」、「（三格低）源氏目録」、「（三格低）宇治

十帖。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×一八字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・二糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、四三丁(目録・一丁ノ一きりつほ十あかし・四二丁)、

第二冊、五七丁(目録・一丁ノ十一みをつくし并せきや よも

きふゝ卅七にほふ宮井竹河紅梅・五六丁)、第三冊、三〇丁(目

録・一丁ノ一はしひめゝ十夢のうき橋・二九丁)。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕濁点が若干施されるのみ。上巻、一丁表の一行目「内裡」の「裡」

から「裏」の活字紙片を貼附。川瀬、五二三・八八八頁、慶長

元和中刊十一行本。

31 項羽

〔請求番号〕タ7―58

〔体裁〕半紙本。綴葉装の一番綴。

〔表紙〕原裝水色雲母刷文様(唐草十字印禪文・乙)表紙。二四・〇×

一八・〇糎。

〔題簽〕左肩に後補の薄茶色書題簽(一〇・八×三・〇糎)、「項羽」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉七行×一三字。鈎印(フ)や区切り印は墨書。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一九・〇糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一折、三枚(五丁、一丁前表紙に入る)、二折、三枚(五丁、一

丁後表紙に入る)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研/究資料館」(朱長方印)が捺されるのみ。

〔備考〕無書入。嵯峨本、觀世流謄本の特製本(表紙にも本文料紙にも

雲母文様のある謄本)。料紙には具引き、雲母刷文様(波、梅立

枝・丙、メヒシバ)が施されている。

32 新雕皇朝類苑 七八卷 存卷第一―二十七・三十四―七十八(宋)

江少虞撰

〔請求番号〕ワ3―132―113

〔体裁〕大本一三冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二八・二×二二・三糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽(一六・四×三・三糎)、「皇朝類苑(破損)

(一七十三之八)」。題簽下に「全拾五冊」と墨書。

〔内題〕「新雕 皇朝類苑卷第一(一七十八)」。

〔尾題〕「新雕皇朝類苑卷第一(一七十八終)」。

〔本文〕一三行×二〇字。跋には行書体の大型活字を用いる。

〔匡郭〕四周双辺（二二・二×一六・六糶）、無界。跋は有界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「皇朝卷一（一七十八・皇朝類苑跋）」丁附。

〔丁数〕第一冊、六六丁（巻第一・一二丁、四丁の丁附「四五」、五丁の丁附「六」、以下丁附にズレあり／巻第二・一三丁／巻第三・九丁／巻第四・一二丁／巻第五・一〇丁／巻第六・一二丁）、第二冊、六四丁（巻第七・一〇丁／巻第八・一三丁／巻第九・一一丁／巻第十・一一丁／巻第十一・一二丁／巻第十二・八丁）、第三冊、五八丁（巻第十三・一二丁／巻第十四・一三丁／巻第十五・一三丁／巻第十六・一〇丁／巻第十七・一〇丁）、第四冊、五七丁（巻第十八・一二丁／巻第十九・一二丁／巻第二十・一一丁／巻第二十一・一一丁／巻第二十二・二三丁）、第五冊、六〇丁（巻第二十三・一二丁／巻第二十四・一二丁／巻第二十五・一二丁／巻第二十六・一二丁／巻第二十七・一二丁）、第六冊、六二丁（巻第三十四・一二丁／巻第三十五・一四丁／巻第三十六・一二丁／巻第三十七・一二丁／巻第三十八・一二丁）、第七冊、六二丁（巻第三十九・一二丁／巻第四十・一五丁／巻第四十一・一二丁／巻第四十二・一二丁／巻第四十三・一二丁）、第八冊、六六丁（巻第四十四・一三丁／巻第四十五・一二丁／巻第四十六・一二丁／巻第四十七・八丁／巻第四十八・一一丁／巻第四十九・一〇丁）、第九冊、六五丁（巻第五十・九丁／巻第五十一・九丁／巻第五十二・一二丁／巻第五十三・一二丁／巻

第五十四・一二丁／巻第五十五・一三丁）、第一〇冊、六二丁（巻第五十六・一三丁／巻第五十七・一〇丁／巻第五十八・一二丁／巻第五十九・一三丁／巻第六十・一三丁）、第一一冊、六七丁（巻第六十一・一四丁、五丁目と六丁目の間に、巻第六十六の巻首丁誤綴／巻第六十二・一一丁／巻第六十三・一〇丁／巻第六十四・一二丁／巻第六十五・一二丁／巻第六十六・九丁）、第一二冊、六七丁（巻第六十七・一一丁／巻第六十八・一三丁／巻第六十九・一三丁／巻第七十・一〇丁／巻第七十一・一〇丁／巻第七十二・一〇丁）、第一三冊、六三丁（巻第七十三・一〇丁／巻第七十四・一〇丁／巻第七十五・一〇丁／巻第七十六・一〇丁／巻第七十七・一一丁／巻第七十八・八丁／跋・四丁）。

〔刊記〕跋、「皇宋事實類苑吉州太守江／少虞所撰也……元和七年重光作臘六月晦日／（一行空）／前南禪臣僧瑞保謹書」。

〔印記〕「永田町／鍋島家／藏書印」（朱方印）。

〔備考〕ごく僅かに朱引、朱傍点等が施されるのみ。後水尾天皇が元和七（一六二一）年に木活字で刊行させた古活字版（川瀬、一九二頁、銅活字とするが誤認）で、一般に元和勅版と呼ばれている。

33 後漢書 九〇巻補志三〇巻 范曄編（唐）章懷太子賢註

〔請求番号〕ワ2-50-1130

〔体裁〕大本三〇冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二九・六×一九・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補双辺刷梓書題簽(二一・八×四・七糎)、「後漢書 帝紀 序目 一(―列傳 七十七之八十 終)」。

〔内題〕「後漢書注補志序」、「後漢書目錄」、「光武帝紀第一上 范曄 後漢書一上/(九格低)唐章懷太子賢註」(―皇后紀第十下(二格空) 范曄 後漢書十下)、「後漢書志第一(六格空) 劉昭注補」

(―後漢書志第三十(三格空) 劉 昭 注補)、「劉玄劉盆子列傳第一 范曄 後漢書十一/(八格低)唐章懷太子賢註」(―烏桓鮮卑列傳第八十/(八格低) 范曄 後漢書九十)。

〔尾題〕「光武帝紀第一上」(―皇后紀第十下(三格空)張桌王鰲叟校正)、「後漢書志第一」(―後漢書志第三十/(六格低)寧國路學正王師道校正)、「劉玄劉盆子列傳第一 張桌王鰲叟校正」(―烏桓鮮卑列傳第八十/(十二格低) 鰲叟校正/(三格低) 前進士儒學錄充經師張桌校正)。

〔本文〕每半葉九行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺(卷首序、二一・八×一六・三糎)、有界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「後漢志序(後漢序・後漢目錄・後漢記一上―十下・後漢志一―三十・後漢傳一―八十) 丁附」。

〔丁数〕第一冊、一〇三丁(後漢書注補志序・三丁/序・二丁/目錄・二八丁/帝紀一上・三六丁/帝紀一下・三四丁)、第二冊、八七

丁(帝紀二・二九丁/帝紀三・二九丁/帝紀四・二九丁)、第三冊、八五丁(帝紀五・三一丁/帝紀六・二九丁/帝紀七・二五

丁。二一五丁、十八―二十丁誤綴)、第四冊、一〇六丁(帝紀八・

二三丁/帝紀九・一九丁/皇后紀十上・三七丁/皇后紀十下・二七丁)、第五冊、一二八丁(志一・二二丁/志二・二八丁/志

三・三七丁/志四・一一丁/志五・一六丁/志六・一五丁)、第

六冊、一二九丁(志七・一七丁/志八・二二丁/志九・一六丁/志十・一四丁/志十一・二二丁/志十二・一一丁/志十三・

二四丁/志十四・一三丁)、第七冊、一四二丁(志十五・一四丁/志十六・二二丁/志十七・一三丁/志十八・一八丁/志十九・一八丁/志二十・一四丁/志二十一・二二丁/志二十二・一六

丁/志二十三・二四丁)、第八冊、一〇〇丁(志二十四・一一丁/志二十五・一三丁/志二十六・一三丁/志二十七・一〇丁/

志二十八・一八丁/志二十九・一五丁/志三十・二〇丁)、第九冊、九七丁(列伝一・二三丁/列伝二・二〇丁/列伝三・三三

丁/列伝四・二二丁)、第一〇冊、九二丁(列伝五・二三丁/列伝六・三七丁/列伝七・三三丁)、第一一冊、一一〇丁(列伝八・

二五丁/列伝九・二五丁、十二丁欠/列伝十・一九丁/列伝十一・一七丁/列伝十二・二四丁)、第二二冊、八六丁(列伝十三・

二九丁/列伝十四・三七丁/列伝十五・二〇丁)、第二三冊、一〇三丁(列伝十六・三二丁/列伝十七・二四丁/列伝十八上・二四丁/列伝十八下・二四丁)、第一四冊、九七丁(列伝十九・二六丁/列伝二十上・一〇丁/列伝二十下・三四丁/列伝二十一・二七丁)、第一五冊、八八丁(列伝二十二・一六丁/列伝二

十三・二四丁／列伝二十四・二五丁／列伝二十五・二三丁）、第一六冊、九六冊（列伝二十六・三〇丁／列伝二十七・二二丁／列伝二十八・一七丁／列伝二十九・二七丁）、第一七冊、八六丁（列伝三十上・三〇丁／列伝三十下・二九丁／列伝三十一・二七丁）、第一八冊、八六丁（列伝三十二・三三丁／列伝三十三・三四丁／列伝三十四・一九丁）、第一九冊、一〇八丁（列伝三十五・二五丁／列伝三十六・二六丁／列伝三十七・二八丁／列伝三十八・二九丁）、第二〇冊、九八丁（列伝三十九・三七丁／列伝四十・一四丁／列伝四十一・一八丁／列伝四十二・二九丁）、第二一冊、八九丁（列伝四十三・一五丁／列伝四十四・三四丁／列伝四十五・一六丁／列伝四十六・二四丁）、第二二冊、一五二丁（列伝四十七・二五丁／列伝四十八・三二丁／列伝四十九・四二丁／列伝五十上・二二丁／列伝五十下・三三丁）、第二三冊、一三九丁（列伝五十一・三五丁／列伝五十二・二二丁／列伝五十三・二五丁／列伝五十四・二七丁／列伝五十五・三〇丁）、第二四冊、九一丁（列伝五十六・二四丁／列伝五十七・三七丁／列伝五十八・一二丁／列伝五十九・一八丁）、第二五冊、一〇四丁（列伝六十・三六丁／列伝六十一・二〇丁／列伝六十二・三〇丁／列伝六十三・一八丁）、第二六冊、一〇六丁（列伝六十四上・三四丁／列伝六十四下・二〇丁／列伝六十五・二四丁／列伝六十六・二八丁）、第二七冊、一〇〇丁（列伝六十七・一八丁／列伝六十八・三五丁／列伝六十九上・二三丁／列伝六十九下・

二四丁）、第二八冊、九二丁（列伝七十上・二六丁／列伝七十下・三〇丁／列伝七十一・三六丁）、第二九冊、一五四丁（列伝七十二上・二四丁／列伝七十二下・二五丁／列伝七十三・二三丁／列伝七十四・二五丁／列伝七十五・一九丁／列伝七十六・三八丁）、第三〇冊、一三〇丁（列伝七十七・四一丁／列伝七十八・三一丁／列伝七十九・三八丁／列伝八十・二〇丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「岡田真」（朱長方印）。

〔備考〕第九―二五冊（列傳一一六十三）に、朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名、上下欄に若干の書き入れが施されている。虫損多し、一部の巻には裏打修補が施されている。刊行年は、寛永元（一六二四）年六月十三日以前。（高木浩明「古活字版調査余録（二）―『後漢書』の刊行年時を考える―」、『汲古』第59号、二〇一一年）。

34 笑雲和尚古文真寶抄 十卷 笑雲清三編

〔請求番号〕ワ9―38―11513

〔体裁〕大本一三冊。

〔表紙〕原裝（押入双有）栗皮表紙。二八・七×二〇・六糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「笑雲和尚古文真寶之抄一之上（一巻之十）」、「魁本大字諸儒箋

解古文真寶卷之一（一巻之十）」。

〔尾題〕「笑雲和尚古文真寶之抄卷之十三終」。

〔本文〕小字一八行、漢字片仮名交。大字一八字。ソ式仮名抄。

〔匡郭〕四周双辺（二二・二×一六・六糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾（双花口魚尾）、中縫、「古文抄一上 丁附」。

〔丁数〕第一冊、八〇丁（一之上、目録、序・八丁／本文・七二丁）、第

二冊、九七丁（一之下）、第三冊、六七丁（卷之二、目録・一丁

／本文・六六丁）、第四冊、八三丁（卷之三、目録・一丁／本文・

八二丁）、第五冊、六一丁（卷之四上、目録・一丁／本文・六〇

丁）、第六冊、五四丁（卷之四下、目録・一丁／本文・五三丁）、

第七冊、五六丁（卷之五上、目録・一丁／本文・五五丁）、第八

冊、三八丁（卷之五下、目録・一丁／本文・三七丁）、第九冊、

五九丁（卷之六、目録・一丁／本文・五八丁）、第一〇冊、五三

丁（卷之七、目録・一丁／本文・五二丁）、第一一冊、五四丁（卷

之八、目録・一丁／本文・五三丁）、第二二冊、六五丁（卷之九、

目録・一丁／本文・六四丁）、第三三冊、三七丁（卷之十、目録・

一丁／本文・三六丁）

〔刊記〕「（二格低）此鈔者 青松 梅菴 一元 湖月／（二格低）之

手抄抄之／（二格低）大永五年乙酉九月十五日於歸田／（二格

低）書院書畢矣／（八格低）於洛陽本能寺前開版」。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印）が捺されるのみ。

〔備考〕桂林徳昌・湖月信鏡・一元演・万里集九の抄を笑雲清三が編し

たもの。一部の巻にくわすかに朱墨による書き入れが施され

るのみ。川瀬、七一頁、本能寺前町版。

35 魁本大字諸儒箋解古文真寶後集 十卷

〔請求番号〕ワ4-95-152

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕薄茶色空押雷文に菊花二重亀甲繫ぎ文様表紙（川瀬一馬は原裝

というが、後補か）。二八・七×二一・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の丹色書題簽（一七・五×三・一糎）、「古文真寶 前

全（后全）」。

〔内題〕「（二格低）古文真寶叙」、「諸儒箋解古文真寶後集目録」、「魁本

大字諸儒箋解古文真寶卷之一（一十） 後集」。

〔尾題〕「諸儒箋解古文真寶後集目録畢」、「魁本大字諸儒箋解古文真寶

卷之一（一十） 後集」。

〔本文〕每半葉八行×一八字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（二三・一×一六・九糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「古文后目録（古文后一十） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、七二丁（叙・二丁／目録・三丁／卷之一・一九丁／卷

之二・一四丁／卷之三・一三丁／卷之四・二〇丁）、第二冊、七

五丁（卷之五・一八丁／卷之六・一二丁／卷之七・一〇丁／卷

之八・一〇丁／卷之九・一四丁／卷之十・一一丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「を／ば／ま」（朱印）、「小汀文庫」（朱長方印、以上二印、小汀

利得)。

一九・七糎。四針袋綴。

〔備考〕 帙題簽、川瀬一馬氏筆、「古文真寶後集 慶長中刊古活字版 (朱印Ⅱ一馬)」。帙の内側と第一冊の前表紙見返しに川瀬氏の識語、

〔題簽〕 左肩に原刷題簽(一七・三×三・六糎)、「狭衣卷第一上(一四下)」。

「昭和五十五年庚申十二月二十日/川瀬一馬題(朱印Ⅱ一馬)」

〔内題〕 「狭衣卷第一之上(一四之下)」。

(帙の内側)、「この本は小汀利得氏小汀文庫旧蔵にして、予小

〔尾題〕 「狭衣卷第一之上(一四之下)終」(卷第三之上のみ「三上終」)。

汀氏の許に/ありし時一見し増補古活字版の研究に登載し置き

〔本文〕 每半葉一二行×二二字。漢字平仮名交。

しが、小/汀文庫入札せられて、今年十二月一誠堂書店の古書

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、二二・二糎。

目録に/見え、春山宇平君之を購はる。古文真宝は古活字版も

〔版心〕 無。

/異版多けれど、これは慶長頃印行の一本と認むべく、同種/

〔丁数〕 第一冊、四三丁(卷第一之上)、第二冊、三六丁(卷第一之下)、

本は米沢図書館なる直江山城守旧蔵と覚しき一本のみ。/なほ

第三冊、四〇丁(卷第二之上)、第四冊、五〇丁(卷第二之下)、

本書は原装を存し、慶長頃の書入及朱墨の訓点/も詳しくして

第五冊、五八丁(卷第三之上)、第六冊、六三丁(卷第三之下)、

貴重なる資料たり、又下冊後表帙の裏/張に富士山石室勸進な

第七冊、七八丁(卷第四之上)、第八冊、四九丁(卷第四之下)。

る摺札の反古紙あり、他に一見せし/ことなきものなること注

〔刊記〕 無。

意すべし。今春山君の需めに応じ/喜びて之を識す。/昭和五

〔印記〕 卷首に二印、摺り消し抹消。

十五年庚申十二月二十日夜 川瀬一馬識(朱印Ⅱ一馬)。川瀬、

〔備考〕 第一冊と二冊にのみ、朱句読点の他、墨筆による書き入れが施

されてゐる。川瀬、四八九・五一五・八八八頁、(二) 元和中刊

【や】

36 狭衣物語 四卷

37 三国仏法伝通縁起 三卷 凝然著

〔請求番号〕 サ4-107-1-8

〔請求番号〕 ヤ4-3

〔体裁〕 大本八冊。

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 原装(押八双有) 縹色空押雷文襷に兩竜文様表紙。二八・一×

〔表紙〕 後補赤茶色表紙。二八・三×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「三國佛法傳通縁起 上中下」と打付書。

〔内題〕「三國佛法傳通縁起卷上（一丁）／（十格低）東大寺沙門 凝然述」。

〔尾題〕「三國佛法傳通縁起卷上（一丁）」。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕四周双辺（二二・二×一五・八糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「三國傳起上（一丁） 丁附」。

〔丁数〕六二丁（卷上・二二丁／卷中・二二丁／卷下・一九丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「勢州蛭原／明林覚明」（黒長方印）。

〔備考〕巻首丁、巻末、後表紙の見返しに識語、「勢州明林寺」、「蝦原明

林寺覚明求／文正之三辰春二月。朱引、墨筆で返点、振仮名、

送仮名、上欄等に朱墨による書き入れが若干施されている。川

瀬、三四七・七八二頁、第二種本の同種異植字版と見られる一

本、慶長中の刊行。

38 史記 存卷七十一―七十三・七十九―八十二

〔請求番号〕ワ2―48―1―2

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕原装（押八双有）茶色表紙。二九・三×二二・一糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「史記 傳三（傳五）」打付書。

〔内題〕「張儀列傳第十（五格空）史記七十」（―）「田單列傳第二十二（三

格空）史記八十二」。

〔尾題〕「張儀列傳第十（五格空）史記七十」（―）「田單列傳第二十二（三格空）史記八十二」。

〔本文〕每半葉八行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（二一・七×一六・八糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「史記傳十（一十三・十九―二十二） 丁

附」。

〔丁数〕第一冊、七二丁（列伝第十・三二丁半／列伝第十一・一六丁半

／列伝第十二・九丁／列伝第十三・一四丁）、第二冊、六八丁（列

伝第十九・三二丁半／列伝第二十・二二丁／列伝第二十一・一

七丁／列伝第二十二・六丁半）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「藤原／信時」（朱方印）、「日甫」（朱長方印）、「大隅氏／家藏

書」（朱方印）、「奥野方／冊本願／之藏書」（朱方印、奥野彦六）。

〔備考〕第二冊の巻末に識語、「寛永十二年八月十日朱墨畢 紀伊南山醫

生就安点写之」。その他、第一冊の前後の見返しと第二冊の前後

の見返しに識語、「五拾冊之内／兵動蔵書」、「明治二年求之／兵

動誌之」、「水氷／五拾冊之内／兵動蔵書」、「深き淵瀬き

／水のいましめを／心にかけてぬ人そ／あやうし」、「此書物買人

にこそ／をそくぬる／心内にいそがず／よめ」。書き入れの様子

が第一冊（墨筆で返点、振仮名、送仮名、若干の朱書き入れが

施されている）と、第二冊（朱引、朱句読点、朱墨による返点、

振仮名、送仮名、上欄等に朱墨による書き入れが施されている。筆跡は寛永十二年の識語と同筆）で異なることから取り合わせの可能性あり。川瀬、三五九・三八〇・四〇〇・四二一・四二六・四二九・八二四頁、第二種本、慶長元和中刊。

39 史記 存卷四十一・四十二 司馬遷撰

〔請求番号〕ワ2―46

〔体裁〕特大本一冊。

〔表紙〕新補改装薄茶色表紙。三〇・三×二一・六糎。五針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「越王勾踐世家第十一（二格空） 史記四十一」、「鄭世家第十二（五格空） 史記四十二」。

〔尾題〕「越王勾踐世家第十一（二格空） 史記四十一」、「鄭世家第十二（五格空） 史記四十二」。

〔本文〕每半葉八行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（二三・二×一七・一糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「史記家十一（十二） 丁附」。

〔丁数〕四四丁（世家第十一・二二丁／世家第十二・二三丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「黒川氏／圖書記」（朱長方印、黒川春村）。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名の他、上欄に朱

墨による書き入れが施されている。第一種本。刊行年時は、慶

長八年十一月以前。（小秋元段「嵯峨本『史記』の書誌的考察」、「増補太平記と古活字版の時代」、新典社、二〇一八年、初版、二〇〇六年）。

40 史記 存卷六十一―六十六 司馬遷撰

〔請求番号〕ワ2―29

〔体裁〕特大本一冊。

〔表紙〕新補改装薄茶色表紙。三〇・三×二一・六糎。五針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「老子伯夷列傳第一（二格空） 史記六十一」（―「伍子胥列傳第六（三格空） 史記六十六」）。

〔尾題〕「老子伯夷列傳第一（三格空） 史記六十一」（―「伍子胥列傳第六（四格空） 史記六十六」）。

〔本文〕每半葉八行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（二三・〇×一六・九糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「史記傳一（一六） 丁附」。

〔丁数〕六五丁（列伝第一・一六丁／列伝第二・七丁／列伝第三・一一丁半／列伝第四・四丁半／列伝第五・一一丁／列伝第六・一五丁。四丁目は匡郭・界線・版心を有するが、本文は植字なく白

丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「黒川氏／圖書記」（朱長方印、黒川春村）。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名の他、上欄に朱

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名の他、上欄に朱墨による書き入れが施されている。第一種本。ワ2―46本と僚卷。当初、文学堂書店より分売された。稿者も卷九・十（呂后本紀第九・孝文本紀第十）の一冊を蔵する。

41 貞觀政要 存卷二・二・五―十（唐）呉兢撰・（元）戈直集論

〔請求番号〕ワ2―5―1―8

〔体裁〕大本八冊。

〔表紙〕新補青色表紙。二六・四×一八・九糎。五針袋綴。

〔題簽〕左肩に香色の書題簽（二九・五×三・九糎）、「貞觀政要 珠 二

（―十了）」（第一冊は破損、「政要」部分のみ残存）。

〔内題〕「御製貞觀政要序」、「貞觀政要集論題辭」、「貞觀政要序／（一格

低）唐衛尉少卿兼脩國史修文館學士呉兢／（二格低）撰」、「集

論諸儒姓氏」、「貞觀政要（六格空）戈直集論」、「貞觀政要卷第

一」、「貞觀政要卷第二（―十）（四格空）戈直集論」。

〔尾題〕「貞觀政要卷第一（―十終）」。「貞觀政要卷第五」のみ活字を捺

印。

〔本文〕每半葉七行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（序、二一・八×一五・七糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「貞觀序（目録・姓氏・一―十） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、六四丁（序、成化元年八月初一日・二丁／集論題辭・

五丁／序・二丁／目録・四丁／姓氏・二丁／貞觀政要・一丁／

卷第一・四九丁）、第二冊、一〇〇丁（卷第二）、第三冊、六四丁（卷第五）、第四冊、五六丁（卷之六）、第五冊、四三丁（卷第七）、第六冊、四二丁（卷第八）、第七冊、四二丁（卷第九）、第八冊、四〇丁（卷第十）。

〔刊記〕欠。

〔印記〕「淳風坊」（朱長方印、陰刻）、「星野氏／蔵書章」（朱長方印）。

他、卷首右上方に判読不明の黒方印。

〔備考〕第一冊の前表紙見返しに紙票「東京帝國大學／附属圖書館／星

野幹氏寄贈／故文學博士星野恒氏／記念圖書」貼付。朱引、朱

句読点、朱墨で返点、振仮名、送仮名が施されている。全丁裏

打修補。川瀬、二一三・二七三・三八二・六九四頁、慶長五年

刊、伏見版。

42 沙石集 存卷三 無住編

〔請求番号〕タ4―112

〔体裁〕大本一冊（存卷第三）。

〔表紙〕後補茶色表紙。二八・〇×二〇・九糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。無題。

〔内題〕「沙石集第三始（終）」。

〔尾題〕「沙石集第三始（終）」。

〔本文〕每半葉一〇行×二三字内外。漢字片仮名交。半角の片仮名活字

も交える。

〔匡郭〕四周双辺（二二・〇×一五・六糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「沙石集三上（下） 丁附」。

〔丁数〕四八丁（三上、目録・一丁、本文・二三丁／三下、目録・一丁、

本文・二三丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印）が押されるのみ。

〔備考〕要法寺版、慶長十年刊本の零本。ごくわずかに朱墨による書入が見受けられるが、無書人に等しい。前表紙見返しと巻尾丁に識語、「根古屋／星野惣兵衛用」、「□□郡根古屋／星野惣兵衛持主」。

43 沙石集 十卷 無住編

〔請求番号〕96-322-15（鶉飼）

〔体裁〕大本五冊（二卷合冊）。

〔表紙〕後補薄茶色布目地表紙。二八・四×二〇・五糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（一九・二×三・八糎）、「沙石集 一上下

／二上下（一九上下／十上下）」。

〔内題〕「沙石集第一 并序（第十下始）」。

〔尾題〕「沙石集第一上（第十下）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二三字。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周单辺（二三・三×一七・四糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾（双花口魚尾の場合あり）、中縫、「沙石一（一十

丁附」。

〔丁数〕第一冊、七九丁（序・一丁半／目録・半丁／一上・一四丁／目

録・一丁／一上・一九丁／目録・一丁／二上・二三丁／目録・

一丁／二下・一八丁）、第二冊、七九丁（目録欠／三上・一九丁

／目録・一丁／三下・一九丁／目録欠／四上・一八丁／目録・

一丁／四下・二二丁）、第三冊、九八丁（目録・一丁／五上・二

四丁／目録・一丁／五下・二〇丁／人感有歌・七丁／目録・一

丁／六上・一九丁／目録・一丁／六下・二四丁）、第四冊、八〇

丁（目録・一丁／七上・二二丁／目録・一丁／七下・二二丁／

目録・一丁／八上・一八丁／目録・一丁／八下・一六丁）、第五

冊、六五丁（目録・一丁／九上・二〇丁／目録・一丁／九下・

二〇丁／目録欠／十上・一一丁／目録欠／十下・一三丁）。

〔刊記〕（一格低）此集行于世尚矣本有廣略條有前後不知孰是也／（一

格低）頃幸得無住師之直筆正本今也不堪蘊藏於焉遂／（二格低）

鏤于梓十目所視豈其掙乎勿敢疑也（以上、慶長十年刊本の刊語）

／（二格低）元和四年正月吉日」。

〔印記〕「本法寺金」（黒楯円印）。他、判読不明の黒方印一印。

〔備考〕一部の巻にごくわずかに朱引、朱傍点等が施されているもの、

無書人に等しい。

44 脩華嚴奥旨妄盡還源觀 法藏述

〔請求番号〕ワ3-26

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 茶色空押雷文襷に兩竜文様表紙（原装か）。四針袋綴。

〔題簽〕 無。左肩に「還源觀 全」と打付書。右下に「心王院」と墨書。

〔内題〕 「脩華嚴奧旨妄盡還源觀并序／（四格低）京大薦福寺翻經沙門法

藏述」。

〔尾題〕 無。

〔本文〕 每半葉一〇行×一七字。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、二一・〇糎。

〔版心〕 丁附を刻するのみ。

〔丁数〕 一九丁。

〔刊記〕 「（一格低）于時寛永八年七月八日／（三格低）於槇尾平等心王

院（二格空）摺寫之畢」。

〔印記〕 「平等心王院」（朱長方印）、「月明莊」（朱長方印、小）。

〔備考〕 墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。川瀬、二九九頁、

「高雄・槇尾に於ける開版事業」に安田文庫本を著録するのみ。
本書は、『弘文莊古活字版目録』三七九に掲載の本。

45 周易 六卷 王弼注

〔請求番号〕 99-72-13（貴重書）

〔体裁〕 大本三冊。

〔表紙〕 原装（押八双有）栗皮表紙。二八・三×二〇・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕 無。左肩に「周易一之二（三之四・四之五）」と打付書。

〔内題〕 「周易上経乾伝（一噓嗑伝）第一（一三）」、「周易下経咸伝（一

豊伝）第四（一六）」。

〔尾題〕 「周易卷第一（一六）終」。

〔本文〕 每半葉八行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕 四周双辺（二一・四×一五・五糎）、有界。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「周易卷一（一六・跋） 丁附」。

〔丁数〕 第一冊、五四丁（上経乾伝第一・三三丁／上経泰伝第二・二二

丁）、第二冊、五二丁（上経噬嗑伝第三・二四丁／下経咸伝第四・

二八丁）、第三冊、五四丁（下経夬伝第五・三〇丁／下経豊伝第

六・二三丁／跋・一丁）。巻ごとに遊紙を二丁挟む。

〔刊記〕 「（一格低）慶長十年星集乙巳孟夏初五日／（十格低）鹿苑西笑

叟承兌」。

〔印記〕 「大鹽平／作藏書」（墨方印）、「大垣文庫」（朱長方印）、「月明

莊」（反町茂雄、朱長方印、大）。

〔備考〕 伏見版。墨筆で返点、振仮名、送仮名、豎点が施されている。

第三冊の後表紙見返しに識語、「岐阜□美濃国安八郡／大垣高橋
町五丁目／□燭□□／奥田□□郎持主」。

46 せみまる

〔請求番号〕 タ7-16

〔体裁〕 半紙本。綴葉装の一番綴。綴糸、白。

〔表紙〕 原装水色雲母刷文様（藤巴文・甲）表紙。二三・八×一八・〇。

〔題簽〕左肩に薄茶色原刷題簽（一一・〇×三・一糎）、「せみまる」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉七行×一三字。漢字平仮名交。鈎印（ \hookrightarrow ）や区切り印は墨書。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一八・六糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一折、五枚（九丁、一丁前表紙に入る）、二折、四枚（六丁、一丁後表紙に入る）。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕料紙には具引きが施されている。朱書入有。嵯峨本、觀世流謄本の上製本（帖装本で表紙のみに雲母模様があり、料紙に有色紙を混用していない本。川瀬分類でいう第三種・第四種に該当するが、第三種・第四種は同種の本）。

47 撰集抄 九卷

〔請求番号〕タ4—21—1—3

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕後補灰色表紙。二七・七×一八・四糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「（一格低）撰集抄卷第一（一九）（十一格空）西行記」。

〔尾題〕「（一格低）撰集抄卷第三終（十格空）西行記」、「西行記中終」。

「（一格低）撰集抄卷第九終（十格空）西行記」。

〔本文〕每半葉一二行×二二字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・〇糎。

〔版心〕「上（中・下）」と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕第二冊、三六丁（巻一〜三）、第二冊、三九丁（巻四〜六、二七丁欠）、第三冊、三〇丁（巻七〜九、一六丁欠）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「園林文庫」（朱長方印）、「畠山／爽」（朱方印、陰刻）、「古桑／文庫」（朱方印、奈良・百々家）、「小汀文庫」（朱長方印、小汀利得）。

〔備考〕朱墨による書き入れあり。『大和物語』十一行本と同種の活字を用いている（例、『撰集抄』巻七、一丁表・一行目「亭子といふ人侍りき」、『大和物語』の巻首丁「亭子院」）。川瀬、五一九・八九〇頁、第三種本（イ）版。「寛永中の印行に係る無刊記本第三種には少くとも三版以上の重版が行はれてゐる。本書に用ひられてゐる活字は寛永十六年の刊記ある諸本の其れと同種のものである」。川瀬八九〇頁に著録されている小汀文庫へ園林文庫旧蔵／百々氏旧蔵蔵が本書。

48 莊子抄 存卷二・四・五

〔請求番号〕89—584—1—3（高乗）

〔体裁〕 特大本三冊（存卷第二・四・五）。

〔表紙〕 改装薄茶色表紙（押八双有を有する薄茶色表紙、裏打修補）。三

〇・九×二二・〇糎。五針袋綴。

〔題簽〕 無。無題。

〔内題〕 「莊子卷第二（四・五）」。

〔尾題〕 「莊子卷第二（四）」。卷第五、尾題なし。

〔本文〕 每半葉一三行×二四字内外。漢字片仮名交、ソ式仮名抄。稍小型の活字を用いる。

〔匡郭〕 四周单边（卷第二、二二・二×一七・〇糎）、無界。

〔版心〕 黒口双黒魚尾、中縫、「莊抄卷二（四・五） 丁附」。

〔丁数〕 第一冊、四三丁（卷第二）、第二冊、三四丁（卷第四）、第三冊、

三三丁（卷第五）。他、各冊とも前遊紙二丁。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 「醍醐／文庫」（朱方印）。

〔備考〕 無書入。全丁裏打修補。卷第四・五は、版心付近の破損多し。

49 曾我物語 十二卷

〔請求番号〕 99-47-1112（貴重書）

〔体裁〕 大本二冊。

〔表紙〕 縹色空押雷文繫ぎに小菊文様表紙（後補か）。二七・〇×一九・

八糎。五針袋綴。

〔題簽〕 第六冊（卷第六）に刷題簽一部残存、「破損」曾我物（破損）

六（「六」は墨書）。中央部の剥落した題簽の痕に「曾我物語一（二・四・九）」と墨書。

〔内題〕 「曾我物語卷第一（一十二）目録」、「曾我物語卷第一（一十二）」。

〔尾題〕 「曾我物語卷第一（二・三・六・八）」、「曾我物語卷第四（五・

七・九―十二）終」。

〔本文〕 每半葉二行×二二字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、二二・〇糎。

〔版心〕 無。ノドに卷、丁附を刻す。

〔丁数〕 第一冊、七八丁（卷第一、目録・一丁／本文・七七丁／挿絵、

二七図）、第二冊、五二丁（卷第二、目録・一丁／本文・五〇丁

／挿絵、一九図）、第三冊、五〇丁半（卷第三、目録・半丁（一

丁表欠）／本文・五〇丁／挿絵、一六図）、第四冊、五五丁（卷

第四、目録・一丁／本文・五四丁／挿絵、一七図）、第五冊、六

六丁（卷第五、目録・一丁／本文・六五丁／挿絵、一九図）、第

六冊、四九丁（卷第六、目録・一丁／本文・四八丁／挿絵、一

八図）、第七冊、四五丁（卷第七、目録欠／本文・四五丁、一

三丁・五丁欠／挿絵、一五図）、第八冊、五二丁（卷第八、目録・

一丁／本文・五二丁、八丁欠／挿絵、一五図）、第九冊、五二丁

（卷第九、目録・一丁／本文・五二丁／挿絵、二三図）、第一〇

冊、三五丁（卷第十、目録・一丁／本文・三四丁／挿絵、一一

図）、第一一冊、三二丁（卷第十一、目録・一丁／本文・三〇丁

／挿絵、一一図）、第一二冊、三三丁（卷第十二、目録・一丁／

本文・三一丁／挿絵、一一図。

〔刊記〕無。

〔印記〕「青谿／書屋」（大島雅太郎、朱方印）、「月明莊」（反町茂雄、朱小印） 帙に「弘文莊」（朱小印）。

〔備考〕墨筆で濁点を附す。一部裏打修補。帙に原稿用紙二枚（旧蔵者横山重の万年筆書識語）を貼付、「曾我物語 古活字版 組合せ式挿繪 200図／元和寛永中刊／天下二（一、朱訂正）本。本書の他に竜谷大学に一本（本書の／一本、朱線で抹消）／挿絵は、一頁の図版に六個又は（十）三個の／刷り板を組合せてある。刊行者は、絵板／を自由に組合せて、幾度も使用するつもりであつたろう。／かういふ例は、文祿の「高野大師行状繪図」にあるが、古活字版には例がない。世界にも例がない／といふ。／12、500、千二百五十万円／（以下略、各巻の挿絵の数を記す）。

川瀬、（四）其の四は、元和寛永中の刊行と認められる挿画刻本である。

50 曾我物語 十二巻

〔請求番号〕99-20-1-12（貴重書）

〔体裁〕大本一二冊。

〔表紙〕後補縹色空押雷文襷に雨竜文様表紙。二八・二×二〇・六糎。

四針袋綴。

〔題簽〕第五冊・十冊のみ原刷題簽が一部残存。他剥落、第一・一一・一二冊はそれぞれ左肩に「曾我物語 壹」、「拾壹」、「拾貳」と

打付書。

〔内題〕「曾我物語卷第一（一十二）目録」、「曾我物語卷第一（一十二）」。

〔尾題〕「曾我物語卷第一（一十二）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二八字。漢字平仮名交、章段名二格低。小型活字使用。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二三・五糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、四六丁（巻第一、目録・一丁／本文・四五丁）、第二冊、

二九丁（巻第二、目録・一丁／本文・二八丁）、第三冊、二六丁

（巻第三、目録・一丁／本文・二五丁）、第四冊、三三丁（巻第

四、目録・一丁／本文・三二丁）、第五冊、四〇丁（巻第五、目

録・一丁／本文・三九丁）、第六冊、二九丁（巻第六、目録・一

丁／本文・二八丁）、第七冊、二九丁（巻第七、目録・一丁／本

文・二八丁）、第八冊、三二丁（巻第八、目録・一丁／本文・三

〇丁）、第九冊、二八丁（巻第九、目録・一丁／本文・二七丁）、

第一〇冊、二二丁（巻第十、目録・一丁／本文・二〇丁）、第一

一冊、一八丁（巻第十一、目録・一丁／本文・一七丁）、第二二

冊、一八丁（巻第十二、目録・一丁／本文・一七丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「房州／三／佐の村」（墨丸印、第一一五・八・一〇―一二冊の

目録、「月明／莊」（朱方印、第一一五・八・一〇―一二冊の巻末）、「刈谷圖書」（朱長方印、第六冊）。

〔備考〕『弘文莊古活字版目録』三八六頁掲載の本。本書は、「房州／三／佐の村」（墨丸印）と「月明／莊」（朱方印）の捺された第一一五・八・一〇―一二冊、「刈谷圖書」（朱長方印）の捺された第六冊、無印の第七・九冊、伝来の異なる三つの本を補配したもの（村上学は、巻七・九も旧刈谷藩所蔵図書とするが、いかが）。目録では本書の表紙を原装とするが、伝来の異なる本の表紙が同一であるというの不審である。表紙は、反町弘文莊によつて付け替えられた可能性がある。第六・七・一〇・一一冊の表紙裏には、古活字版の『史記』（九行無界、第三種本）の刷り反古が用いられている。川瀬、五四六・九〇〇頁、（五）寛永中刊十二行本。巻一の図版を見る限り、（イ）（ロ）のいずれとも異なる。村上学『曾我物語の基礎的研究―本文研究を中心として―』（風間書房、一九八四年）、二二二頁、第一版（巻一・五、八、十・十二）・第三版（巻六、七、九）取り合わせ本。

【た】

51 太平記 四十巻

〔請求番号〕99―18―1141（貴重書）

〔体裁〕大本四二冊（巻第六、写本補配）。

〔表紙〕原装（押八双有）栗皮表紙。二九・〇×二〇・五糎。四針袋綴。

〔題簽〕中央やや上に双辺粹刷題簽（一七・七×三・四糎）、「太平記 目録（一―四十一）」。

〔内題〕「太平記巻第一（一―四十）目録」、「太平記巻第一（一―四十）」。

〔尾題〕「太平記巻第一（一―三十九）」。巻第九・二十七・四十、尾題なし。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。漢字平仮名交。平仮名附訓活字を用いる。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二三・九糎。

〔版心〕無。ノドに巻数と丁附を刻す。

〔丁数〕第一冊、一八丁（目録）、第二冊、三二丁（巻第一、目録・一丁／序・一丁／本文・二九丁）、第三冊、五〇丁（巻第二、目録・一丁／本文・四九丁）、第四冊、三六丁（巻第三、目録・一丁／本文・三五丁）、第五冊、四七丁（巻第四、目録・一丁／本文・四六丁）、第六冊、三〇丁（巻第五、目録・一丁／本文・二九丁）、第七冊、写本補配、第八冊、三九丁（巻第七、目録・一丁／本文・三八丁）、第九冊、四九丁（巻第八、目録・一丁／本文・四八丁）、第一〇冊、五〇丁（巻第九、目録・一丁／本文・四九丁）、第一一冊、五九丁（巻第十、目録・一丁／本文・五八丁）、第一二冊、三八丁（巻第十一、目録・一丁／本文・三七丁）、第一三冊、五九丁（巻第十二、目録・一丁／本文・五八丁）、第一四冊、四七丁（巻第十三、目録・一丁／本文・四六丁）、第一五冊、六七丁（巻第十四、目録・一丁／本文・六六丁）、第一六冊、五〇

丁（卷第十五、目錄・一丁／本文・四九丁）、第一七冊、六六丁（卷第十六、目錄・一丁／本文・六五丁）、第一八冊、七七丁（卷第十七、目錄・一丁／本文・七六丁）、第一九冊、六五丁（卷第十八、目錄・一丁／本文・六四丁、三七丁欠）、第二〇冊、三七丁（卷第十九、目錄・一丁／本文・三六丁）、第二一冊、四五丁（卷第二十、目錄・一丁／本文・四四丁、三五・三七丁欠）、第二二冊、四三丁（卷第二十一、目錄・一丁／本文・四二丁）、第二三冊、三四丁（卷第二十二、目錄・一丁／本文・三三丁）、第二四冊、二八丁（卷第二十三、目錄・一丁／本文・二七丁）、第二五冊、五三丁（卷第二十四、目錄・一丁／本文・五二丁）、第二六冊、三四丁（卷第二十五、目錄・一丁／本文・三三丁）、第二七冊、五七丁（卷第二十六、目錄・一丁／本文・五六丁）、第二八冊、四一丁（卷第二十七、目錄・一丁／本文・四〇丁）、第二九冊、四〇丁（卷第二十八、目錄・一丁／本文・三九丁）、第三〇冊、四八丁（卷第二十九、目錄・一丁／本文・四七丁）、第三一冊、三七丁（卷第三十、目錄・一丁／本文・三六丁）、第三二冊、四一丁（卷第三十一、目錄・一丁／本文・四〇丁）、第三三冊、五二丁（卷第三十二、目錄・一丁／本文・五一丁）、第三四冊、五〇丁（卷第三十三、目錄・一丁／本文・四九丁）、第三五冊、四二丁（卷第三十四、目錄・一丁／本文・四一丁）、第三六冊、五〇丁（卷第三十五、目錄・一丁／本文・四九丁）、第三七冊、三八丁（卷第三十六、目錄・一丁／本文・三七丁）、第三

八冊、三九丁（卷第三十七、目錄・一丁／本文・三八丁）、第三九冊、四六丁（卷第三十八、目錄・一丁／本文・四五丁）、第四〇冊、五四丁（卷第三十九、目錄・一丁／本文・五三丁）、第四一冊、一八丁（卷第四十、目錄・一丁／本文・一七丁）。

〔刊記〕卷第四十卷末、本文の後（尾題は欠く）一行空けて、「（三格低）于時寛永元年南呂下旬（三格空）開板之」。

〔印記〕「春翠／文庫」（中島仁之助、朱方印）。

〔備考〕無書入。

52 太平記 四十卷

〔請求番号〕99-34-1-21（貴重書）

〔体裁〕大本二冊（目錄・劔卷共）。

〔表紙〕後補焦茶色表紙。二八・一×一九・九糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「（二格低）劔卷」、「太平記卷第一（一四十）目錄」、「太平記卷第一（一四十）」。

〔尾題〕「劔卷終」、「太平記卷第一（一四十）終」。

〔本文〕每半葉二行×二四字内外。每半葉二行×二三字内外（卷第一・二・五・六）。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周双边（二二・〇×一六・六糎）、無界。四周单边（二三・一×一七・〇糎）、無界（卷第一・二・五・六）。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「太平記一（一四十）劔卷・目錄」丁

附」。

〔丁数〕第一冊、三九丁（劔卷・二三丁／目録・一六丁）、第二冊、四八丁（卷第一、目録・一丁／序・半丁／本文・一六丁半、卷第二、目録・一丁／本文・二九丁）、第三冊、四六丁（卷第三、目録・一丁／本文・二〇丁、卷第四、目録・一丁／本文・二四丁）、第四冊、四〇丁（卷第五、目録・一丁／本文・一七丁、卷第六、目録・一丁／本文・二二丁（八・九丁誤綴））、第五冊、五二丁（卷第七、目録・一丁／本文・二三丁、卷第八、目録・一丁／本文・二七丁）、第六冊、六三丁（卷第九、目録・一丁／本文・二九丁（二八・二九丁誤綴））、卷第十、目録・一丁／本文・三二丁）、第七冊、五三丁（卷第十一、目録・一丁／本文・二〇丁、卷第十二、目録・一丁／本文・三〇丁）、第八冊、六五丁（卷第十三、目録・一丁／本文・二五丁、卷第十四、目録・一丁／本文・三八丁）、第九冊、七〇丁（卷第十五、目録・一丁／本文・二九丁、卷第十六、目録・一丁／本文・三九丁）、第一〇冊、八四丁（卷第十七、目録・一丁／本文・四五丁（二五―一七丁誤綴）、卷第十八、目録・一丁／本文・三七丁）、第一一冊、五一丁（卷第十九、目録・一丁／本文・二三丁、卷第二十、目録・一丁／本文・二七丁）、第二二冊、四六丁（卷第二十一、目録・一丁／本文・二五丁（二四・二五丁誤綴））、卷第二十二、目録・一丁／本文・一九丁）、第二三冊、四六丁（卷第二十三、目録・一丁／本文・二五丁、卷第二十四、目録・一丁／本文・二九丁）、

第一四冊、五五丁（卷第二十五、目録・一丁／本文・二〇丁、

卷第二十六、目録・一丁／本文・三三丁）、第一五冊、五〇丁（卷第二十七、目録・一丁／本文・二五丁、卷第二十八、目録・一丁／本文・二三丁）、第一六冊、五三丁（卷第二十九、目録・一丁／本文・二九丁、卷第三十、目録・一丁／本文・二三丁（七一六丁誤綴））、第一七冊、五八丁（卷第三十一、目録・一丁／本文・二五丁、卷第三十二、目録・一丁／本文・三二丁、二四丁の丁附「廿三」と誤刻、以下の丁附、二丁ズレ）、第一八冊、五七丁（卷第三十三、目録・一丁／本文・三〇丁、卷第三十四、目録・一丁／本文・二五丁）、第一九冊、五五丁（卷第三十五、目録・一丁／本文・三〇丁、卷第三十六、目録・一丁／本文・二三丁）、第二〇冊、五二丁（卷第三十七、目録・一丁／本文・二三丁、卷第三十八、目録・一丁／本文・二七丁）、第二一冊、四五丁（卷第三十九、目録・一丁／本文・三二丁、卷第四十、目録・一丁／本文・一一丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印）が押されるのみ。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名等が施されている。第一六・一七・一九・二〇・二一冊の後表紙見返しに識語、「相原氏」、「本主／相徳充求」、「本主相原氏齋」、「本主／相徳充求」、「本主／相原徳充／求」。卷第一・二・五・六補配慶長十五年刊本、他、無刊記双辺丙種本。慶長十五年刊本は、「慶

長十年刊本を底本に、随所に天正本系（教運本のごとき本）の異文を増補した特異な本文を持つ本。刊記より春枝なる人物が刊行に携わったことが知られるが、本文整理には要法寺日性の深い関与が想定され、実際には日性が春枝をして刊行せしめた本と思われる。無刊記双辺丙種本は、「無刊記双辺甲種本（慶長十年刊本を底本に、慶長八年刊本を以て若干の校訂を施した本文を持つ本）」と共通の本文を持つが、数箇所により慶長十五年刊本と元和二年刊本の有する異文を増補する（『小秋元段』増補太平記と古活字の時代』、新典社、二〇一八年、初版、二〇〇六年）。

53 太平記鈔 四十卷 日性（円智）編

〔請求番号〕99-75-1-8（貴重書）

〔体裁〕大本八冊。

〔表紙〕原裝（押八双有）栗皮表紙。二七・八×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に白墨で大きく「太平記鈔へ自一／至二〇（一）へ自三十一／至四十終」と打付書。

〔内題〕「太平記鈔第一（一四十）卷」。

〔尾題〕「三十二（三十四・三十五・三十九）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二四字内外。漢字片仮名交。小型活字を用いる。

〔匡郭〕四周单边（二三・〇×一六・七糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「太平抄一（一四十） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、五五丁（第一卷・三五丁／第二卷・二〇丁）、第二冊、

五四丁（第三卷・四丁／第四卷・一四丁／第五卷・一〇丁／第

六卷・六丁／第七卷・四丁／第八卷・六丁／第九卷・一〇丁）、

第三冊、六〇丁（第十卷・八丁／第十一卷・一三丁／第十二卷・

二七丁／第十三卷・一二丁、十二丁欠丁）、第四冊、五〇丁（第

十四卷・八丁／第十五卷・七丁／第十六卷・一二丁／第十七卷・

一一丁／第十八卷・一二丁）、第五冊、四三丁（第十九卷・五丁

／第二十卷・八丁／第二十一卷・一六丁／第二十二卷・八丁／

第二十三卷・六丁）、第六冊、五一丁（第二十四卷）、第七冊、

九八丁（第二十五卷・八丁／第二十六卷・一七丁／第二十七卷・

六丁／第二十八卷・一四丁／第二十九卷・四丁／第三十卷・六

丁）、第八冊、六一丁（第三十一卷・二丁／第三十二卷・七丁／

第三十三卷・四丁／第三十四卷・五丁／第三十五卷・八丁／第

三十六卷・二丁／第三十七卷・一一丁／第三十八卷・六丁／第

三十九卷・一四丁／第四十卷・二丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「河本／氏／蔵書」（河本立軒、朱方印）、「寶玲文庫」（フラン

ク・ホーレー、墨長方印）、「月明荘」（反町茂雄、朱長方印・小）。

〔備考〕『太平記音義』とセット。第一冊に若干の墨筆による書入があ

るものの、無書入に等しい。誤植部分を胡粉で塗抹、墨訂正す

る点は伝本共通。第三冊の前表紙裏に『庭訓往来』（三十八、整

版）第六冊の後表紙裏に『千字文』（廿三）、第七冊・八冊の後

表紙裏に『扇の草子』の刷り反古が用いられている。小秋元段
〔増補太平記と古活字版の時代〕、古活字第一種本（ロ）。『弘
文荘古活字版目録』一三二頁に掲載の本。

54 太平記音義 四十卷 日性（円智）編

〔請求番号〕99—48—1—2（貴重書）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕原裝（押入双有）栗皮表紙。二七・七×二〇・一糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に白墨で大きく「太平記音義上（下）」と打付書。

〔内題〕「太平記音義第一卷并序（一第四十卷）」。

〔尾題〕「太平記音義畢」。

〔本文〕每半葉一二行×二三字。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周单边（二三・一×一六・九糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「太平音義上（下） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、四三丁（第一卷〜二十卷）、第二冊、四二丁（第二十一

卷〜四十卷）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「河本ノ氏ノ蔵書」（河本立軒、朱方印）、「寶玲文庫」（フラン

ク・ホーレー、墨長方印）、「小汀氏蔵書」（朱長方印）、「をばま

（朱印、以上二印、小汀利得）、「月明荘」（反町茂雄、朱長方印・

小）。

〔備考〕『太平記鈔』とセット。無書入。川瀬、九〇〇頁に著録する小

汀文庫蔵本が本書。図録篇九四八図に図版を収む。小秋元段『増
補太平記と古活字版の時代』（新典社）、三〇六頁参照。

55 ※竹取物語 二卷

〔請求番号〕サ4—110—1—2

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補黒色空押雷文禪に雨竜文様表紙。二七・〇×一七・七糎。

四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（破損有）、「たけとり物語」。

〔内題〕「（二格低）たけとり物語上（下）」。

〔尾題〕「（二格低）たけとり物語上（下）終」。

〔本文〕每半葉一行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・一糎。

〔版心〕「上（下）」、丁附のみを刻す。

〔丁数〕第一冊、二二丁（上）、第二冊、一九丁（下）。

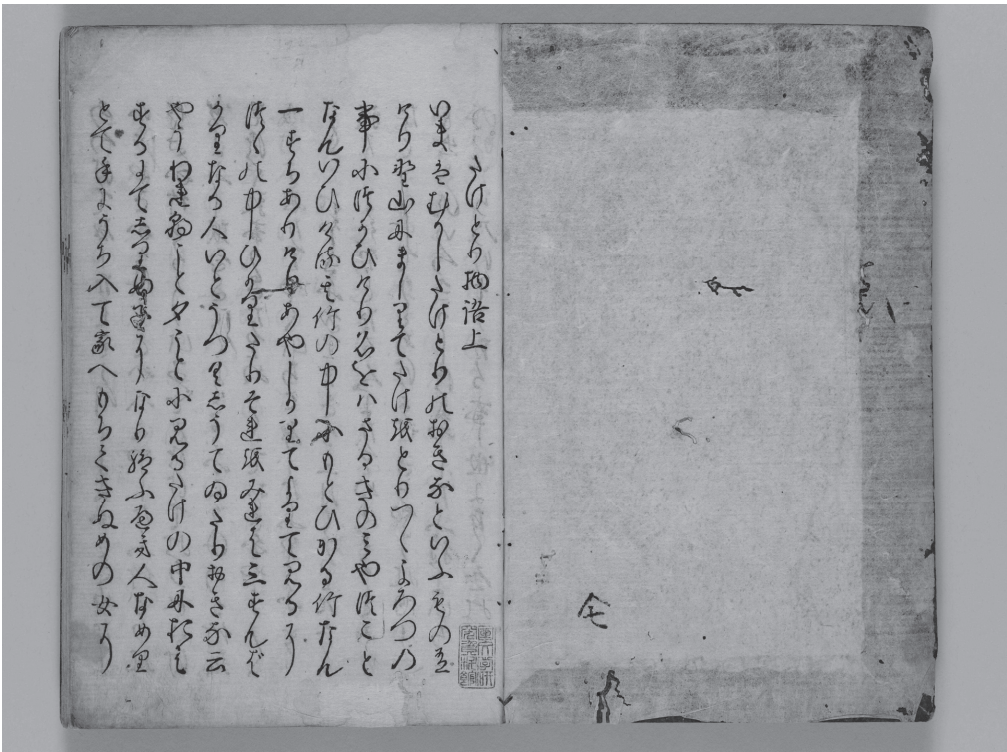
〔刊記〕無。

〔印記〕「平出氏ノ書室記」（朱長方印、平出鏗二郎）。

〔備考〕無書入。川瀬、五〇七・八八五頁、第四種本、元和寛永中刊、

十行本と同種活字。（イ）種と（ロ）種の二種を著録するが、い

ずれでもなく、異植字版。



56 長恨歌（抄）

〔請求番号〕ワ9-42

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補栗皮表紙。二七・七×一七・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に双辺枠刷題簽（破損、外題判読不可）を有するが、別の
本の題簽附表紙に改装したもの。

〔内題〕「長恨歌（十六格空）白楽天」。

〔尾題〕「長恨歌抄（二格空）終」。

〔本文〕每半葉一行×二二字。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周双辺（二一・六×一四・八糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「長恨歌 丁附」。

〔丁数〕三五丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「□禪／房印」（朱方印）。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆による返点、送仮名を一部に施す。川瀬、
三六六・八〇八頁、（四）寛永中刊双辺十一行本。

57 ちんてき問答

〔請求番号〕ヤ5-441

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補黒色表紙。二八・八×一九・一糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「(二格低)ちんてき問答」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二三字。漢字平仮名交。濁点附活字を混ぜり。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一三三・五糎。

〔版心〕「ちんてき」と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕三四丁。卷末丁最終行「しやくそん大師のをしへに相奉りたる

時とやせん」。以下の丁欠。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕無書入。川瀬、六〇五頁、(五)第五種本(寛永中刊)。「本書は

他の諸刊本に比して版式著しく異なる。古活字印本中最も後出なるべし」。伝本、高木文庫蔵本(現所在不明)を著録するのみ。

58 徒然草 二卷 兼好著

〔請求番号〕99-33-1-2 (貴重書)

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補茶色空押麻の葉文様表紙。二八・二×二一・〇糎。四針袋

綴。

〔題簽〕無。左肩に「つれく草上(下)」と打付書。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×一八字内外。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二三・一糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、九二丁(上)、第二冊、七三丁(下)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「鈴木」(朱長方印)、「春/和堂」(若林正治、朱方印)。他、判

読不明の朱丸印一印。

〔備考〕朱墨書入。上巻の外題に「鉄鎚」、下巻の前表紙見返しに朱筆で

「鉄鎚徒然草」と記されているが、本書に書き入れられた注釈は、必ずしも「鉄鎚」に拠るものではない。下巻後表紙見返し

には識語(世間流布之本錯訛数多有之今正文字/倭点重令於新刊者也/于時明治三年庚午仲冬正錯字加注者也)が記されるが、

本書とは関係ないもの。川瀬、五二三・八九二頁、(四)慶長中

刊十行本(イ)種。

59 徒然草 二卷 兼好著

〔請求番号〕99-93-1-2 (貴重書)

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補薄墨色表紙。二六・六×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕剥落。上巻の左肩に「慶長本ツレタクサ上」と打付書。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×一八字。漢字平仮名交。横に広がった独特な筆

様の活字を用いる。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一九・六糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、八三丁（上巻、巻首・巻尾丁ともに欠）、第二冊、七一

丁（下巻、巻首・巻尾丁ともに欠）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「越前落井／正立寺藏」（墨長方印）、「聴水壬／戌以後／所集旧

／槩古鈔」（朱方印）、「三井家鑒藏」（朱長方印）、「三井家」（朱

長方印）、「双籠／鑒藏」（朱長方印）、他、三井家の印捺さる。

〔備考〕色替り雲母文様刷料紙。朱墨書入有。表紙前見返しに識語、「徒

然草上巻 百三十六段／十一段神無月の比 百卅五段資季大納

言／此巻首□り六枚末一枚を失せたり」（上巻）、「徒然草下巻百

八段／二段まつりすぎぬれば百七段とこしなへに／此巻始め終

り共に一枚つゝをかく」（下巻）。桐箱（三井家誂え）入。その

中に「五色雲母摺 桃山時代活字本／徒然草 二 狩野亨吉藏

本／大正十二年七月五日消蛩了」と記せる黄色紙片入。川瀬、

五二三頁、（一）雲母摺本（慶長中刊十行本）。

60 徒然草 二巻 兼好著

〔請求番号〕89—27（高乗）

〔体裁〕大本一冊（存下巻）。

〔表紙〕茶色改装表紙（青海波の文様を雲母刷りした薄茶色の表紙の表

皮を用いる）。二八・〇×二一・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に具引きが施された書題簽（上部破損）、「破損／くさ」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×一七字〜一八字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二二・〇糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕七七丁（七七丁目補写）。他、前遊紙一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印、小）が押されるのみ。

〔備考〕無書入。一丁裏の三行目「情もひ□へに」、二丁表の一行目「山

の杉□□すゑ」、四丁裏の七行目「日はあれ□ぬ日はなし」

等、切貼訂正が施されている箇所がある。川瀬、嵯峨本第四種

本（素紙摺）。

61 徒然草寿命院抄 存下巻 秦宗巴編

〔請求番号〕89—77（高乗）

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補（新装）茶色表紙（二九・〇×二〇・六糎、雷文繫ぎ蓮華

唐草文様原表紙の表皮を貼付）。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行

〔匡郭〕四周双辺（二二・九×一六・五糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「徒抄 丁附」。

〔丁数〕六六丁

〔刊記〕卷末に原刊記、「此抄者壽命院立安法即凌^レ醫家救療之暇／廣見遠聞而漸終篇予披覽最奇之餘揮短／毫聊録事狀耳／慶長第六辛丑孟冬初九 也足叟素然」。

〔印記〕「国文学研／究資料館」の朱の小印あるのみ。

〔備考〕朱引・朱点、僅かに訓点等を墨書にて施す。後表紙見返しに「徳運」と墨識語。「徳運」の識語は、正宗文庫蔵の古活字版『伊勢物語』（嵯峨本・第五種本）や宮内庁書陵部蔵の古活字版『平治物語』（慶長中刊十行本・第一種本）、東北大学附属図書館漱石文庫蔵『太平記鈔』にも見られる。これらの本には識語と同筆の、すなわち徳運による綿密な書き入れが施されている。徳運についての詳細は未詳だが、正宗文庫蔵『伊勢物語』の最終段の書き入れに、「業平五十六ニシテ元慶四年五月廿八日ニ逝去：寛永三年迄七百四十六年ニ成」とあることや、東北大学附属図書館漱石文庫蔵『太平記鈔』に施された書き入れの時期―元和九（一六二三）年以降、寛永三（一六二六）年以前（小秋元段『増補太平記と古活字版の時代』、新典社、二〇一八年、初版、二〇〇六年。三一〇頁参照）から、およその活躍時期を推測で

きる。全丁裏打修補。川瀬、五二六頁、（二）無刊記本（第一種）。

伝本についての詳細は、高木浩明『中院通勝真筆本』つれ／＼私抄―本文と校異―』（新典社、二〇一二年）を参照。

62 徒然草壽命院抄 二卷 秦宗巴編

〔請求番号〕89-78-152（高乗）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙（二七・九×二〇・五糎、上冊欠）。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（二四・一×二・八糎）、「徒然草抄 下」。

ただし上冊は欠くため、表紙の見返し紙の左肩に「徒然草抄 上」と打付書。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕十三行。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周单辺（二二・六×一七・六糎）無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫に「徒然抄上 丁附」。

〔丁数〕第一冊、八八丁（上冊）、第二冊、四九丁（下冊）。

〔刊記〕卷末には「此抄者壽命院立安法印凌^レ醫家救療之暇廣見／遠聞而漸終篇予披覽最奇之餘揮短毫聊録事／狀耳／慶長第六辛丑孟冬初九 也足叟素然」の原刊記を有する。

〔印記〕「残花書屋」（朱長円形印）「賓／南」（残華（花）／書屋）（朱方印）「賓南／過眼」（朱方印、以上、戸川浜男）、「月明荘」（反町

茂雄、朱長方印)。

〔備考〕下冊の巻尾丁に「昭和廿四年十一月 五十四回誕辰紀念」の墨書識語。川瀬、五二六頁。(四) 無刊記本(第三種)。

63 天台圓宗四教五時西谷名目 二卷

〔請求番号〕ヤ4—50—152

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕栗皮表紙(押八双は有するが、後補)。二七・九×一九・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の双边粹刷題簽「頭書／西谷名目 上末」(第一冊)、

「西谷名目」(第二冊)。

〔内題〕「天台圓宗四教五時西谷名目卷上(下)」。

〔尾題〕「西谷名目卷上」、「二格低」西谷名目卷下畢」。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二二・三糎。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「名目上(下) 丁附」。

〔丁数〕第一冊、四五丁(巻上)、第二冊、三六丁(巻下)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「平等心王院」(朱長方印)、「小汀氏藏書」(朱長方印)。

〔備考〕無書入。各冊とも後表紙の見返しに識語、「主空□」、「施主善曳房」。川瀬、七八八頁。久原文庫藏本(現、大東急記念文庫藏本)

のみ著録。「寛永中の印行であらう」。

64 唐決集 二卷

〔請求番号〕ヤ4—214

〔体裁〕大本一冊(二卷合冊)。

〔表紙〕後補茶色渋引表紙。二七・八×一九・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「唐決集／(八格低)最澄在唐問(二格空)道邃決義」(目錄首)、

「天台宗未決／(二格低)問答十箇條 遼座主決義 最澄在唐日問」(上巻首)、「日本國三十問謹案科直答如後／(十三格)天台沙門廣修撰」(下巻首)。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕四周单边(二三・〇×一六・〇糎)、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「唐目錄(在唐決・光唐決・慧唐決・徳唐決・圓唐決・澄唐決) 丁附」。

〔丁数〕一〇八丁(目錄・六丁／上巻・四二丁／下巻・六〇丁)。

〔刊記〕「(二格低) 皆寛永三(丙寅)年四月日(三格空) 刊摺之訖」。

〔印記〕「小汀氏藏書」(朱長方印)、「小汀文庫」(朱長方印)。他、巻末

に「實／□」(黒印)。

〔備考〕本書は、日本天台と唐天台との両僧の問答集。墨筆で返点と送仮名が施されている。巻末に識語、「僧蘊雄□」。川瀬、三〇三・

七三二頁、寛永三年叡山版。七三二頁に著録されている小汀文庫藏本が本書。

【な】

65 日本武州江戸東叡山寛永寺一切経新刊印行目録 存巻第二

〔請求番号〕ヤ5―460

〔体裁〕折本一帖。

〔表紙〕縹色表紙。二八・二×一〇・〇糎。

〔題簽〕中央部に後補の金箔散らし書題簽（一六・八×三・一糎）、「寛

永寺一切経印行目録」。

〔内題〕「日本武州江戸東叡山寛永寺一切経新刊印行目録巻第二（八格

空）最」。

〔尾題〕「日本武州江戸東叡山寛永寺一切経新刊印行目録巻第一（八格

空）最」。

〔本文〕一面、六行×一七字。

〔匡郭〕上下单边（二二・〇糎）、無界。

〔版心〕「最 一切経目録二 丁附」。

〔丁数〕三〇紙（六〇折）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「猪熊家」（藍色長方印）、他、判読不明の朱方印（陰刻）一印。

〔備考〕天海版。川瀬、三二七頁。

【は】

66 班女

〔請求番号〕タ7―48

〔体裁〕半紙本。綴葉装の一番綴。綴糸、紫。

〔表紙〕原装白色雲母刷文様（獅子丸蔓牡丹文・甲）表紙。二四・二×

一八・一糎。

〔題簽〕左肩に薄茶色原刷題簽（一二・五×三・一糎）、「班女」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉七行×一三字。鈎印（ㄣ）や区切り印は墨書。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一八・九糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一折、四枚（七丁、一丁前表紙に入る）、二折、三枚（六丁、六

丁目本文三行後表紙に貼る）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印）が捺されるのみ。

〔備考〕無書入。嵯峨本、観世流謄本の特製本。料紙には具引き、雲母

刷文様（メヒシバ甲、梅立枝・丙、波）が施されている。

67 拂惑袖中策 二巻 最澄著

〔請求番号〕99―50―152（貴重書）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補縹色空押雷文禪に雨竜文様表紙。二六・〇×一九・〇糎。

五針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「拂惑袖中策目録（下目録）」、「拂惑袖中策（一格空）へ凡四十章

／上二十章」（五格空）沙門最澄撰」、「拂惑袖中策下へ凡四十章
／上二十章」。

〔尾題〕「拂惑袖中策上（下）巻」。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕四周单边（二二・二×一五・三糎）、無界。

〔版心〕白口双花口魚尾、中縫、「拂惑上（下） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、一八丁（上巻、目録・一丁／本文・一七丁）、第二冊、
二五丁（下巻、目録・一丁／本文・二四丁）。

〔刊記〕下巻の巻末に「於江戸梓刊」。

〔印記〕「島田／藏書」（島田乾三郎、朱方印）、「光／貫」（墨丸印、印の
下に忍山光海と墨書）、「寶玲文庫」（フランク・ホーレー、墨長
方印）、「月明／莊」（反町茂雄、朱方印）。他、上巻巻首丁右上
に判読不明の朱方印（陰刻）一印。

〔備考〕天地化粧裁。朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名が
施されている。上巻の巻末には、以下の本奥書が墨筆で移写さ
れる。「点本云／康正元年へ乙／亥」九月廿日於台岳本院西谷佛
乗房南面文（以下裁断）／應實俊師法印權大僧都嚴命雖為惡筆
染（以下裁断）／右筆（以下裁断）／永禄二年へ己／未」七月
十七日書了 右筆定弥公／天正五年へ丁／丑」十月廿日写訖右
筆豪春」。川瀬、三二六頁。伝本、久原文庫蔵本（現、大東急記
念文庫蔵）を著録するのみ。『弘文莊古活字版目録』三五六頁に

掲載の本。

68 弘説宝雲經（梁）三藏／曼陀羅仙共訳（梁）伽婆羅共訳

存巻第三・四

〔請求番号〕ワ3—257

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補薄縹色表紙。二八・四×二二・〇糎。五針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の双辺梓刷題簽（二一・六×四・六糎）、「寶雲經 三
四（墨書） 木（墨書）」。

〔内題〕「佛説寶雲經卷第三（七格空）木三／（一格低）梁扶南三藏曼陀
羅仙共僧伽婆羅譯」、「寶雲經卷第四（八格空）木四／（一格低）
梁扶南三藏曼陀羅仙共僧伽婆羅譯」。

〔尾題〕「佛説寶雲經卷第三（六格空）木三」、「寶雲經卷第四（八格空）
木四」。

〔本文〕一面、一二行（六行×2）×一七字。

〔匡郭〕上下单边（二二・〇糎）、無界。

〔版心〕「大三（四）」と丁附を刻するのみ。

〔丁数〕三〇丁（巻第三・一七丁／巻第四・一三丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「蘆中宗文庫」（朱長方印）、「佐山／重致」（朱方印）、「班山文庫」
（朱長方印）。

〔備考〕無書入。天海版。前見返しに佐山醫院（佐山重致）の原稿用紙

に万年筆で記した解題・覚書を貼付。

69 仏説求欲經／仏説受歲經／仏説梵志計水淨經 (西晋) 沙門法炬訳

／竺法護訳／失訳今附東晋録

〔請求番号〕ワ3―228

〔体裁〕折本、一帖。

〔表紙〕原装香色表紙。二八・七×九・六糎。

〔題簽〕無。「佛説求欲經／佛説受歲經／佛説梵志計水淨經」と打付書。

〔内題〕「三經同卷六(十格空) 止／(三格低) 佛説求欲經／(三格低)

佛説受歲經／(三格低) 佛説梵志計水淨經」、「佛説求欲經／(六格低) 西晋沙門法炬訳」、「佛説受歲經／(六格低) 西晋三蔵法師竺法護譯」、「佛説梵志計水淨經／(六格低) 失譯今附東晋録」。

〔尾題〕「佛説求欲經」、「佛説受歲經」、「佛説梵志計水淨經」。

〔本文〕一面、六行×一七字。

〔匡郭〕上下单边(二一・九糎)、無界。

〔版心〕「止(十一格空) 一(一十九)」と刻するのみ。

〔丁数〕一九紙(佛説求欲經・二四折／佛説受歲經・九折／佛説梵志計水淨經・六折)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「大阪市南区天王寺勝山通一丁目四七番地／中村口兵衛／(電話番号) (紫色印)。

〔備考〕無書入。天海版。後表紙裏に天海版の刷り反古。

70 舟弁慶

〔請求番号〕タ7―47

〔体裁〕半紙本。綴葉装の一番綴。綴糸、紫。

〔表紙〕原装薄桃色雲母刷文様(立薄・甲)表紙。二三・八×一八・〇糎。

〔題簽〕左肩に薄茶色原刷題簽(二一・一×三・一糎)、「舟弁慶」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉七行×一三字。鈎印(フ)や区切り印は墨書。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一八・六糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一折、五枚(九丁、一丁前表紙に入る)、二折、四枚(七丁、七丁目遊紙、八丁目後表紙に入る)。

〔刊記〕無。

〔印記〕判読不明、一字の朱方印。

〔備考〕無書入。嵯峨本、観世流謄本の色替り本(表紙にのみ雲母模様があり、一冊中の料紙に各種の有色紙を混用している本)。料紙には具引きが施され、白色・薄紅色・香色・水色の有色紙を混用している。

71 平家物語 十二卷

〔請求番号〕99―19―1512 (貴重書)

〔体裁〕 大本一二冊。

〔表紙〕 後補薄茶色布目地格子刷毛目文様表紙。二七・〇×一九・八糎。

五針袋綴。

〔題簽〕 無。左肩に「平家物語 一（一十二止）」と打付書。

〔内題〕 「平家物語卷第一（一十二）目録」、「平家物語卷第一（一十二・灌頂卷）」。

灌頂卷。

〔尾題〕 「平家物語卷第一（一十二）」、「平家物語卷第十二終」、「平家物語灌頂卷畢」。

語灌頂卷畢。

〔本文〕 每半葉一二行×二二字。漢字平仮名交（平仮名多し）、章段名三

格低。小型活字使用。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、約二三・七糎。

〔版心〕 無。

〔丁数〕 第一冊、六四丁（卷第一、目録・一丁／本文・六三丁）、第二冊、

七五丁（卷第二、目録・一丁／本文・七四丁）、第三冊、六六丁

（卷第三、目録・一丁／本文・六五丁）、第四冊、六五丁（卷第

四、目録・一丁／本文・六四丁）、第五冊、五九丁（卷第五、目

録・一丁／本文・五八丁）、第六冊、四七丁（卷第六、目録・一

丁／本文・四六丁）、第七冊、六〇丁（卷第七、目録・一丁／本

文・五九丁）、第八冊、四九丁（卷第八、目録・一丁／本文・四

八丁）、第九冊、七八丁（卷第九、目録・一丁／本文・七七丁）、

第一〇冊、六六丁（卷第十、目録・一丁／本文・六五丁）、第一

一冊、六九丁（卷第十一、目録・一丁／本文・六八丁）、第二二

冊、七三丁（卷第十二、目録・一丁／卷第十二・四八丁／灌頂

卷・二四丁）。

〔刊記〕 「二格低」此平家物語一方檢校衆以吟味令開板之者也／（一格

低）于時寛永元年五月初一日／（十格低）落陽^{てつやう}三条寺町（一格

空）道意」。

〔印記〕 「慥々斎／圖書」（朱方印）。

〔備考〕 卷第十二の卷末に識語、「弘化三年閏五月十七日一閱畢比等之

（朱楮円印）素親生／一過讀」。『弘文莊古活字版目録』三八〇

頁掲載の本。安田文庫旧蔵本。

72 平家物語 存卷一―三・七・八・十・十一

〔請求番号〕 タ4―87―1157

〔体裁〕 大本七冊。

〔表紙〕 薄茶色空押大ぶりの雷文繫ぎに牡丹唐草文様表紙（『弘文莊古活

字版目録』は原装とする）。二七・〇×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕 無。第一冊の左肩にのみ「平家物語」と打付書。

〔内題〕 「平家物語第一（一十二）目録」、「平家物語第一（一十二）」。

〔尾題〕 「平家物語第一（一十二）終」。

〔本文〕 每半葉一〇行×一八字。漢字平仮名交、句読点「・」活字を交

える。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、約二一・九糎。

〔版心〕 無。

〔丁数〕第一冊、九六丁（第一、目録・一丁／本文・九五丁）、第二冊、八三丁（第二、目録・一丁／本文・八二丁）、第三冊、一一〇丁（第三、目録・二丁／本文・一一九丁）、第四冊、八二丁（第七、目録・一丁／本文・八一丁）、第五冊、六二丁（第八、目録・一丁／本文・六一丁）、第六冊、八五丁（第十、目録・一丁／本文・八四丁）、第七冊、九七丁（卷第十一、目録・二丁／本文・九六丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「高木家蔵」（朱長方印、高木利太）。

〔備考〕漢字に一部墨筆で振仮名を施している。第一冊見返しに「慶長木活平家物語七冊／中院本ト称スルモノ八坂流／ノ曲點を付ス／十二冊ノ内五冊を欠ク／本書光悦本又ハ嵯峨本八坂本ナド称／ス光悦書角倉蔵板ト傳ヘラル。平家ノ物語考ニヨレバ／内閣文庫本ニハ第十二冊終ニ「光悦本」／ト朱書アリ。コノ本奥書アリ次ノ如シ／右此平家物語者中院前中納言以諸ノ家正本校合之給者也／中院前中納言ハ也足軒源通勝卿ナラム」の識語を記した紙片を貼付。川瀬、五三六頁、（九）中院本（ロ）無校語本。

伝本に高木文庫本（二本）を著録し、「一は水色雲母模様存す（完本）。一は香色原表紙、缺七冊」と記述するが、後者が本書。ちなみに前者は、現在、成城大学図書館に所蔵される。山下宏明編『平家物語八坂系諸本の研究』（三弥井書店、一九九七年）、一類本B種。慶長版。校語なし。同書二六一頁に著録される「0

205 中院本 八木書店 高木文庫旧蔵（弘文荘古活字版目録）212頁」は本書。

73 弁慶物語 二卷

〔請求番号〕96-789-1、2（鶴飼）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補薄縹色布目地表紙。二七・一×一九・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の単辺刷梓書題簽（一八・七×三・八糎）、「弁慶物

語 上（下）」。

〔内題〕「弁慶物語上」、「弁慶の物語下」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二〇字内外。漢字平仮名交（平仮名多し）。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二三・四糎。

〔版心〕無。ノドに巻と丁附を刻す。

〔丁数〕第一冊、三七丁（上）、第二冊、三七丁（下）。他、各冊ともに

前遊紙一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「書肆千鍾／房蔵書記／不許他出」（須原屋茂兵衛？朱長方印）、

「待賣堂」（達磨屋五一、朱楮円印、上巻巻首のみ）、「江戸四日市／古今珍書會／達磨屋五二」（朱印、下巻巻末のみ）。

〔備考〕上下とも巻首五丁目までに、墨筆で濁点と句読点が施されている。川瀬、五九五・九三二頁、慶長中刊別版。「弁慶物語には在

来知られた二種の他に、それよりも先行（慶長中の印行）と思はれる別種の活字印本が見附かつた」（九三二頁）。伝本、他に大東急記念文庫（大東急記念文庫善本叢刊近世篇1 仮名草子集、汲古書印に影印）。

74 方丈記 鴨長明著

〔請求番号〕99—168（貴重書）

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕原装水色雲母刷文様（唐草十字印禪甲）表紙。二五・四×一八・

六糎。綴葉装。

〔題簽〕無。無題。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉九行×一四字内外。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・六糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕三〇丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「西莊文庫」（小津桂窓、朱長方印）。

〔備考〕嵯峨本、第一種本。安田文庫旧蔵。白の具引き地に雲母文様（楓に水・籬の花甲・兔と波・竹藪・籬・唐草十字印禪甲・枝曲り梅乙・別種松林と高波・不明草花・藤水巴文乙・乱れ藤乙・松

山満月甲）を施し、本文を刷印した料紙を表裏貼り合わせる。料紙の紙質については不明だが、森上修氏は、静嘉堂文庫蔵本に表裏の剥離した一丁があることを紹介し、そこからその紙質が楮紙であることを指摘している（私立大学図書館協会西部地区部会阪神地区協議会書誌学研究会『関西大学図書館所蔵謡曲百番『浮舟』（特製本）の印出字調査』所収「座談会・『浮舟』の活字調査を終えて」、二〇〇〇年）。桐箱入り（「友金」と箱書）。国文学研究資料館影印叢書7『嵯峨本 方丈記』（勉強出版、二〇一六年）には、本書の全巻原寸大原色影印が収録され、小秋元段氏による詳細な解説が附されている。

75 法華靈驗伝 二巻 了円著

〔請求番号〕ヤ4—206—1—2

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補茶色渋引表紙。二八・七×一九・六糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に双辺枠刷題簽（一六・六×三・七糎）、「法華靈驗傳 上

（下）」。

〔内題〕「法華靈驗傳卷上（下）」。

〔尾題〕「法華靈驗傳卷上」、「法華靈驗傳卷下終」。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕四周双辺（二二・一×一五・五糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「靈驗傳上（下） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、三五丁（巻上）、第二冊、三三丁（巻下・三三丁ノ跋（皇

明嘉靖十三年甲午六月日全羅道高敞文殊寺重録）・一丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「伊州新大佛寺」（朱長方印）。

〔備考〕朱引、朱句読点、朱墨による書き入れ（朱は主に訂正、點↓黙、性↓姓…）が若干施されている。川瀬、三四七・七八三頁、慶

長元和中刊。

76 本朝文粹 十四卷 藤原明衡編

〔請求番号〕96—1213—1—14（鶉飼）

〔体裁〕大本一四冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二八・〇×二〇・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（一六・九×三・九糎）、「本朝文粹惣標目

全」、「本朝文粹 参（一十二）」。第二・三・十四、題簽剥落、

左やや下に「壹」「貳」「十三」と墨書。

〔内題〕「新刊本朝文粹序」、「本朝文粹目錄」、「本朝文粹卷第一（一巻之十四）」。

〔尾題〕「新刊本朝文粹目錄畢」、「本朝文粹卷第一（一巻之十三）終」、

「新刊本朝文粹卷之十四（大ノ尾）」。

〔本文〕每半葉九行×一八字。

〔匡郭〕序、四周双辺（二二・二×一六・七糎）、無界。目錄、本文、四

周双辺（目錄、二二・二×一六・六糎、卷第一、二二・二×一

六・七糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「本朝文粹序（目錄・卷一—十四） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、四〇丁（序、寛永己巳仲冬下旬 羅山子道春・二丁ノ

序、寛永己巳冬十一月日 尾陽醫官法眼杏菴正意書・二丁ノ目錄・三六丁）、第二冊、二九丁（卷第一）、第三冊、四七丁（卷

第二）、第四冊、三三丁（卷第三）、第五冊、二九丁（卷第四）、

第六冊、三四丁（卷第五）、第七冊、四一丁（卷第六）、第八冊、

三三丁（卷第七）、第九冊、三九丁（卷第八）、第一〇冊、三七

丁（卷之九）、第一一冊、三九丁（卷之十）、第一二冊、二九丁

（卷之十一）、第一三冊、三五丁（卷之十二）、第一四冊、六五

丁（卷之十三・三五丁ノ卷之十四・三〇丁、卷末の刊記と寛永

六年那波道圓跋は欠く）。

〔刊記〕第二冊、卷第一巻末に、「（二格低）于時寛永六（己ノ己）曆卯

月吉旦ノ（二行空）ノ（四格低）玉屋町 田中長左衛門刊之（正

ノ基）」。

〔印記〕「国文学研ノ究資料館」（朱長方印）が押されるのみ。

〔備考〕墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。第三・七・九冊

は無書入。川瀬、五七三・九一四頁。

【ま】

77 枕雙紙・空觀・教誠新學比丘行護律儀・心根決疑章・起信論一心二門大意・大乘百法明門論

〔請求番号〕ヤ4-274

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補茶色表紙。二八・二×一九・一糎。五針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「横川沙門源信記（七格空）枕雙紙」、「二格低）空觀（九格空）楞嚴院慧心撰」、「教誠新學比丘行護律儀（八格低）終南山沙門（三格空）道宣述」、「心根決疑章（十一格空）竟宴記」

「起信論一心二門大意（五格空）揚州智愷作」「大乘百法明門論（二格空）本事分中略録名數（二格低）天親菩薩造 唐三藏法師 玄奘奉詔譯」。

〔尾題〕「三格低）枕雙紙」、「教誠新學比丘行護律儀」、「心根決疑章」、「起信論一心二門大意」、「大乘百法明門論」。

〔本文〕每半葉一〇行×二〇字。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一二・五糎。

〔版心〕白口双花口魚尾、中縫、「枕雙紙（教誠儀・決疑章・起信論・百法明） 丁附」。

〔丁数〕五〇丁半（目録・半丁、表丁欠。目録補写（慧心枕雙帛付空觀／教誠儀／心根決疑章／起信一心二門大意／大乘百法明門論）

／枕雙紙（横川沙門源信記・六丁、空觀・四丁）・一〇丁／教誠

新學比丘行護律儀・二〇丁／心根決疑章・一三丁／起信論一心

二門大意・五丁／大乘百法明門論・二丁）。

〔刊記〕無

〔印記〕「播州斑鳩／佛餉院藏」（朱方印）。

〔備考〕卷首六丁、「横川沙門源信記」にのみ朱墨による訓点が施されている。「横川沙門源信記（七格空）枕雙紙」の卷末に識語、「于

時長保三季三月下旬／横河楞嚴院源信竊記」、「時寛文辛亥冬十

有一月以点付本點之了 澄心叟寂通書（「寂通」朱印）。川瀬、

七九三頁に「佛書の無刊記本類で旧著の後一見したもの」とし

て著録する「枕雙紙・教誠儀・心根決疑章・起信一心二門大意・

大乘百法明門論（右五部合）」刻、十行二十字、／一冊。一誠堂

にて一見」が本書。

78 水鏡 三卷

〔請求番号〕タ4-25

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕原装（押八双有）藍色（縹色）空押雷文襷に菊花文様表紙。二

八・三×二〇・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（銀泥下絵入、一五・一×三・五糎）、「水

かゝみ中（下）」（巻上の題簽は剥落）。

〔内題〕「水鏡卷上（中・下）」。

〔尾題〕無。

〔本文〕 每半葉一二行×二〇字。漢字平仮名交。注小字双行。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、一三三・一糶。

〔版心〕 無。

〔丁数〕 第一冊、四三丁（巻上、目録・一丁／序・八丁／本文、第一代
神武天皇～三十一代欽明天皇・三四丁）、第二冊、四〇丁（巻中、
目録・一丁／本文、三十二代敏達天皇～四十七代孝謙天皇・三
九丁）、第三冊、四〇丁（巻下、目録・一丁／本文、四十八代廢
帝～五十五代代仁明天皇・三九丁）。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 「林氏／圖書」（林東園、朱方印）、「東園／文庫」（林東園、朱丸
印）、「實／相」（朱菱形印）。

〔備考〕 無書入。静嘉堂文庫蔵の『大鏡』（請求番号、一〇三―四一―
八三〇二）と『増鏡』（請求番号、一〇三―四一―一八三〇五）
は僚卷。

79 ※脈語 二卷（明）呉崑述

〔請求番号〕 99―101（貴重書）

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 薄茶色表紙（押八双はあるが後補）。二六・七×一九・〇糶。四
針袋綴。

〔題簽〕 無。左肩に「脈語 全」と打付書。

〔内題〕 「鶴臯山人小傳」、「脈語目録」、「脈語卷之上（下）／（七格低）

微歛澄塘鶴臯山人呉崑述」。

〔尾題〕 「脈語目録終」、「脈語卷之上」、「脈語卷之下終」。

〔本文〕 每半葉一〇行×一九字。稍小型の活字を用いる。

〔匡郭〕 四周双辺（二一・七×一四・八糶）、有界。

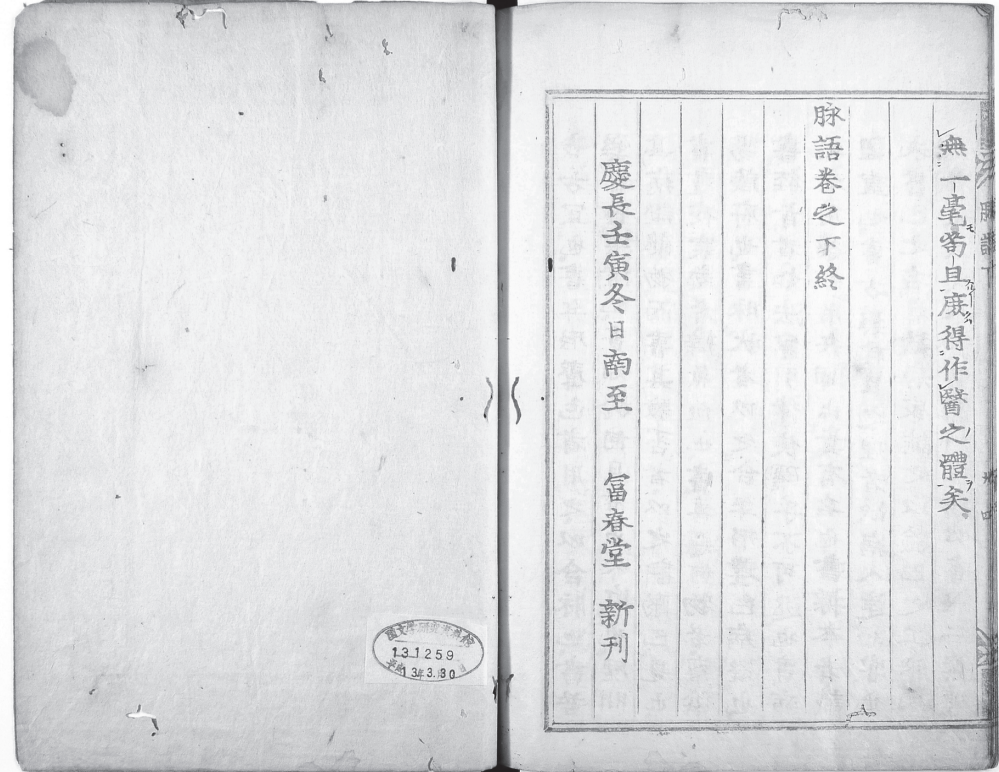
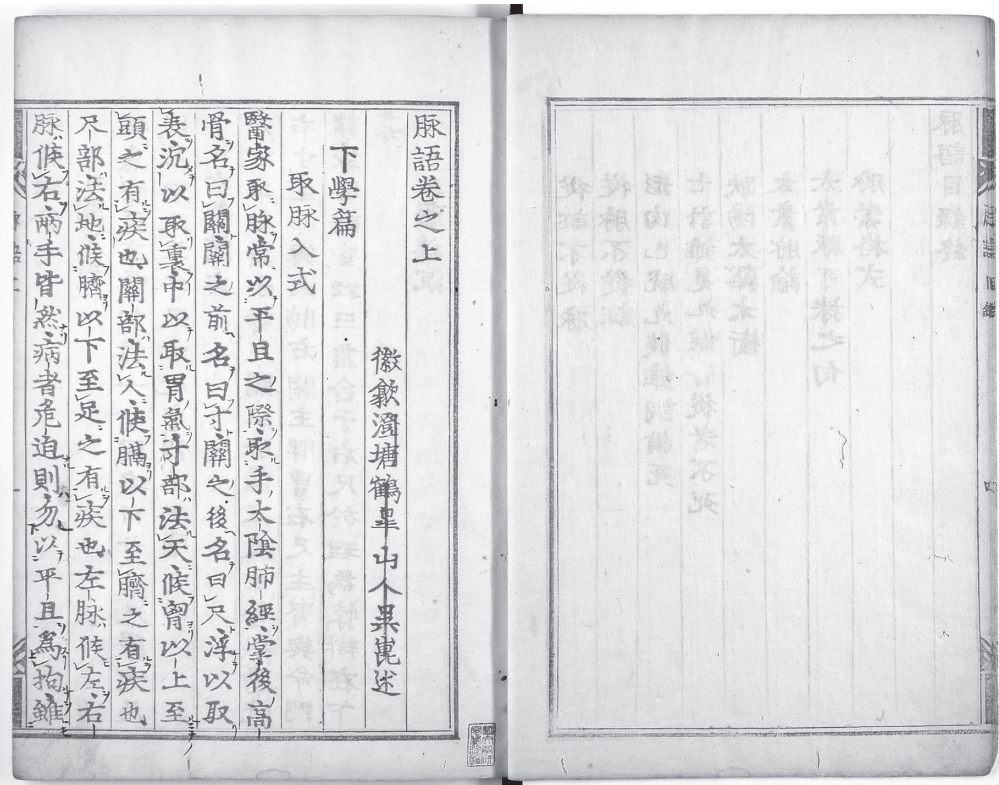
〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「傳（脈語目録・脈語上（下）） 丁附」。

〔丁数〕 四四丁（鶴臯山人小傳（…萬曆丙戌上元日）・二丁／目録・四
丁／卷之上・一四丁／卷之下・二四丁）。

〔刊記〕 「二格低（慶長壬寅冬日南至（一・五格空）富春堂（一格空）
新刊」（慶長壬寅＝慶長七年）。

〔印記〕 「林田／定口（賢？）」（朱丸印）。

〔備考〕 朱引、朱句読点、墨筆による返点、振仮名、送仮名が施されて
いる。川瀬、三三四頁、墨書識語「慶長甲寅（十九）求之（以
下墨消）」を有する東洋文庫蔵本（双辺無界十行二十字）を著録
するのみ。伝本、他に、武田科学振興財団杏雨書屋蔵本（請求
記号、貴五〇〇）。



80 妙法蓮華經觀世音菩薩普門品

〔請求番号〕ワ3―203

〔体裁〕折本一帖。

〔表紙〕薄茶色（香色）表紙。二八・六×九・七糎。

〔題簽〕無。中央に双辺枠に「普門品」と刷る。

〔内題〕「妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十八鳳／（三格低）姚秦三

藏法師鳩摩羅什奉 詔譯」。

〔尾題〕「觀世音菩薩普門品へ長行後偈頌羅什不翻／續高僧傳云此是闍那

／掘多／所譯」。

〔本文〕一面、六行×一七字。

〔匡郭〕上下单边（二二・二糎）。

〔版心〕「鳳 妙法華經卷八（七格空）丁附（一一六）」。

〔丁数〕六紙。

〔刊記〕「奉彫造 佛說一切經藏／今上皇帝 玉體安穩／東照權現 倍

増威光／四海泰平 國家豊饒／佛法紹隆 利益無窮／征夷大将

軍左大臣源家光吉祥如意／日本武州江戸東叡山／山門三院執

行探題前毘沙門堂大僧正天海願主／正保四年丁亥曆六月十日／

（九格低）經館分職林氏幸宿花谿居士／（九格低）便割嗣氏而

鍍之梓」。

〔印記〕「東叡山／藏板」（朱方印）。

〔備考〕天海版。

81 蒙求抄 七卷

〔請求番号〕89―595―117（高乘）

〔体裁〕特大本七冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。三〇・〇×二二・四糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。無題。

〔内題〕「標題徐狀元補注蒙求卷一（一巻之七）」。

〔尾題〕「標題徐狀元補注蒙求卷之一（一巻之七）」。巻之六は「六巻終」。

〔本文〕每半葉一三行×二二字。漢字片仮名交。ソ式仮名抄。

〔匡郭〕四周单边（二二・二×一七・一糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「蒙抄巻序一（巻序二・巻一―巻七） 丁

附」。

〔丁数〕第一冊、七四丁（序・一丁／蒙求序・四丁半／薦蒙求表・七丁

半／巻一・六一丁）、第二冊、七九丁（巻二）、第三冊、六五丁

（巻之三）、第四冊、八四丁（巻之四）、第五冊、七八丁（巻之

五）、第六冊、五七丁（巻之六）、第七冊、五五丁（巻之七）。他、

巻一・三の冊には前遊紙（後補）一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印、小）が押されるのみ。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆による返点、振仮名、送仮名、本文の誤

脱の補訂等が施されている。川瀬、三六六・八〇八頁、元和寛

永中刊。

82 無言抄 三卷 応其編

〔請求番号〕96―862―13（鶉飼）

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕後補茶色表紙（下巻の前表紙は表皮剥落）。二六・五×一九・二

糹。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「無言抄上（中）」と打付書。

〔内題〕「（二格低）無言抄卷上」、「（一格低）無言抄卷中（下）」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×一九字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二一・二糹。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、七七丁（序・一丁／目錄・一丁／本文・七五丁）、第二

冊、六六丁（巻中）、第三冊、七八丁（巻下・七五丁／慶長三年

紹巴跋・一丁半／慶長三年二品親王空性跋・半丁／慶長四年紹

巴跋、慶長八年木食奥山上人応其跋・一丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「□／□／氏」（朱方印）。

〔備考〕連歌の式目（規則）を解説した書。無書入。川瀬、五五八・九

〇四頁、第二種本（イ）初版。「第二種本は初版と再版との両版

があり、其の活字は徒然草十一行本と同じ様式を有し、慶長中

の印行と認められる」。伝本、他に東洋文庫蔵。

83 無言抄 存下巻 応其編

〔請求番号〕タ3―4

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕白色雲母刷文様表紙。二八・〇×二一・〇糹。四針袋綴。

〔題簽〕中央上部題簽剥落。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×一八字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二二・〇糹。

〔版心〕無。

〔丁数〕七六丁（本文、「三（二格空）四季詞」）・七二丁／南山乞食沙

門跋・慶長三年法眼紹巴跋・二品親王空性跋・慶長四年法眼紹

巴跋、四丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印・大）のみ。

〔備考〕無書入。川瀬、五五八・九〇四頁、第一種本。「第二種本に比し

て稍長細めの様式を有する活字で、慶長中の刊行と認められ、

慶長三年紹巴・同年空性法親王・同四年紹巴の跋文を整版にて

附刻してゐる」（整版か否かは要検討）。

84 無量寿経鈔 七卷 了慧（道光撰

〔請求番号〕ヤ4―86―137

〔体裁〕 大本七冊。

〔表紙〕 原裝（押八双有）茶色渋引表紙。二七・四×一九・五糎。四針袋綴。

〔題簽〕 左肩に双辺粹原刷題簽（一五・二×四・四糎）、「望西樓第三（一七）」。第一冊と二冊は後補の書題簽、「望西樓第壹（貳）」。

〔内題〕 「無量壽經鈔卷第一（一七） 盡轉法輪相（一盡經下卷）／（九格低）望西樓沙門了慧述」。

〔尾題〕 「無量壽經鈔卷第一（一七）」。

〔本文〕 每半葉九行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕 無辺、無界。字高、一一・二糎。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「望西（一七） 丁附」。

〔丁数〕 第一冊、六四丁（卷第一）、第二冊、六四丁（卷第二）、第三冊、

五五丁（卷第三）、第四冊、六二丁（卷第四）、第五冊、五〇丁

（卷第五）、第六冊、六七丁（卷第六）、第七冊、六八丁（卷第

七）。

〔刊記〕 「（一格低）洛陽七條寺内平井近江法橋良專開板／（一格低）于時慶長二十年（乙卯）初夏上旬」。

〔印記〕 「国文学研／究資料館」（朱長方印・大）のみ。

〔備考〕 鎌倉時代の僧・了慧道光（一二四三—一三三三〇）が永仁四年（一二九六）に撰述した「仏説無量壽經」の注釈書。各冊とも巻末に

元和七年（二六二二）良傳冷翁の識語あり。「維元和（辛酉）

年文月下句於江戸称往院所持／玄蓮社良傳冷翁（花押）」（第一

冊）、「豈元和七（辛酉）稔初秋下旬（於江戸称往院所求之／

玄蓮社良傳冷翁（花押）」（第二冊）、「于豈元和七（辛酉）歲上秋下旬（於江戸称往院所□之／良傳冷翁（花押）」（第三冊）、

「□□□玄蓮社良傳冷翁（花押）」（第四冊）、「□豈□□／南無阿弥陀佛／良傳冷翁（花押）」（第五冊）、「後説之尊衆撈□

之度御回向／南無阿弥陀佛／良傳冷翁（花押）」（第六冊）、「維元和七（辛酉）年孟秋下旬（於江戸称往院所挹之／良傳冷翁

（花押）」／此一為點者結□之所化谷玄／無住□□」（第七冊）。

朱引、朱句読点（卷第六のみ）、墨筆で返点、振仮名、送仮名、

その他朱墨による書き入れが施されている。川瀬、三三九・七

七一頁。伝本、東洋文庫・大島雅太郎氏蔵本の二点を著録する

のみ。他、佛教大学図書館に二点（うち一点は巻一と巻四を欠

く）の所蔵がある。

85 ※無量壽經鈔 存卷第二一五・七 了慧（道光）撰

〔請求番号〕 ヤ4—299—1—5

〔体裁〕 大本五冊。

〔表紙〕 栗皮表紙（押八双はあるが後補か）。二七・〇×一九・五糎。四

針袋綴。

〔題簽〕 無。

〔内題〕 「無量壽經鈔卷第二（一七）盡正宗如来勸説（一盡經下卷）／（九格低）望西樓沙門了慧述」。

〔尾題〕「無量壽經鈔卷第二（一七）」。

〔本文〕每半葉九行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・五糎（卷第二）。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「望西二（一七） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、六四丁（卷第二）、第二冊、五五丁（卷第三）、第三冊、

六二丁（卷第四）、第四冊、五〇丁（卷第五）、第五冊、六八丁

（卷第七）。

〔刊記〕「（一格低）寛永元へ申／子暦（三格空） 六條西寺内開板」。

〔印記〕判読不明の黒丸印、一印。

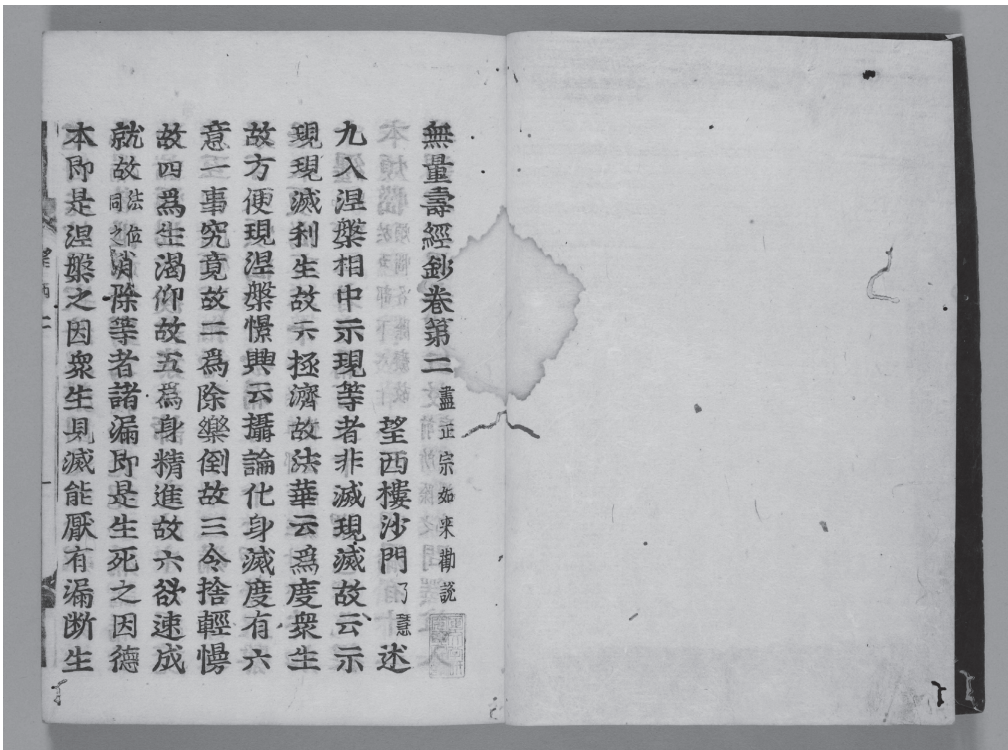
〔備考〕川瀬未載。慶長二十年刊本と比較すると、配字もほぼ等しく同

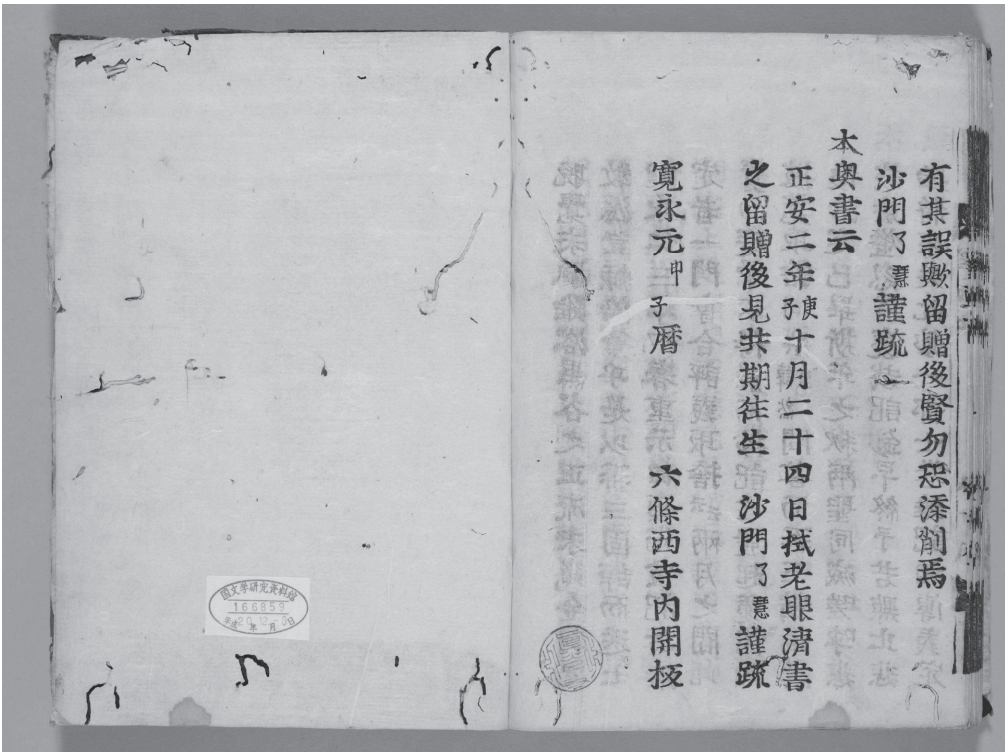
趣の大型活字を用いていることから、慶長二十年刊本を底本に

して刊行されたものかと考えられる。伝本他に、佛敎大学図書

館蔵本。

図版 8-1





86 盛久

〔請求番号〕タ7-59

〔体裁〕半紙本。綴葉装の一番綴。綴糸、薄黄。

〔表紙〕原装白色雲母刷文様（大蔦）表紙。二三・八×一八・〇糎。

〔題簽〕左肩に薄茶色原刷題簽（二一・一×三・一糎）、「盛久」。

〔内題〕無。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉七行×一三字。鈎印（ㄋ）や区切り印は墨書。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一八・八糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕一折、三枚（五丁、一丁前表紙に入る）、二折、六枚（二丁、一丁後表紙に入る）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「刈谷圖書」（朱長方印）。

〔備考〕無書入。嵯峨本、観世流謄本の色替り本。

【や】

87 大和物語 二卷

〔請求番号〕サ4-1111-152

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補薄縹色表紙。二七・〇×二〇・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「大和物語上（下）」と打付書。

〔内題〕「二格低」大和物語終下（上巻、内題なし）。

〔尾題〕「二格低」大和物語上終、「（五格低）大和物語下終」。

〔本文〕每半葉一行×二一字。漢字平仮名交。行間を広くとって植版をしているのが特徴である。写本を意識したものか。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・一糶。

〔版心〕無。ノドに丁附を刻す。

〔丁数〕第一冊、五七丁（上、本文二丁裏から）、第二冊、四七丁（下）。

各冊とも前遊紙各一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「西光寺藏本」（墨長方印）。

〔備考〕上巻のみ墨筆で振仮名を施す。桐箱入。川瀬、五〇九頁、（一）

慶長元和中刊十一行本。推定刊行年は、寛永元年以降に見直しの要あり（高木浩明「古活字版調査余録―『大和物語』の刊行年時を考える―」『汲古』第五六号、二〇〇九年）。

【ら】

88 龍龜手鑑 八巻 （遼） 釋行均撰

〔請求番号〕ワ1―16―1―8

〔体裁〕大本八冊。

〔表紙〕後補黄色空押牡丹唐草地に竜の丸文様表紙。二八・三×二〇・七糶。四針袋綴。

〔題簽〕左肩、剥落。

〔内題〕「龍龜手鑑序」（六格低）燕臺憫忠寺沙門智光撰、「龍龜手鑑目録」、「龍龜手鑑卷第一（一八）」、「増廣龍龜手鑑卷第六」。

〔尾題〕「龍龜手鑑目録終」、「龍龜手鑑卷第一（一八）」。

〔本文〕序、每半葉一〇行×一六字。本文、一〇行、四段。注小字双行。

〔匡郭〕四周单边（序、二三・四×一七・三糶）、有界。

〔版心〕大黒魚尾、中縫、「龍龜卷序（目録・一一八） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、七八丁（序、時統和十五年丁酉七月一日癸亥序・二丁

／目録・七丁／巻第一・六九丁）、第二冊、七五丁（巻第二）、第三冊、九二丁（巻第三）、第四冊、九二丁（巻第四）、第五冊、

一〇三丁（巻第五）、第六冊、一三三丁（巻第六）、第七冊、七六

丁（巻第七）、第八冊、九八丁（巻第八）。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕序に朱引と朱句読点が施されるのみ。川瀬、三七九・八二四頁、「元和中刊と認む。朝鮮本繚印」。

89 類字名所和歌集 七巻目録一卷 里村昌琢編

〔請求番号〕ナ2―356―1―4

〔体裁〕大本八冊。

〔表紙〕縹色表紙（押八双はあるが後補）。二八・〇×二一・〇糶。四針袋綴。

〔題簽〕左肩、剥落。

〔内題〕「廿一代集部立次第」、「廿一代集所詠出之名所和歌國分目録」、

「類字名所和歌集第一（一七） 廿一代集抜書 伊行（知行・与行・羅行・也行・安行・惠行）」。

〔尾題〕「類字名所和歌集第一（一七）終」。

〔本文〕一行。漢字平仮名交。毎行歌一首を植版し、右肩に撰集名、下部に作者名を注記す。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二四・二糶。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、一七丁（廿一代集部立次第（整版）・一丁／廿一代集所詠出之名所和歌國分目録・一六丁）、第二冊、五九丁（第一）、第三冊、七三丁（第二）、第四冊、九二丁（第三）、第五冊、五三丁（第四）、第六冊、四四丁（第五）、第七冊、一二二丁（第六）、第八冊、四二丁（第七・四〇丁／元和三年刊語・一丁）。

〔刊記〕「此一部者互見廿一代集数多之本而抄出名所和歌者也唯／暗愚所撰恐有舛謬猶後見之／輩勿憚改而已／元和三曆仲秋下旬（四格空）法橋昌琢判」。

〔印記〕「加持井御文庫」（朱長方印）、「圓融藏」（朱長方印）、「盛胤之印」（朱方印、以上三印、三千院）、「室玲文庫」（黒長方印、フランク・ホーレー）、「拜土藏書」（朱長方印、ドナルド・ハイド）、「月明莊」（朱長方印・小、反町茂雄）。

〔備考〕無書入。川瀬、五五六・九〇四頁、第一種本。

90 冷齋夜話 六卷 （宋）惠洪編

〔請求番号〕89—596—1—2（高乗）

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕後補茶色表紙。二四・六×一七・〇。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「冷齋夜話 一之二（三之六）」と打付書。

〔内題〕「冷齋夜話目録」、「冷齋夜話卷之一（一六）」。

〔尾題〕「冷齋夜話目録終」、「冷齋夜話卷之二（一六）終」。

〔本文〕毎半葉九行×一八字。小型活字を用いる。

〔匡郭〕四周单边（卷之一、一六・三×一二・五糶）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「夜話目（一六） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、三一丁（目録・一〇丁／卷之一・一二丁／卷之二・九丁）、第二冊、三三丁（卷之三・七丁／卷之四・一〇丁／卷之五・八丁／卷之六・八丁）。

〔刊記〕目録巻尾に原刊記、「是書僧惠洪所編也洪本筠州彭氏子／祝髮為僧以詩名聞海内與蘇為方／外友是書古今傳記與夫騷人墨客多／所取用惜日本訛謬且兵火散失之餘／幾不傳於世本堂家藏善本與日本編／次大有不同再加訂正以繡諸梓與同／志者共之幸鑒／（二格低）癸未春孟新刊」。

〔印記〕無。

〔備考〕無書入。本来は「於下京櫻町開板」の刊記を有する本。川瀬、三六四・三八八・八三一頁、寛永中刊。五山版の繡印。

91 ※連歌至宝抄 一卷 里村紹巴撰

〔請求番号〕夕3-23

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕栗皮表紙（押八双はあるが後補か。見返し新装）。二七・〇×一

八・八糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩、題簽剥落。

〔内題〕「二格低」連歌至寶抄」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二〇字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一二・一糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕三四丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印・小）のみ。

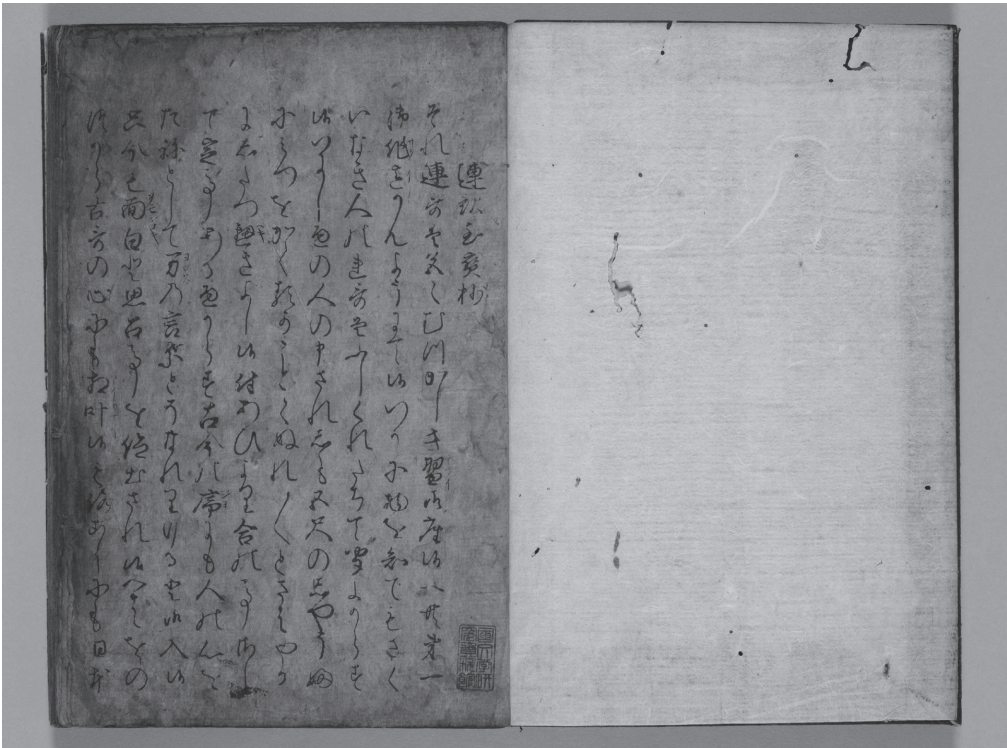
〔備考〕振仮名を若干施す箇所があるものの、無書人に等しい。川瀬、

五六〇・九〇六頁。川瀬未載。版式から第二種本の一本と言え

るが、川瀬の云う第二種本（図録篇・四七六図）とも、第二種

本異植字版（図録篇・九六一図）とも異なる。刊行年時を慶長

中刊とするが、要検討。



図版9

92 六帖要文 存仏部

〔請求番号〕ラ8-127

〔体裁〕横本、折紙双葉装（落合博志「仏書から見る日本の古典籍」、国文学研究資料館『調査研究報告』第三十四号、二〇一四年参照）。

〔表紙〕後補茶色表紙。一四・五×二一・三糎。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（下部破損）、「六帖要文」。

〔内題〕「（下向き花口魚尾）六帖要文（二格空）佛部」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×一一字。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、一一・四糎。

〔版心〕無。ノドに「六帖佛」、「六帖佛 一（一十四）」。

〔丁数〕三〇丁（目録・二丁／本文・二九丁、二丁分で一紙、折紙綴、一四紙＋半紙一丁）。

〔刊記〕「（一格低）寛永九（壬／申）年仲陽□□□（虫損、於延暦）寺寶幢院刊摺之畢」（貼紙）。

〔印記〕「周防府三田尻／光妙寺藏書印」（黒長方印）、「臨野堂文庫」（朱長方印）。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点と送仮名が施されている。川瀬、三〇四頁、叡山版。

93 左大将家六百番歌合 八卷

〔請求番号〕12-364（初雁）

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補茶色空押雷文繫ぎ蓮華唐草文様表紙。二六・三×一八・〇糎。四針袋綴（巻二〜七には単葉装の丁が混在）。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（茶色、椿、金泥下絵。一七・五×三・四糎）、「六百番歌合」。

〔内題〕「左大将家六百番歌合卷第一（一八）目録」、「左大将家六百番歌合卷第一（一八）」。

〔尾題〕「左大将家六百番歌合卷第一（一八）終」。

〔本文〕每半葉二行×二六字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・六糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕二八七丁（巻第一目録・二丁、巻第一・四四丁／巻第二目録・一丁、巻第二・二七丁／巻第三目録・一丁、巻第三・四三丁／巻第四目録・一丁、巻第四・二九丁／巻第五目録・一丁、巻第五・三七丁／巻第六目録・一丁、巻第六・二六丁／巻第七目録・一丁、巻第七・四二丁／巻第八目録・一丁、巻第八・三二丁）。

〔備考〕他、前遊紙一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「押小路文庫（朱長方印）、「初雁／文庫」（西下経一、朱長方印）。

〔備考〕川瀬、五五四頁、第三種本。「西下経一氏藏」と著録されている本が本書。巻一卷首より数丁に若干の墨書入が施されるのみ。巻第二から巻第七では、しだいに袋綴になっている丁よりも、

美濃判を半分に切った料紙の表裏に本文が印刷されて綴じられた丁（単葉装）の方が多くなる。巻ごとの袋綴と単葉装の内訳を示すと、次のようになる。

〈巻第一〉全四六丁、すべて袋綴。

〈巻第二〉全二八丁のうち、二六丁と二八丁が単葉装。

〈巻第三〉全四四丁のうち、一丁、四一九丁、一一一三八丁、

四二一四四丁が単葉装。

〈巻第四〉全三〇丁のうち、二丁、四丁、五丁、七一二四丁、

二六一三〇丁が単葉装。

〈巻第五〉全三八丁のうち、一丁、二丁、六丁、一三一一三丁、

三三一一三八丁が単葉装。

〈巻第六〉全二七丁のうち、一丁、三一九丁、一一一一三丁、

一五一七丁が単葉装。

〈巻第七〉全四二丁のうち、二丁、三丁、五丁、七丁、八丁、

一〇一六丁、二〇一三二丁、三三三丁、三五一三八

丁、四〇丁、四二丁が単葉装。

〈巻第八〉全三二丁、すべて袋綴。

高木浩明「不思議な装訂の古活字版」〔書物學〕12、勉強出版、2018年）参照。

94 ※左大将家六百番歌合（八巻）

〔請求番号〕タ2-189-1-6

〔体裁〕大本六冊。存巻第三一八。

〔表紙〕原装（押八双有）縹色空押卍繫ぎ牡丹唐草文様表紙。二七・七

×一八・〇糎。五針袋綴。

〔題簽〕左肩に原刷題簽（一七・〇×三・九糎）、「六百番歌合（秋／三）

（一）（恋／八終）」（〆／〆）は墨書。

〔内題〕「左大将家六百番歌合巻第三（一八）目録」、「左大将家六百番歌

合巻第三（一八）」。

〔尾題〕「左大将家六百番歌合巻第三（一八）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二六字。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・七糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、四四丁（巻第三、目録・一丁／本文・四三丁）、第二冊、

三〇丁（巻第四、目録・一丁／本文・二九丁）、第三冊、三八丁

（巻第五、目録・一丁／本文・三七丁）、第四冊、二七丁（巻第

六、目録・一丁／本文・二六丁）、第五冊、四二丁（巻第七、目

録・一丁／本文・四一丁）、第六冊、三二丁（巻第八、目録・一

丁／本文・三一丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「国文学研／究資料館」（朱長方印）が押されるのみ。

〔備考〕無書入。川瀬、未載。第四種本と仮称する。伝本は他に、大阪

大学附属図書館蔵本、関西大学総合図書館蔵本、篠山市青山歴

史村蔵本がある。

尾大将家六百番歌合卷之三

一番

左 栞

栞

季澄

經家郷

唐衣ひとくすのりふまをて袂う杖をちりまきりらる
 松まねと風のあしきもみまきもみね端のいとをせうりる
 尤方り云尼奇す可歌中一事
 石さゆ云すうさのどとく所くまうらひきらやうや
 せまこの道とまのりくま
 別云尼奇ひととるまやうゆい物まとうまひと人なり
 りふりまことちりによう人み杖も杖をちりまきりらる

【わ】

95 和歌題林抄 二卷 一条兼良編

〔請求番号〕タ2-30-152

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕原装（押八双有）丹表紙。二七・〇×二一・二。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「和歌題林抄 上（下）」と打付書。

〔内題〕「和歌題林抄上（下）」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉一行×二二文字内外。巻頭の大題及び標目の漢字のみ大
型の活字を用いる。他は筆線の細い比較的小型の活字を用いる。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二一・二糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、六六丁（上、春／立春）、第二冊、五二丁
（下、恋／初恋、楊貴妃）。他、上巻のみ前遊紙一丁。

〔刊記〕無。

〔印記〕「小汀氏藏書」（朱長方印）、「を／ば／ま」（朱印、以上、小汀利
得）。

〔備考〕無書入。川瀬、九〇二頁に著録する小汀文庫蔵本が本書。伝本
他に東洋文庫蔵本。

【附】

◇国立国語研究所

1 錦繡段鈔 五卷 天隱龍沢編

〔請求番号〕W52-6-KI46-1-5

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕栗皮表紙（押入双有、原装か）。二八・三×一九・九糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に白墨で、「錦繡段鈔一（一五）」と打付書。

〔内題〕「錦繡段序」、「新編新選拔萃錦繡段」、「錦繡段目録」、「錦繡段鈔」

「錦繡段抄卷二（三）」、「錦繡段鈔卷四（五）」。

〔尾題〕「錦繡段抄卷一（二・三）終」、「錦繡段鈔卷四終」、「錦繡段抄卷之五終」。

〔本文〕每半葉一四行×二二字。漢字片仮名交。ソ式仮名抄。

〔匡郭〕四周双辺（卷一、二・三・三×一六・五糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「錦抄序（目・卷一―五） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、五四丁（序、文明十五〔癸／卯〕年季秋初二ノ黙雲天 隱龐澤書于清涼東軒・一丁ノ新編新選拔萃錦繡段・一丁ノ目録・

一丁ノ卷一・五二丁）、第二冊、四三丁（卷二）、第三冊、四二

丁（卷三）、第四冊、四三丁（卷四）、第五冊、四五丁（卷五、

四四・四五丁誤綴）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「美濃國ノ土岐郡ノ淺野村ノ永松寺」（朱方印）。

〔備考〕朱引の他、こくわずかに朱墨による書き入れが施されている。

川瀬、五七四・九一五頁。「錦繡段の仮名講説には三種（四版）の活字印本が存する。共に寛永中の印行で小型の活字を用ひてゐる」（五七四頁）。他、元和九年玄佐刊本の存在が知られる。

本書は、（三）寛永中刊本（双辺）。川瀬は大島雅太郎氏蔵本を著録するのみ。

2 錦繡段鈔 存卷一―四 天隱龍沢編

〔請求番号〕W52-6-KI46-1-3

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕原装（押入双有）栗皮表紙。二八・六×二〇・二糎。四針袋綴。

〔内題〕「錦繡段序」、「新編新選拔萃錦繡段」、「錦繡段目録」、「錦繡段鈔」、「錦繡段抄卷二（三）」、「錦繡段鈔卷四」。

〔尾題〕「錦繡段抄卷一（二・三）終」、「錦繡段鈔卷四終」。

〔本文〕每半葉一四行×二二字。漢字片仮名交。ソ式仮名抄。

〔匡郭〕四周双辺（卷一、二・三・三×一六・五糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「錦抄序（目・卷一―四） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、五四丁（序、文明十五〔癸／卯〕年季秋初二ノ黙雲天 隱龐澤書于清涼東軒・一丁ノ新編新選拔萃錦繡段・一丁ノ目録・

一丁ノ卷一・五二丁）、第二冊、四三丁（卷二）、第三冊、四二

一丁ノ卷一・五二丁）、第二冊、四三丁（卷二）、第三冊、四二

丁（卷三）、第四冊、四三丁（卷四）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「國立國語研究／所藏書」（朱方印）のみ。

〔備考〕朱引、漢詩に朱丸、墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。「W52―6―KI46―1―5」と同版。

3 尚書 存卷一―九

〔請求番号〕W581―K074

〔体裁〕大本三冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二四・二×一九・七糎。くるみ表紙（包背装）

四針二箇所綴。

〔題簽〕無。中央に「尚書 春（夏・秋）」と打付書。

〔内題〕「尚書序」、「尚書目録」、「尚書卷第一（一九）」。

〔尾題〕「尚書卷第一（一九）」。

〔本文〕每半葉八行×一七字。注小字双行。

〔匡郭〕四周双辺（序・卷第一、二一・〇×一六・四糎）、有界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「尚書序（目録・二一九） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、四七丁（序・三丁／目録・二丁／卷第一・一二丁／卷

第二・一五丁／卷第三・一五丁）、第二冊、四七丁（卷第四・一

六丁／卷第五・一九丁／卷第六・二二丁）、第三冊、五五丁（卷

第七・二〇丁／卷第八・二〇丁／卷第九・一五丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「二條家／圖書記」（朱長方印）、「天師明經儒」（朱長方印）、「宣

／條」（長方印）、「伏原」（朱長方印、陰刻）、「清原／宣光」（朱

方印、陰刻、卷四卷首丁のみ）、「小汀文庫」（朱長方印）、「を／

ば／ま」（朱）、「月明／莊」（朱方印）、「中山氏／藏書／之記」

（朱方印）、「金合／文庫」（朱方印）、「小林／藏書」（朱方印、

二印はセツト）。

〔備考〕各卷首丁右下に「宣賢」と墨書。朱筆でヲコト点、墨筆で返点、

振仮名、送仮名、その他朱墨による書き入れが多数施されている。

川瀬、三七二・八一五頁、第三種、八行十七字へ双辺／有

界／本。八一五頁補訂篇に著録される「小汀文庫（卷一至九）

三冊。／伏原宣條書入本。蔵」本が本書。第一冊前表紙見返し

に「伏原家本慶長古活字版モスヌ／尚書 春夏秋三冊（冬一欠）

／昭和廿年十二月廿六日於新興展弘文莊」と万年筆書きした付

箋を貼付、第三冊の巻首に「51890／48890／438

90琳」（48890に赤丸）と記したメモを挟む。『臨川書店

和古書善本特選目録2014年冬期特集 第27号』（目録番号

84、120万）に掲載の本。

4 平家物語 十二卷

〔請求番号〕W77―H51―1―12

〔体裁〕大本一二冊。

〔表紙〕茶色渋引き表紙（押八双はあるが後補か）。二七・五×二〇・五

糹。四針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「平家物語 一（一十二）」と打付書。

〔内題〕「平家物語卷第一（一十二）目録」、「平家物語卷第一（一十二）灌頂卷」。

〔尾題〕「平家物語卷第一（一十二）」、「平家物語卷第十二終」、「平家物語灌頂卷畢」。

〔本文〕每半葉一二行×二二字。漢字平仮名交（平仮名多し）、章段名三格低。小型活字使用。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、約二三・七糹。

〔版心〕無。

〔丁数〕第一冊、六四丁（卷第一、目録・一丁／本文・六三丁）、第二冊、

七五丁（卷第二、目録・一丁／本文・七四丁）、第三冊、六六丁

（卷第三、目録・一丁／本文・六五丁）、第四冊、六五丁（卷第

四、目録・一丁／本文・六四丁）、第五冊、五九丁（卷第五、目

録・一丁／本文・五八丁）、第六冊、四七丁（卷第六、目録・一

丁／本文・四六丁）、第七冊、六〇丁（卷第七、目録・一丁／本

文・五九丁）、第八冊、四九丁（卷第八、目録・一丁／本文・四

八丁）、第九冊、七八丁（卷第九、目録・一丁／本文・七七丁）、

第一〇冊、六六丁（卷第十、目録・一丁／本文・六五丁）、第一

一冊、六九丁（卷第十一、目録・一丁／本文・六八丁）、第二二

冊、七三丁（卷第十二、目録・一丁／卷第十二・四八丁／灌頂

卷・二四丁）。

〔刊記〕「（二格低）此平家物語一方檢校衆以吟味令開板之者也／（一格

低）于時寛永元年五月初一日／（十格低）落陽□（破損、二三）

条寺町（一格空）道意」。

〔印記〕「材木屋清五郎」（黒長方印）、「三井家」（朱長方印）、「□□／

所蔵」（朱長方印）、「嶋名／蔵」（朱方印）。

〔備考〕無書入。川瀬、五三二頁、（四）寛永元年（道意）刊本。

◇研医学会図書館

1 ※医学源流 一卷（明）熊宗立撰

〔請求番号〕古活4

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕改装栗皮表紙（栗皮原表紙の表皮を用いた裏打改装表紙）。二

七・三×一九・七糹。五針袋綴。

〔題簽〕無。左肩に「醫學源流全」と打付書。

〔内題〕「（一格低）新刊名方類證醫書大全序」、「醫學源流」。

〔尾題〕無（卷末欠）。

〔本文〕每半葉一〇行×一八字（序）。每半葉二一行×一八字（本文）。

〔匡郭〕四周双辺（序、一七・七×一五・四糹、本文卷首、一七・六×

一五・七糹）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「源流 丁附」。

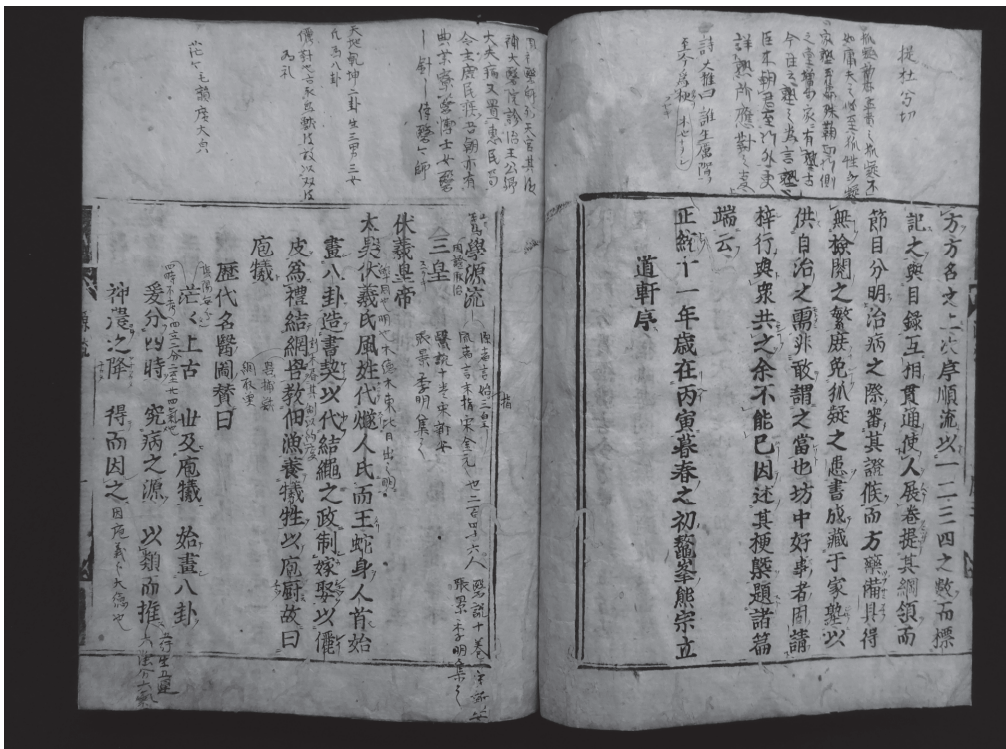
〔丁数〕四七丁（具尚志序・二丁／正統十一年、熊宗立自序・一丁／本文・四四丁、卷末欠）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「峰／川」（朱方印）。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名の他、朱墨による書き入れが多数施されている。川瀬・三三四・七五二頁に、慶長十六年梅寿刊（三井文庫蔵、現所在不明）を著録するのみ。

図版 11



2 ※医学正伝 存卷二一六 (明) 虞搏編

〔請求番号〕古活²

〔体裁〕大本五冊。

〔表紙〕改装栗皮表紙(栗皮原表紙の表皮を用いた裏打改装表紙)。二

八・〇×一九・九糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「醫學正傳卷之二(一四・六)」、「新編醫學正傳卷之二目錄」、「新

編醫學正傳卷之三」、「醫學正傳卷之四(五、六)目錄」、「新編

醫學正傳卷之二(一六)／(八格低)花谿恒德老人虞搏天民編

集／(十一格低)姪孫虞守愚惟明校正」。

〔尾題〕「醫學正傳目錄卷之二終」、「醫學正傳卷之三(一六)目錄終」、

「新編醫學正傳卷之二(一六)終」。

〔本文〕每半葉一行×二〇字。注小字双行。

〔匡郭〕四周单边(卷之二、二二・七×一六・三糎)、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「醫學正傳二(一六) 丁附」。

〔丁数〕第一冊、一〇八丁(醫學正傳卷之二・一丁／目錄・五丁／本文・

一〇二丁)、第二冊、九四丁(醫學正傳卷之三・一丁／目錄・四

丁／本文・八九丁)、第三冊、九二丁(醫學正傳卷之四・一丁／

目錄・五丁／本文・八六丁)、第四冊、九五丁(卷之五、目錄・

五丁／本文・九〇丁)、第五冊、一〇五丁(醫學正傳卷之六・一

丁／目錄・六丁／本文・九八丁)。

〔刊記〕無。

〔印記〕「春翠／文庫」(朱方印、中島仁之助)、「岡田眞／之藏書」(朱長

方印)。

〔備考〕朱引、朱句読点、墨筆で返点、送仮名が部分的に施されるのみ。

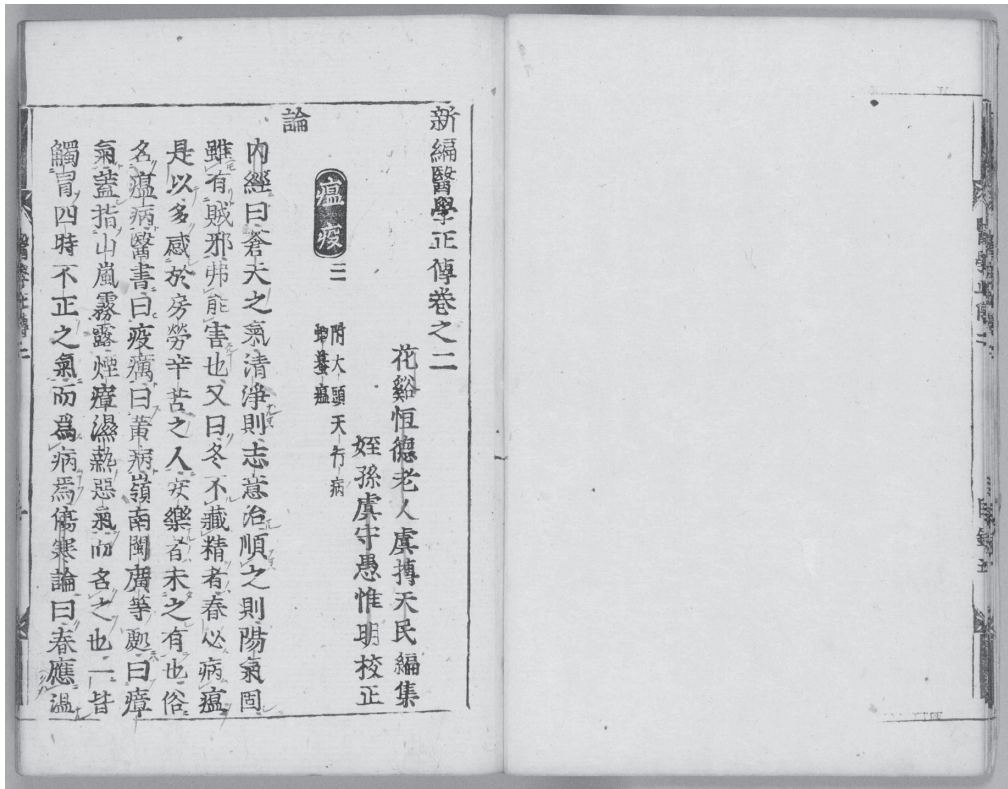
川瀬、一五八頁(甫庵版)、七二〇頁(慶長八年刊)、七一八頁

(元和二年刊、慶長八年醫徳堂守三活字開版本に基く再刊。現

所在不明)、七五二頁(元和七年刊)。本書は上記のいずれにも

あらず。慶長頃の刊行か。国文学研究資料館デジタル画像(デ

ジタル請求記号、DIGIKNIK-49)有。



3 ※医学正伝 存卷二一五・七・八 (明) 虞搏編

〔請求番号〕 53 / 6273 / 6278

〔体裁〕 大本六冊。

〔表紙〕 新補茶色表紙(卷之三・四・五)、二八・四×二〇・〇糎。新補

灰茶色表紙(卷之二・七・八)、二八・四×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕 無。卷之二・七・八の冊については、新補の双边梓刷題簽(一九・四×四・〇糎)を貼付。但し、無題。

〔内題〕 「醫學正傳卷之二(三・五・八)」、「新編醫學正傳卷之二目錄」、

「醫學正傳卷之三(四・五・七・八) 目錄」、「新編醫學正傳卷之二(一五・七・八) / (八格低) 花谿恒德老人虞搏天民編集

/ (十一格低) 姪孫虞守愚惟明校正」、「醫學正傳後再叙(嘉靖辛卯仲春之吉莆田史梧識 / (二行空) / 嘉靖癸丑夏月日重校改誤)」。

〔尾題〕 「醫學正傳目錄卷之二(一五・七・八) 目錄」、「新編醫學正傳卷之二(一五) 終」(卷之七の卷末、破損甚大)、「醫學正傳卷之八

終」。

〔本文〕 每半葉一一行×二〇字。注小字双行。

〔匡郭〕 四周双边(卷之二卷首、二二・四×二五・七糎)、有界。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「醫學正傳二(一八) 丁附」。

〔丁数〕 第一冊、一〇八丁(醫學正傳卷之二・二丁 / 目錄・五丁 / 本文・

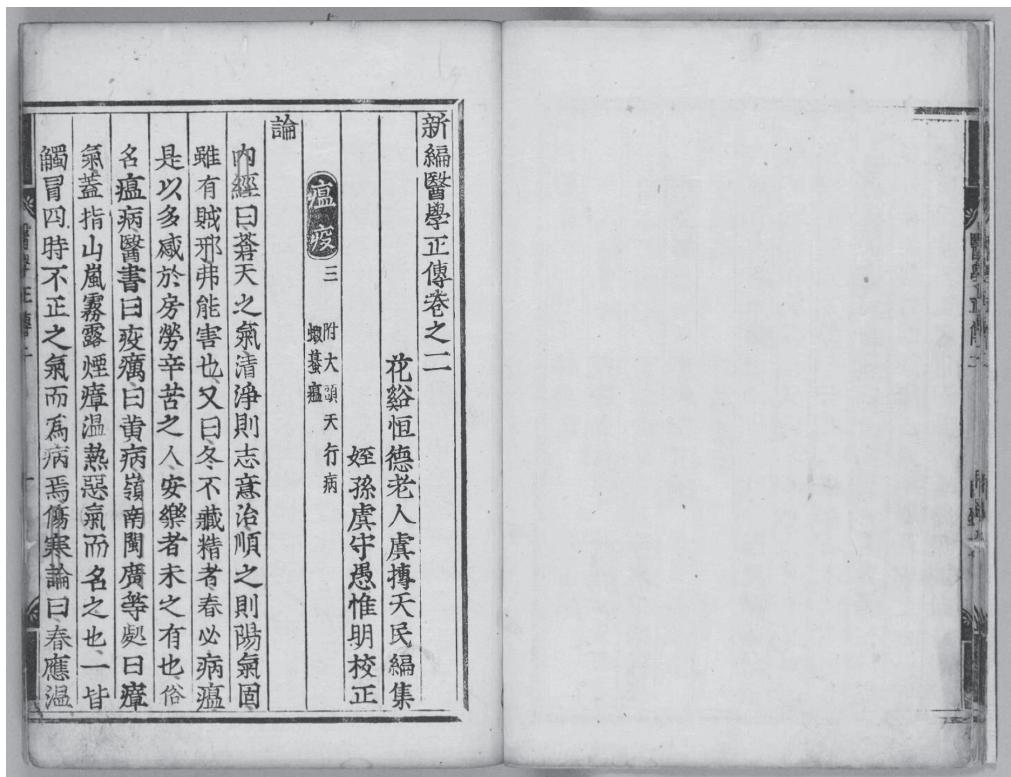
一〇二丁)、第二冊、九四丁(醫學正傳卷之三・二丁 / 目錄・四

〔刊記〕無。

〔印記〕「佐山文庫」（朱長方印）、「佐山／重教」（朱方印）、「春翠／文庫」（朱方印、中島仁之助）。

〔備考〕朱引、朱句読点が一部の巻に若干施されている程度。佐山醫院の印が押された縦罫紙二枚に、万年筆で書かれた佐山重教による覚書を挟む。川瀬未載。慶長頃の刊か。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG-KNIK-47）有。

図版 13



新編醫學正傳卷之二

花谿恒德老人虞搏天民編集

姪孫虞守愚惟明校正

瘟疫

三

附大頭 天行病 蝦蟇瘟

論

內經曰蒼天之氣清淨則志意治順之則陽氣固雖有賊邪弗能害也又曰冬不藏精者春必病瘟是以多感於房勞辛苦之人安樂者未之有也俗名瘟病醫書曰疫癘曰黃病嶺南閩廣等處曰瘴氣蓋指山嵐霧露煙瘴溫熱惡氣而名之也一皆觸冒四時不正之氣而為病焉傷寒論曰春應溫

4 医方大成論抄 二卷

〔請求番号〕古活9

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕栗皮表紙（押八双有、見返し改装。上冊前表紙裏に「禪義名文上 六十八」、双边有界、六行、整版の刷り反古。二八・一×二〇・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩剥落（二九・三×四・三糎）。

〔内題〕「重刊醫方大成論抄上（下）目録」、「醫方大成論抄上」（下冊、

内題なし）。

〔尾題〕「大成論抄之上終」。

〔本文〕每半葉一三行×二四字。漢字片仮名交。稍小型の活字を用いる。

〔匡郭〕四周双边（二一・六×一六・三糎）、無界。

〔版心〕黒口双黒魚尾、中縫、「大成論抄上（下） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、四八丁（上目録・一丁／上本文・四七丁）、第二冊、七一丁（下目録・一丁／下本文・七〇丁、「〇諸虚」から本文始まる。卷末最終行「中所含患血随吸而下 還於右腎包絡之胞中（二格空） 試効方」、これ以下に欠あるか）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「峰／川」（朱方印）。

〔備考〕上の巻首三丁など一部に朱引、朱傍点が若干施されているのみ。

川瀬、三三六・七五八頁。図録篇七二二図に研医学会本の図版を

収む。双边無界十三行本は、研医学会本の他、京都大学附属図書

館近衛文庫蔵本（川瀬、三三六頁では「陽明文庫蔵」と記載）、

武田科学振興財団杏雨書屋蔵本があるが、これら三本はいずれも別版である。この他、京都大学文学部地理学研究室と武田科学振興財団杏雨書屋には、元和九年刊本（川瀬、未載）が所蔵されている。

5 延壽撮要 曲直瀬玄朔

〔請求番号〕古活5

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補丹空押出繫ぎ牡丹唐草文様表紙（前表紙裏に「可笑記五」と墨書。二五・八×一七・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕左肩に後補の書題簽（一六・七×三・三糎）、「延壽撮要 全」。

〔内題〕「延壽撮要総目録」、「延壽撮要」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉九行×二〇字（本文、一九字）。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・三糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕四四丁（総目録・二丁／本文・四一丁／玄朔跋、刊記・一丁）。

〔刊記〕「此書者僕在關左之日偏州下邑之者不知養生之道／不幸而致夭横故愛憐之心……／慶長己亥立夏之節（七格空）法印玄朔（跋）、
「意齋道啓刊行」。

〔印記〕「春翠／文庫」（朱方印、中島仁之助）、「月明莊」（朱・小、反町

茂雄)、「峰／川」(朱方印)。

- 〔備考〕無書入。川瀬、三三〇頁に「元和中の翻印と覚しき「意齋道啓刊行」の刊記ある一本」と記すが、天理図書館蔵本(川瀬、森潤三郎氏蔵本)には慶長十三(一六〇八)年一月に記された玄朔自筆の識語があることから、それ以前の刊行ということになる。なお、識語にもある通り、意齋道啓は曲直瀬玄朔の「門下生」。なお同一の人物かどうかはわからないが、成篁堂文庫蔵本には、「于時寛永二曆重光作噩初春吉辰／本屋／意齋 開板焉」の刊記を有する『中庸章句抄』と『大学章句抄』(無刊記、但し『中庸章句抄』と共時の刊行と認められる)があり、それぞれ原装の栗皮表紙の裏張りには古活字版医書の『脉訣』(双辺無界、十一行×十九字)の刷り反古が用いられていることに注意をしておきたい(『大学章句抄』には整版の『韻鏡』、双辺有界、十行×十九字の刷り反古も用いられている)。国文学研究資料館デジタル画像(デジタル請求記号、DIG|KNIK|53)有。

6 延寿撮要 曲直瀬玄朔

- 〔請求番号〕番号なし。
〔体裁〕大本一冊。
〔表紙〕後補薄茶色表紙。二四・二×一六・五糎。四針袋綴。
〔題簽〕無。

〔内題〕「延壽撮要総目録」、「延壽撮要」。

〔尾題〕無。

〔本文〕每半葉九行×二〇字(本文、一九字)。漢字平仮名交。

〔匡郭〕無辺、無界。字高、二〇・三糎。

〔版心〕無。

〔丁数〕四二丁半(総目録・二丁／本文・四〇丁、「〇汗おほく出て裸にて臥へからす中風となる」で始まる丁欠／玄朔跋・半丁、「意齋道啓刊行」の刊記ある半丁欠)。

〔刊記〕玄朔の跋(此書者僕在關左之日偏州下邑之者不知養生之道／不幸而致夭横故愛憐之心……／慶長己亥立夏之節(六格空)法印玄朔)のあと、「意齋道啓刊行」の刊記ある半丁欠。

〔印記〕「村野蔵書」(朱長方印)。

〔備考〕墨筆で振仮名を施す。「古活5」本と同版。国文学研究資料館デジタル画像(デジタル請求記号、DIG|KNIK|51)有。

7 局方發揮 朱彦脩撰

- 〔請求番号〕古活6
〔体裁〕大本一冊。
〔表紙〕後補茶色表紙。二八・六×二一・〇糎。五針袋綴。
〔題簽〕無。
〔内題〕「局方發揮／(九格低)金華 朱彦脩撰」
〔尾題〕「局方發揮終」。

〔本文〕 每半葉二行×一七字。小型活字使用。

〔匡郭〕 四周双辺（一五・三×一六・六糎）、無界。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「局方 丁附」。

〔丁数〕 三三丁。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 「峰／川」（朱方印）。

〔備考〕 朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。

川瀬、三三〇・七五八頁、「元和・寛永頃に印行の別種の活字印本」。真柳誠『『格致余論』『局方發揮』解題』、『和刻漢籍医書集成』第六輯、エンタプライズ、一九八九年）に解題。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG—KNIK—56）有。

8 局方發揮抄 三卷
〔請求番号〕 古活18

〔体裁〕 大本一冊（上中下三卷合冊）。
〔表紙〕 栗皮表紙（押八双はあるが後補）。二八・三×一九・二。四針袋綴。

〔題簽〕 無。

〔内題〕 「局方發揮抄卷之上（中・下）」。

〔尾題〕 「局方發揮抄卷之上（下）終」、「局方發揮之抄中終」。

〔本文〕 每半葉二行×二四字。稍小型の活字を使用。

〔匡郭〕 四周双辺（二一・八×一五・二糎）、無界。

〔版心〕 上下大黒魚尾（花紋有）、中縫、「局方抄上（中・下） 丁附」。

〔丁数〕 一二六丁（卷之上・四五丁／卷之中・四〇丁／卷之下・四二丁）

〔刊記〕 「寛永五戊辰年七月吉日」。

〔印記〕 無。

〔備考〕 朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名、イ本注記等が施されている。川瀬、三三五・七五六頁。図録篇七一四図に研究会本の図版を収む。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG—KNIK—57）有。

9 玉機微義 五〇卷 徐用誠著、（明）劉純統添
〔請求番号〕 古活1

〔体裁〕 大本八冊。

〔表紙〕 原装（押八双有）薄茶色空押雷文繫ぎ花菱文様表紙。二八・二×二一・四糎。四針袋綴。

〔題簽〕 左肩に双辺梓原刷題簽（一八・六×四・二糎）、「玉機微義 一（一八）。題簽右に後補の目録書題簽を貼付。

〔内題〕 「玉機微義序」、「玉機微義／（一格低）門類目録」、「玉機微義目録」、「玉機微義卷之一（一五十一）」、「書玉機微義後」。

〔尾題〕 「玉機微義目録終」、「玉機微義卷之一（一五十一）」（卷之十四・十六、尾題なし）。

〔本文〕 每半葉九行×一六字（序）、大型活字を使用。每半葉二行×二

○字（門類・目録・本文）、形の整った活字を使用。每半葉九行
×一六字（後序）、大型活字を使用。

〔匡郭〕四周双辺（序、一二・七×一八・二糎、卷之一、一二・八×一七・四糎）、有界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「玉機微義序（玉機門類・玉機目録・玉機微義一（一八）・玉機九（一五十一）） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、八四丁（序・二丁／門類目録・一丁／目録・二七丁／卷之一・二四丁／卷之二・四丁半／卷之三・四丁半／卷之四・二二丁）、第二冊、一〇三丁（卷之五・二五丁／卷之六・一〇丁半／卷之七・一四丁半／卷之八・二〇丁／卷之九・三三丁）、第三冊、七九丁（卷之十・一九丁／卷之十一・一二丁／卷之十二・一〇丁半／卷之十三・四丁半／卷之十四・三四丁）、第四冊、一二二丁（卷之十五・四四丁／卷十六・一六丁／卷之十七・一六丁／卷之十八・三六丁）、第五冊、一一六丁（卷之十九・二二丁／卷之二十・一八丁／卷之二十一・一〇丁／卷之二十二・一三丁／卷之二十三・一二丁／卷之二十四・一七丁／卷之二十五・一〇丁／卷之二十六・一四丁）、第六冊、九二丁（卷之二十七・七丁／卷之二十八・一四丁／卷之二十九・二〇丁／卷之三十・九丁／卷之三十一・八丁／卷之三十二・六丁／卷之三十三・九丁／卷之三十四・一三丁／卷之三十五（「二十五」と誤刻）・六丁）、第七冊、九五丁（卷之三十六・一〇丁／卷之三十七・八丁／卷之三十八・四丁／卷之三十九・七丁／卷之四十・九丁／卷

之四十一・一〇丁／卷之四十二・七丁／卷之四十三・九丁／卷之四十四・六丁／卷之四十五・一〇丁／卷之四十六・七丁／卷之四十七・四丁／卷之四十八・四丁）、第八冊、一〇二丁（卷之四十九・三八丁／卷之五十・六〇丁／書玉機微義後・二丁／跋刊・一丁）。

〔刊記〕「玉機微義者先師一溪翁所最重之書也門／下之徒責予購讀仍屬松印軒玄忠居士而鏤／板矣大明朝鮮之模印字畫差訛頗多故集／數本校讎之尚恐有遺失後學莫憚改之也／（一格低）慶長乙巳上元日（三格空）東井叟玄朔（印〓延／壽）（印〓玄／朔）（整版）。

〔印記〕無。

〔備考〕朱引、朱句読点、朱傍点が部分的に若干施されているのみ。川瀬、七八八頁、「玄朔が慶長十年に開版した「玉機微義」があり、醫徳堂守三の刊記などはないが、同種の活字で印行されてをり、その跋文刊語から見ても醫徳堂の擔當であらうと思ふ。図録篇六八九・六九〇図に研医会本の図録を収む。

10 （新刊）黄帝明堂灸經 三卷

〔請求番号〕5368/8

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二七・八×二〇・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「新刊黄帝明堂灸經序」、「新刊黄帝明堂灸經卷上（中・下）」。

〔尾題〕「新刊黄帝明堂灸經卷上（中）」、「明堂灸經卷第下終」。

〔本文〕 每半葉一二行×二〇字。挿絵入り。

〔匡郭〕 四周双辺（序、二二・四×一七・一糎）、無界。

〔版心〕 黒口双黒魚尾・双花口魚尾、中縫、「明堂灸經 丁附」（丁附は通し丁附）。

〔丁数〕 五五丁（序、至大辛亥春月燕山活濟堂刊・一丁／本文・五四丁。

卷上、二―二九丁、卷中、二九―四五丁、卷下、四六―五五丁、

卷下の巻首に「燕山活濟堂刊／建安竇桂芳校正時刊」とあり。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 無。

〔備考〕 無書入。川瀬、七五七頁。図録篇七一七図に研医学会本の図録を

収む。研医学会（同版本が国会図書館にあり）の他、慶長十三年刊本（成簀堂文庫蔵本）、慶長十三年刊本の異植字版（無刊記本）二種（安田文庫蔵、現所在不明、その一種と同版の成簀堂

文庫蔵本には巻末に慶長末年の墨書識語がある）、龍門文庫蔵本（無刊記、双辺無界、十二行二十字）、日光山「天海蔵」蔵本（無

刊記、双辺無界、十二行二十字。表紙裏張に「貞永式目」を用いている）、栗田文庫蔵本（単辺本）、高木文庫蔵本（現所在不明、無刊記、双辺無界、十二行二十字、活字が延寿撮要第二種

本の漢字活字と同一）。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG―KNIK―59）有。

11 （纂図附音増広）古注千字文 三卷

〔請求番号〕 古活3

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 後補栗皮表紙。二八・三×一九・七糎。四針袋綴。

〔題簽〕 無。

〔内題〕 「註千字文序（六格空）梁大夫内司馬李暹」、「纂圖附音増廣古

注千字文上（中・下）」。

〔尾題〕 「纂圖附音集註千字文之上（下）終」、「纂圖附音集註千字文中

終」。

〔本文〕 每半葉一四行×二〇字。本文二行分の大型活字。

〔匡郭〕 四周双辺（二二・三×一六・五糎）、無界。

〔版心〕 黒口双黒魚尾、中縫、「注千字文序（上・中・下） 丁附」。

〔丁数〕 六四丁（序・一丁／上・二二丁／中・二四丁／下・一八丁）。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 「峰／川」（朱方印）。

〔備考〕 朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。

前後の表紙裏に『性靈集抄』（整版）の刷り反古が用いられている。川瀬、三九〇頁、（三）元和寛永中刊本。伝本、安田文庫蔵

本を著録するのみ。

12 察病指南 三卷 施発著

〔請求番号〕 5366／8

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 薄茶色空押雷文繋ぎ蓮華唐草文様表紙（押八双はあるが、後補か）。二七・二×一九・七糎。四針袋綴。

〔題簽〕 無。

〔内題〕 「察病指南序」、「察病指南目錄」、「察病指南卷之上（中・下）」。

〔尾題〕 「察病指南目錄」、「察病指南卷之上（中・下）」。

〔本文〕 每半葉一行×一六字。注小字双行。

〔匡郭〕 四周双辺（一八・一×一五・六糎）、有界。

〔版心〕 黒口双黒魚尾、中縫、「察病指序（目・上・中・下） 丁附」。

〔丁数〕 五六丁（序、淳祐乙巳良月糞邸趙與謚書・一丁／自序、淳祐改

元九月立冬後四日永嘉施設政卿序・二丁／目錄・二丁／卷之上・

一三丁／卷之中・一九丁／卷之下・一九丁）。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 無。

〔備考〕 朱引、朱句読点、墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。

巻首に「清水蔵書」、後見返しに「重治（印）」と墨書。川瀬、

三三一・七五一頁。医徳堂守三刊行の古活字版『新鍔雲林神穀』

（慶長八年刊）・『医方大成論』等と同種の活字印本として『察

病指南』を挙げる。研医会本と同版本は大東急記念文庫にもあ

り。一誠堂書店より購入（三〇、〇〇〇円）。小曾戸洋『察病

指南』解題（『和刻漢籍医書集成』第三輯、エンタプライズ、

一九八九年）に解題。国文学研究資料館デジタル画像（デジタ

ル請求記号、DIG—KNIK—21）有。

13 十四経並臟腑図

〔請求番号〕 古活14

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 後補薄茶色表紙（朱筆で横に三本波線を引く。川瀬、香色原表

紙、朝鮮綴ぢの古風を残した原装で古い原の書題簽も残存し、

慶長中のもと思はれる）。二七・九×一九・六糎。五針袋綴。

〔題簽〕 左肩に後補の薄茶色書題簽（一二・〇×四・六糎）、「十四経并

臟腑圖」。

〔内題〕 「十四経并臟腑圖」。

〔尾題〕 無。

〔本文〕 仰人骨度図・伏人骨度図・側人骨度図・仰人経絡図・伏人経絡

図・手太陰肺経之図・手陽明太陽経之図・足陽明胃経之図・足

太陰脾経之図等、各丁に挿絵図解。

〔匡郭〕 四周双辺（二一・六×一五・一糎）、無界。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「十四経圖 丁附」。

〔丁数〕 一四丁。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 無。

〔備考〕 無書入。川瀬、七五五頁、「慶長中印行の十四経發揮の人形圖の

みを抜き出して、その版型を利用して出版したらしい」。図録篇

16 東垣先生此事難知集 二卷 王好古著

〔請求番号〕古活8

〔体裁〕大本二冊。

〔表紙〕栗皮表紙（押八双有）。二七・八×一九・〇糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。下巻の左肩に剥落痕あり。一七・二×三・四糎。

〔内題〕「此事難知序」、「東垣先生此事難知序」、「東垣先生此事難知集目

録／〇巻上（六格空）東垣老人 李杲（二格空）撰、「東垣先

生此事難知集巻上（下）」。

〔尾題〕「目錄終」、「東垣先生此事難知集巻上（下）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二〇字。小型活字使用。

〔匡郭〕四周双辺（約一八・七×一五・一糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「難知上（下） 丁附」。

〔丁数〕八二丁（序、成化甲辰歲仲夏既望荆南一人書于寶訓堂拙菴・一

丁／自序、至大改元秋七月二十有一日古趙王好古識・一二丁／目

録・五丁／巻上・三八丁／巻下・三七丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕「峰／川」（朱方印）。

〔備考〕朱引、墨筆で返点、振仮名、送仮名、イ本との校合が施されて

いる。川瀬、七五〇頁に研医学会本を著録するのみ。他に異版（双

辺有界、十行十七字）が天理大学附属天理図書館（490―イ

43―1）と京都大学附属図書館富士川文庫（シ―20）に所

蔵されている（川瀬未載）。

真柳誠『湯液本草』『此事難知』解題』『和刻漢籍医書集成』

第六輯所収、エンタプライズ、一九八九年。国文学研究資料館

デジタル画像（デジタル請求記号、DIG―KNIK―61）

有。

17 （新編俗解）八十一難経図要 熊宗立纂図

〔請求番号〕古活10

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕原裝（押八双有）栗皮表紙。二七・二×一九・六糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「新編俗解八十一難経圖要目錄／（六格低）鼈峯勿聴子 熊宗立

（二格空）纂圖」、「新刊八十一難経纂圖彙括」。

〔尾題〕「難経圖目」、「難経圖説終」。

〔本文〕每半葉九行×二三字（序）、一行×二三字（目錄）。

〔匡郭〕四周双辺（二〇・八×一六・九糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「難経圖 丁附」。

〔丁数〕二三丁（序、正統戊午春正人日道軒敬識・一丁／目錄・一丁、

尾題の前に「成化壬辰孟春良旦／鼈峯熊氏中和堂菜」／新刊八

十一難経纂圖彙括・二二丁）

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕無書入。川瀬、七五九頁。国文学研究資料館デジタル画像（デ

18 ※万病回春 存卷二

〔請求番号〕5977/38

〔体裁〕大本一冊。

〔表紙〕後補茶色表紙。二八・七×二〇・三幅。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕巻首巻末欠のため、内題と尾題を確認できず。

〔尾題〕

〔本文〕每半葉一二行×二一字。

〔匡郭〕四周双边(二丁表、二三・七×一六・四幅)、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「回春二丁附」。

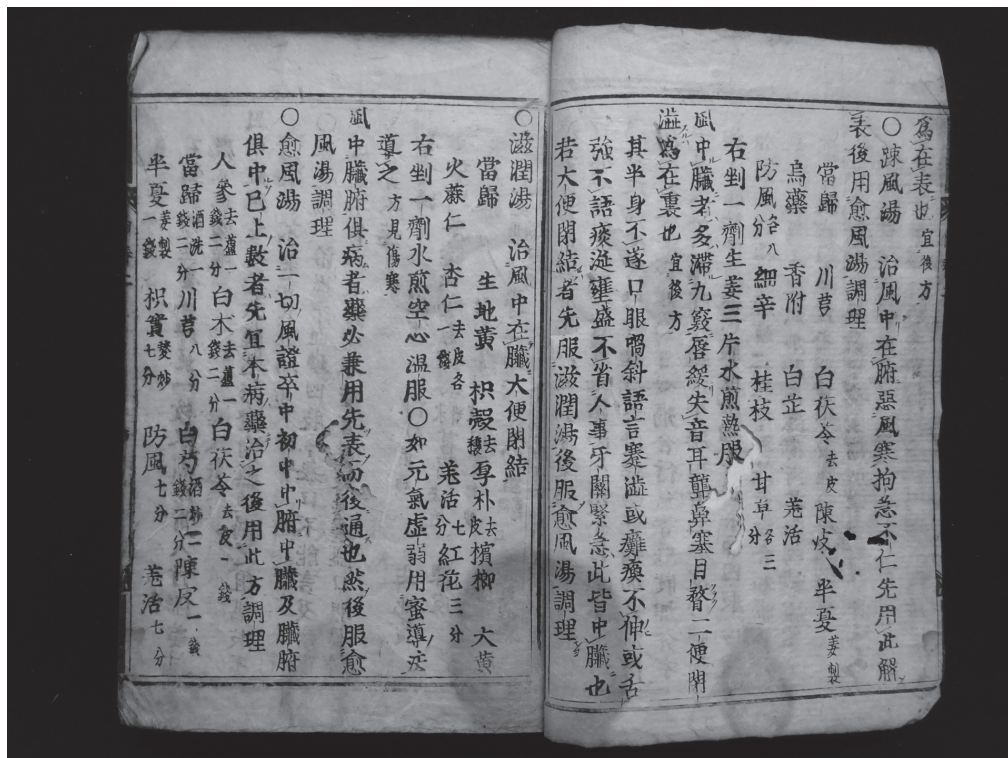
〔丁数〕九一丁(巻首巻末欠、丁附二一九十二)。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている。川瀬、七四八頁に慶長十六年刊行の『万病回春』(龍門文庫蔵、存卷六一八、三冊、双边有界、十三行二十四字)、七五三頁に元和六年梅寿刊本(八巻八冊、三井文庫蔵。現、東京大学総合図書館野軒文庫蔵)を著録するのみ。研医会本は未載。活字の趣から慶長年間の刊行かと思われる。なお、国立民俗学博物館篠田統文庫には、慶長十二年刊の古活字版(八巻八冊、川瀬未載)の所蔵がある。

図版 14



19 類証弁異全九集 存卷之五・六 月湖著・曲直瀬道三編

〔請求番号〕古活11

〔体裁〕大本一冊（二卷合冊）。

〔表紙〕後補薄茶色表紙。二七・三×二〇・三糎。四針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「類證辨異全九集卷之五（六）」。

〔尾題〕「類證辨異全九集卷之五（六）終」。

〔本文〕每半葉一二行×二三字内外。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周双辺（二一・五×一六・八糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「全九集五（六） 丁附」。

〔丁数〕八二丁（卷之五・四二丁／卷之六・四〇丁）。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕無書入。川瀬、七六〇頁、その（三）。「（二）」と略々同版式であるが、活字も異り、挿入の整版の部分（例へば卷六の六・七丁なる十二神吉凶の方位・婦人行年ノ押法など。）も全く別版であるが、著しく相似してゐるからその基く所は同一であると思はれる。全體として（二）の方が版式は整つてゐる。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG—KNIK—66）有。

20 類証弁異全九集 存卷之一・二・五・六 月湖著・曲直瀬道三編

〔請求番号〕古活12

〔体裁〕大本四冊。

〔表紙〕原装（押入双有）栗皮表紙。二八・四×二〇・六糎。五針袋綴。

〔題簽〕無。

〔内題〕「類證辨異全九集目錄」、「類證辨異全九集卷之一（二・五・六）」。

〔尾題〕「全九集目錄畢」、「類證辨異全九集卷之一終」、「全九集之五終」、

「全九集卷之六終」。

〔本文〕每半葉一二行×二六字内外。漢字片仮名交。

〔匡郭〕四周单辺（卷之一、二一・五×一七・四糎）、無界。

〔版心〕黒口双花口魚尾、中縫、「全九集一（一六） 丁附」。

〔丁数〕第一冊、二六丁（目錄・五丁／卷之一・二二丁）、第二冊、三二丁（卷之二、三二丁裏の四行目以下破損、裏打修補）、第三冊、

四二丁（卷之五）、第四冊、四〇丁（卷之六）。

〔刊記〕無。

〔印記〕無。

〔備考〕亀井孝氏寄贈本。川瀬、七六〇頁、その（二）。国文学研究資料館デジタル画像（デジタル請求記号、DIG—KNIK—68）有。「古活13」本と同版。

21 類証弁異全九集 七卷 月湖著・曲直瀬道三編

〔請求番号〕古活13

〔体裁〕 大本七冊。

〔表紙〕 栗皮表紙(押八双はあるが後補か。川瀬は「褐色原表紙」とす)。

二六・五×二〇・二糎。四針袋綴。

〔題簽〕 左肩に後補の書題簽(一一・二×二・五糎)、「全九集卷之二(三・

五・六)」。卷之一・四・七の題簽は剥落。

〔内題〕 「類證辨異全九集目錄」、「類證辨異全九集卷之一(一七)」。

〔尾題〕 「全九集目錄畢」、「類證辨異全九集卷之一終」、「全九集卷之二

(三・四・六・七)終」、「全九集之五終」。

〔本文〕 每半葉一二行×二六字内外。漢字片仮名交。

〔匡郭〕 四周单边(卷之一、二一・五×一七・二糎)、無界。

〔版心〕 黒口双花口魚尾、中縫、「全九集一(一七) 丁附」。

〔丁数〕 第一冊、二六丁(目錄・五丁/卷之一・二二丁)、第二冊、三二

丁(卷之二、二〇丁欠。一九丁と二二丁の間に補写を挟む。川

瀬、「寛永以前の筆写」と見る)、第三冊、四七丁(卷之三)、第

四冊、三九丁(卷之四)、第五冊、四二丁(卷之五)、第六冊、

四〇丁(卷之六)、第七冊、二九丁(卷之七、二一・二二・三一・

三二丁欠)。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 無。

〔備考〕 朱引、朱句読点、振仮名が施されている。但し、卷之三―六は

無書入。川瀬、七六〇頁、その(二)。「古活12」本と同版。

22 医書大全論 (明) 熊宗立撰

〔請求番号〕 古活17

〔体裁〕 大本一冊。

〔表紙〕 茶色表紙(押八双はあるが後補)。二六・八×一八・八糎。四針

袋綴。

〔題簽〕 左肩に「医書大全論」と打付書。題簽(一五・二×三・一糎)

は剥落。

〔内題〕 「三格低」新刊名方類證醫書大全序、「醫書大全論」。

〔尾題〕 「醫書大全論終」。

〔本文〕 序、每半葉八行×一五字。大型活字使用。本文、每半葉一〇行

×二〇字。稍小型の活字を使用。

〔匡郭〕 四周双辺(序、一九・四×一五・〇糎、本文、一九・六×一五・

一糎)、無界。

〔版心〕 黒口双黒魚尾、中縫、「醫書大全序(醫書大全論) 丁附」。

〔丁数〕 五六丁(自序、正統十一年歳在丙寅暮春之初鼈峰熊宗立道軒序・

五丁/本文・五一丁)。

〔刊記〕 無。

〔印記〕 無。

〔備考〕 墨筆で返点、振仮名、送仮名が施されている他、朱墨による書

き入れが施されている。寛永頃の刊か。川瀬、三三六・七五八

頁。国文学研究資料館デジタル画像(デジタル請求記号、DI

G|KNIK|1)有。